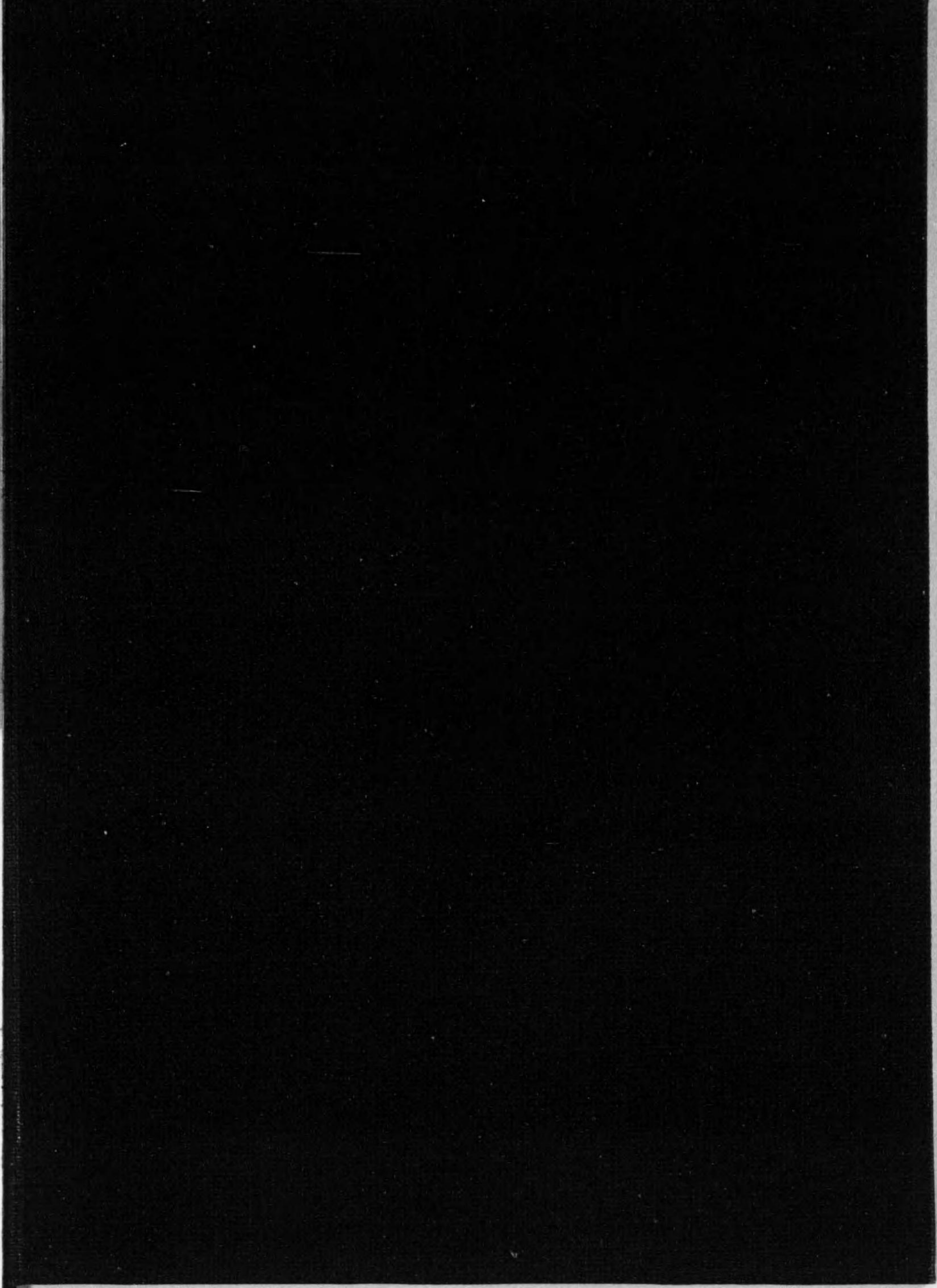




始



三セH-47

昭和十年度率報

第 一 編

一 般 概 況

朝鮮總督府鐵道局



14.4
750

正 誤 表

頁	箇 所	誤	正
51	建設一般、工事區新設月日、龍林	9.3	6.3
59	材料費、終段目	1,270 6,852	1,270 6,852
68	營業線施設物表、數量、線路敷地	25,060,204	25,208,537
〃	〃 〃 鐵道用地	16,698,828	16,805,367
〃	〃 〃 計	41,759,032	42,013,904
〃	〃 對前年度比較増減、線路敷地	2,009,746	2,158,079
〃	〃 〃 鐵道用地	938,326	1,044,865
〃	〃 〃 計	2,948,072	3,202,944
79	電話二重法利用回線、複線式、交換線、總延長	4,049,046	4,049,046
102	産地別内譯表、朝鮮産、數量、雜品	6,670	9,670
104	資金表、公稱資本、南滿洲鐵道株式會社	建 120,000	11,200,000
〃	〃 〃 琿春鐵路股份有限公司	11,200,000	120,000
107	一行日、益金	23.8	4.23
108	旅客自動車、路線料程、成鏡南道	217.5	127.5
〃	道別内譯欄ノ線路料程中ニアル・ハ全部削除ス		

883662

昭和十年度年報

第一編 一般概況

目 次

朝鮮鐵道略圖(附朝鮮鐵道一覽)..... 1

總 說..... 1

主要計數..... 4

第一編 總 務

第一章 主管事項=關スル主要法令並ニ規程類制定改廢ノ要旨..... 6

第二章 庶 務..... 8

第三章 人 事..... 17

第四章 共 濟..... 18

第五章 損害賠償並ニ見舞金..... 24

第六章 保 健・慰 安..... 25

第七章 圖 書 館..... 28

第二編 運 輸

第一章 運輸施設及成績ノ概要..... 28

第二章 旅 客..... 31

第三章 貨 物..... 34

第三編 運 轉

第一章 列車運轉=關スル施設..... 38

第二章 機關車運轉成績..... 41

第三章 運 轉 事 故..... 46

第四編 車 輛

第一章 機 關 車..... 49

第二章 動 車..... 49

第三章 客 車..... 50

第四章 貨 車..... 50

第五編 建 設

第一章 建 設 一 般..... 51

第二章 建設工事概要.....52
 第三章 建設主要統計.....54

第六編 工 務

第一章 工務一般.....62
 第二章 保存工事.....63
 第三章 補充工事.....63
 第四章 改良工事.....64
 第五章 風水害被害數量.....65
 第六章 工務主要統計.....67

第七編 工 作

第一章 工作概況.....72
 第二章 工場設備.....72
 第三章 工場生產額及勞働賃金.....73
 第四章 工場使用物品.....73

第八編 電 氣

第一章 電 力.....74
 第二章 通信・信號.....75
 第三章 電線路及機器.....82
 第四章 障礙及電機修繕.....84
 第五章 照 明.....86

第九編 經 理

第一章 經理一般.....88
 第二章 營業收支豫算及決算並=損益計算.....89
 第三章 鐵道建設及改良費.....91
 第四章 北鮮開拓事業費.....93
 第五章 鐵道建設及改良費並=北鮮開拓事業費支出年割.....94
 第六章 鐵道投資額.....94
 第七章 私設鐵道補助.....98
 第八章 鐵道用品資金.....98
 第九章 其ノ他ノ歲入歳出.....101
 第十章 用品購入.....101

第十編 私設鐵道、軌道及專用鐵道

第一章 私設鐵道.....103
 第二章 年度中免許及失効.....105
 第三章 線路延長.....105
 第四章 運輸成績.....105
 第五章 營業收支及補助成績.....106
 第六章 北鮮鐵道及理春鐵路運輸成績.....106
 第七章 軌道及專用鐵道.....107

第十一編 陸 運.....107

圖 表

建設工事工程圖

平 元 線	—西	浦・高	原 間
圖 們 線	—雄	基・潼	關 間
東 海 線	{安	邊・浦	項 間
	{釜	山 嶺・蔚	山 間
慶 全 線	{全	州・晉	州 間
	{金	池・潭	陽 間
滿 浦 線	—順	川・滿	浦 嶺 間
惠 山 線	{吉	州・惠	山 嶺 間
白 茂 線	{白	岩・茂	山 間

線	⑫ 惠山線	鳳頭里 惠山嶺間	42.0
	⑬ 白茂線	延岩 茂山間	□ 132.1
	合	計	936.7

線	⑭ 多獅島 鐵道會社線	新義州 多獅島間	55.9
		楊市 南市間	18.0
	計	53.9	
⑮ 新興鐵道會社線	內湖 西湖津間	□ 1.7	
合	計	319.2	

局 營 自 動 車 線				
開 業 線	光	光麗本線	麗水、棧稿、全南光州間	○ 143.0
		曲順線	順天邑、廣川里、曲川間	○ 51.0
		同福線	龜巖橋 同福間	⊗ 8.0
		和順線	和順邑 和順間	⊗ 3.0
	麗	水門線	寶城 水門浦間	○ 24.0
		長興線	{寶城 全南長項間}	× 29.0
		福內線	{孟山 長平間}	× 20.0
		寶城 福內間	× 20.0	
		計	278.0	

備考 1. 鐵道中□印ヲ附セルハ七六二耗、△印ヲ附セルハ一米〇六七ノ軌間ニシテ他ハ一米四三五ノ軌間トス

2. 局營自動車路線中○印ヲ附セルハ旅客線ヲ×印ヲ附セルハ貨物線ヲ示ス
但シ光麗本線中和順邑龜巖橋間11軒ハ貨物ヲモ取扱ヒ水門線ハ夏期間ノミ營業ス

業 線	④ 慶全南部線	三浪津 晉州間	110.1	
	慶全北部線	裡里 谷城間	106.1	
	光州線	全南光州 潭陽間	21.5	
	計		258.3	
	⑤ 松麗線	麗水港 松汀里間	174.9	
	東海線	東海南部線	釜山鎮 蔚山間	73.0
		東海中部線	大邱 鶴山間	□ 107.4
		東海北部線	慶州 蔚山間	□ 40.4
		安邊 杆城間	150.7	
	計		371.5	
	⑧ 京元線	龍山 元山間	223.7	
	⑨ 平元西部線	西浦 長林間	96.5	
	滿浦線	滿浦本線	順川 价古間	140.0
		价川線	新安州 价川間	□ 29.5
		龍登線	球場 龍登間	7.4
計		176.9		
成鏡線	成鏡本線	元山 輪城間	532.8	
	川內里線	龍潭 川內里間	4.4	
	北青線	新北青 北青間	9.4	
	鐵山線	羅興 柳山間	3.0	
	遮湖線	曾山 遮湖間	4.9	
計		554.5		
⑬ 惠山線	吉州 鳳頭里間	99.7		
⑭ 白茂線	白岩 延岩間	□ 55.9		
合 計		3,389.5		

未 開 業 線	④ 慶全線	晉州 谷城間	131.8
		金池 潭陽間	38.6
	計	170.4	
	⑥ 東海線	浦項 杆城間	325.1
	⑨ 平元線	長林 高原間	117.2
	⑩ 滿浦線	价古 滿浦鎮間	163.0
	⑬ 惠山線	鳳頭里 惠山鎮間	42.0
	⑭ 白茂線	延岩 茂山間	□ 132.1
	合 計		936.7

局 營 自 動 車 線				
開 業 線	光	光麗本線	麗水、筏橋、全南光州間	○ 143.0
		曲順線	順天邑、廣川里、曲川間	○ 51.0
	麗	同福線	龜巖橋 同福間	⊗ 8.0
		和順線	和順邑 和順間	⊗ 3.0
	線	水門線	寶城 水門浦間	○ 24.0
		長興線	寶城 全南長項間	× 29.0
		福內線	寶城 福內間	× 20.0
計			278.0	

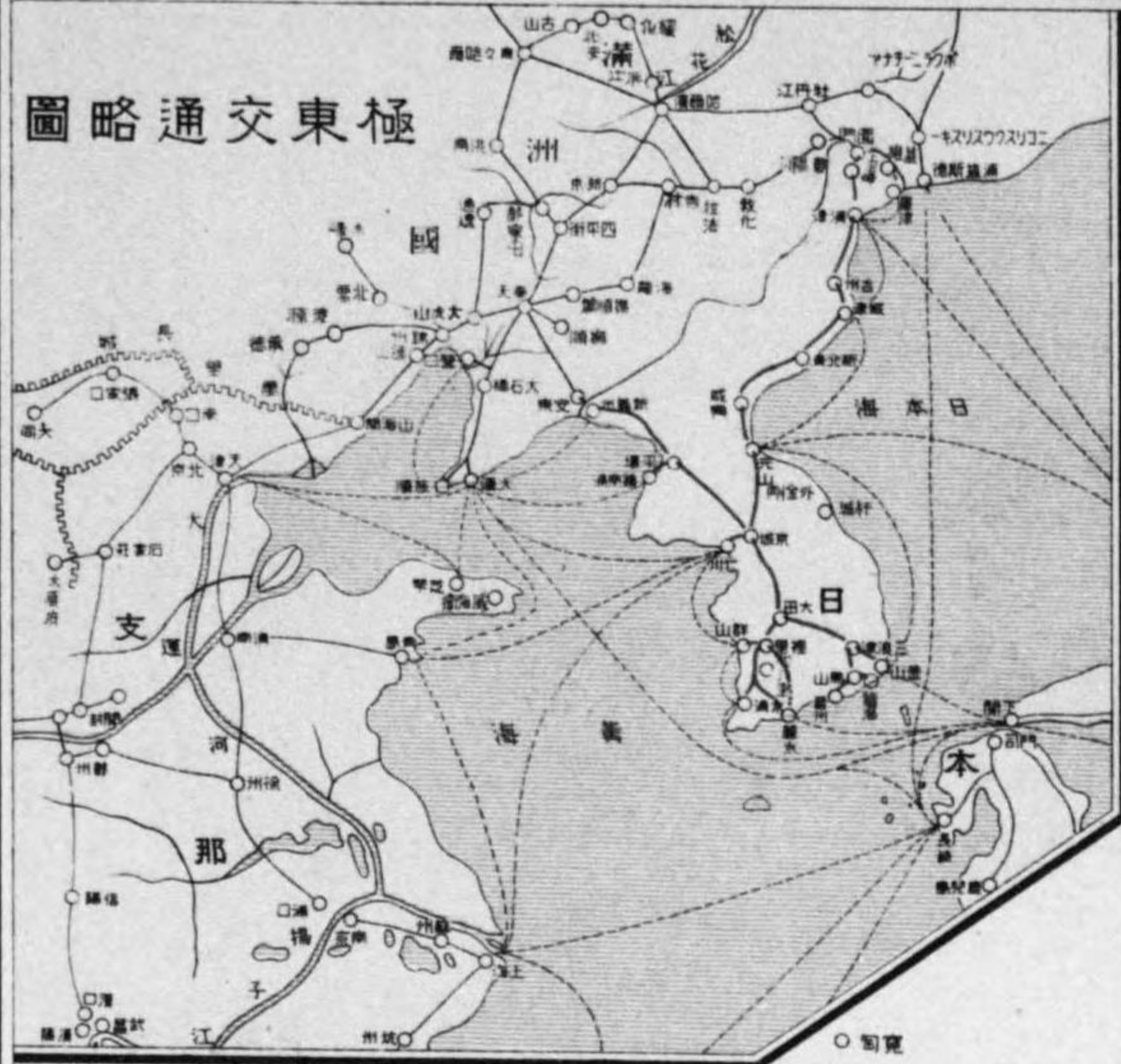
開 業 線	⑳ 黃海線	花山 內王間	□ 2.7
		新院 下聖間	□ 5.6
	海州 土城間	□ 81.5	
	計	219.8	
	㉑ 成南線	成興 咸南新興間	□ 41.0
		五老 上通間	13.3
		豐上 長豐間	2.3
	計	56.6	
	㉒ 成北線	古茂山 茂山間	□ 60.1
	小 計		548.6
㉓ 朝鮮瓦斯電氣會社線	釜山鎮 東萊溫泉間	△ 9.5	
㉔ 朝鮮京南鐵道會社線	天安 長項橋間	144.2	
	天安 長湖院間	69.8	
計	214.0		
㉕ 朝鮮京東鐵道會社線	水原 驪州間	□ 73.4	
㉖ 金剛山電氣鐵道會社線	鐵原 內金剛間	116.6	
㉗ 新興鐵道會社線	咸南新興 延慶湖間	□ 50.6	
	上通 泗水間	□ 46.4	
	西成興 內湖間	□ 16.5	
計	113.5		
㉘ 滿鐵雄羅線	雄基 羅津間	15.2	
㉙ 琿春鐵路公司線	訓戎 圖們橋中心間	□ 1.0	
合 計		1,091.8	

未 開 業 線	朝鮮鐵道會社線	信川 猪島間	□ 47.0
		信川 海州間	□ 68.9
		水橋 長湍間	□ 17.7
		翠野 麥津間	□ 24.3
	計	157.9	
	㉚ 三陟鐵道會社線	三陟 所達面間	35.7
	㉛ 朝鮮京東鐵道會社線	驪州 占東面間	□ 16.0
		水原 仁川君子湖間	□ 54.0
	計	70.0	
	㉜ 多獅島鐵道會社線	新義州 多獅島間	35.9
楊市 南市間		18.0	
計	53.9		
㉝ 新興鐵道會社線	內湖 西湖津間	□ 1.7	
合 計		319.2	

備考 1. 鐵道中□印ヲ附セルハ七六二耗、△印ヲ附セルハ一六〇六七ノ軌間ニシテ他ハ一四三五ノ軌間トス

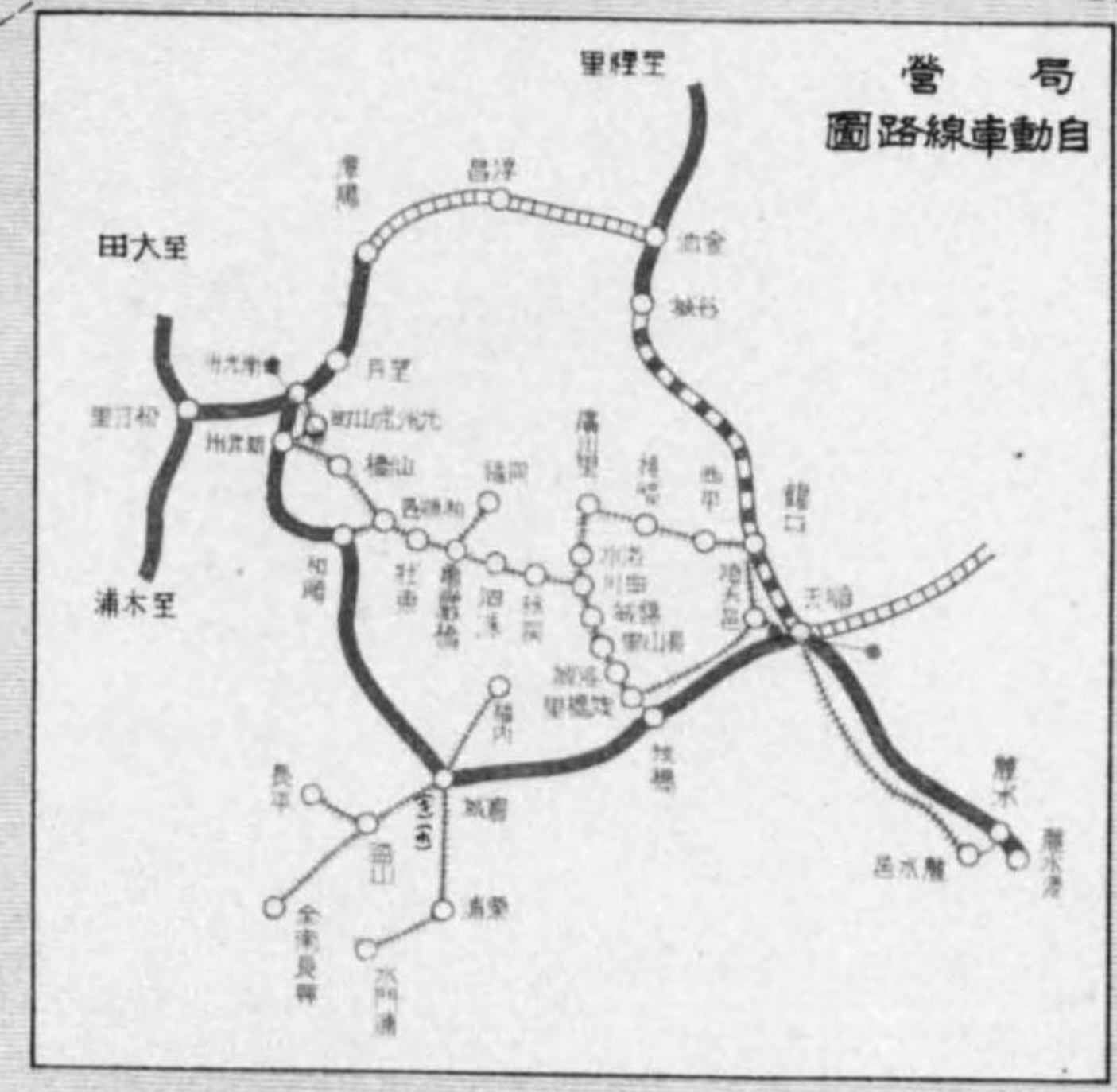
2. 局營自動車路線中○印ヲ附セルハ旅客線ヲ×印ヲ附セルハ貨物線ヲ示ス
但シ光麗本線中和順邑龜巖橋間11軒ハ貨物ヲ取扱ヒ水門線ハ夏期間ノミ營業ス

圖略通交東極



朝鮮鐵道略圖

在現日一十三月三年一十和昭



昭和十年度業績概要

總 說

年度中主管事項ニ關シ法令ノ制定又ハ改廢セラレタル主ナル事項ハ朝鮮自動車交通事業令ヲ各種ノ附屬法規ト共ニ十年四月一日ヨリ實施スルコトナリ、尙五月十六日達甲第百八十四號ヲ以テ鐵道局紋章ノ改正、達甲第百八十五號ヲ以テ鐵道局職員服制ノ制定、同七月三十一日總督府令第三十二號ヲ以テ事務分掌規程ヲ改正シ、新ニ建設事務所ヲ設ケタル等ヲ主要事項トス、年度末現在従事員數ハ20,897^人ニシテ前年度ニ比シ2,280^人ヲ増加セルガ右ハ線路延長、輸送力増大等ニ因ルモノニシテ、従事員共濟組合ハ其ノ附帶事業ト共ニ順調ノ發達ヲ示シツツアリ。

運輸營業ハ前年度ニ引續キ隣邦滿洲國ノ堅實ナル發達ニ伴フ日滿交通ノ増加、一般經濟界ノ發展、各種工業ノ躍進等ニ依リ全面的ニ客貨輸送量ヲ急増シ、旅客關係ヲ前年度ニ比較スルニ輸送人員ニ於テ15%、收入ニ於テ16%、貨物關係ニアリテハ輸送數量ニ於テ13%、收入ニ於テ10%ノ増加ヲ示セリ。

運轉關係ニ於テハ客貨ノ増加ニ伴フ動車ノ新設、又ハ變更、新規開業線ニ於ケル運轉時刻ノ新設、京釜本線、咸鏡本線其ノ他通學列車時刻改正等ヲ各線ニ亙リ漸次施行シ、又十一年秋關釜間ニ於ケル大型連絡船ノ就航ヲ期トシ京城釜山間列車運行速度現行八時間ヲ六時間程度ニ短縮セシム

ルタメ改造車輛及ビ線路強度ノ調査ノ目的ヲ以テ京城・釜山間試運轉ヲ施行シタル結果豫期ノ成績ヲ收メタリ。

工事關係ニアリテハ前年ニ引續キ平元線、惠山線、滿浦線、東海線、慶全線、白茂線ノ建設ヲ施行シ、其ノ一部竣工區間153.1ノ營業ヲ開始シタルガ、年度末現在建設工事中線ハ合計328.7ニシテ、改良工事ニアリテハ日滿交通ノ頻繁ニ伴ヒ内鮮滿輸送幹線タル責務ヲ盡スニ遺憾ナキヲ期スルタメ幹線列車ノ速度昂上設施即チ幹線ニ於ケル重軌條交換通信設備擴充等ヲ施行シ、其ノ他必要ニ應ジ線路建造物ニ對シ補充保存ノ諸工事ヲ實施セリ。

工作關係ニアリテハ業務ノ擴充ニ伴ヒ京城工場及ビ釜山工場ニ於ケル機械設備ノ増加ヲ行ヒタル外、京城工場ニ自動車修繕場ノ新築及鑄物職場ノ増築ヲ行ヒ、又車輛ノ新造ニ於テハ京城工場ニ於テ始メテ職用輕油動車ヲ製作シタル外、機關車、客車、貨車等熟レモ新施設ニ依ル工事ヲ施行シ其ノ他各種ノ改造及修理ヲ行ヒタリ。

經理關係ニ在リテハ引續キ客貨ノ輸送好況ヲ示シ歳入ニ於テ豫算ニ比シ493^{千円}ヲ増加シ、歳出ニ於テ3,354^{千円}ノ餘剩ヲ生ジ結局收支差益金24,481^{千円}ヲ擧ゲ前年度益金ニ比シ2,869^{千円}ノ増加ヲ示シ、年度初頭現在總督府設置以來ノ投資額ニ對シ六分八厘ノ歩合トナリ、建設改良費ノ本年度豫算額ハ24,142^{千円}ニシテ主トシテ北鮮方面ノ工事促進並ニ既設線路ノ改良等ヲ施行シ、其ノ決算額23,880^{千円}ニシテ、北鮮開拓事業費ニアリテハ本年度豫算現額1,005^{千円}ニ對シ、前年度ヨリ引續キ工事進涉ニ努メ993^{千円}ヲ決算セリ、又私設鐵道補助ハ六社ニ對シ合計4,850^{千円}

ヲ支出シ、用品資金ニアリテハ本年度歳入20,566^{千円}歳出20,783^{千円}ニシテ、之ニ對スル資金ハ2,021^{千円}ナルヲ以テ其ノ運轉ニ相當困難ヲ生ジタルモ極力之ガ運用ヲ敏活ニシ一般經理上支障ナキヲ期シ、購入物品ハ施政方針ニ基キ逐年朝鮮產品ノ使用ヲ増加シ其ノ金額8,982^{千円}ニ達シタリ。

私設鐵道ノ年度中ニ於ケル新ナル免許ハ多獅島鐵道、三陟鐵道及既設ノ二鐵道ニ對スル計148.9^{千円}ニシテ、新ニ營業ヲ開始セルハ、滿鐵雄羅線15.2^{千円} 琿春鐵路1^{千円}、新興鐵道1.7^{千円}アリ、營業ヲ廢止セルモノ新興鐵道15.4^{千円}買收ニ依リ減少セルモノ南朝鮮鐵道ノ160^{千円}ナリ。

而シテ營業收支ノ狀態ハ一般好況ノ影響ヲ受ケ客貨輸送數量ニ於テ旅客38%、貨物39%、又益金32%ノ増加ヲ示セリ。

陸運關係ニ在リテハ十年四月一日ヨリ自動車交通ニ關スル各種ノ法規實施セラレタルガ、年度末現在營業路線ノ延長ハ乗合26,859^{千円}、貨物5,000^{千円}ニ達セリ。

國有鐵道主要計數

種 別	稱 呼	十 年 度	
		十 年 度	前年對比增減(△)
營業	秆分	3,389.5	312.1
普通	箇所	353	34
簡易	〃	140	20
列車走行	秆	21,203,038	1,959,414
客車走行	〃	76,612,599	9,077,671
貨車走行	〃	142,443,458	12,886,677
旅客人員	人	29,344,188	3,729,373
延 人	人秆	1,763,136,433	194,254,552
貨物	吨	8,667,642	985,866
延 吨	吨秆	1,788,692,364	145,386,901
旅客收入	圓	28,172,471	3,814,470
貨物收入	〃	28,305,426	2,514,913
收入合計	〃	56,477,897	6,329,383
一日一秆平均收入	圓錢	48.81	3.17
機關車走行	秆分	22,728,688.1	2,666,725.3
動車走行	〃	1,880,083.3	△ 110,869.2
換算車輛	秆	183,033,637.4	21,942,484.5
運轉用石炭	吨	471,891,929	54,964,621
運轉用燃料油	立	790,473.00	46,799.00
運轉用油	〃	418,492.27	65,701.25
投資額	圓	504,819,804	37,117,886
營業收入	〃	90,470,458	6,538,125
營業費	〃	65,988,898	3,669,034
益 金	〃	24,481,560	2,869,091
建設費	〃	16,409,305	3,422,006
改良費	〃	7,471,070	1,960,517
北鮮開拓事業費	〃	993,384	179,085
災害費	〃	0	△ 276,854
保存費	〃	6,422,995	478,819
補充費	〃	1,232,527	123,894
從事員	人	21,237	2,620

私設鐵道主要計數

種 別	稱 呼	私 設 鐵 道		北 鮮 鐵 道	
		十 年 度	前 年 度 比較增減	十 年 度	前 年 度 比較增減
營業	秆分	1,229.8	31.4	335.5	7.0
普通	箇所	237	55	30	2
簡易	〃	8	1	20	—
停留所	〃	90	1	—	—
列車走行	秆分	6,576,156.7	530,736.4	1,373,069.8	99,177.3
客車走行	〃	8,660,621.5	319,599.1	4,390,735.0	27,236.3
貨車走行	〃	12,195,740.4	2,632,054.0	11,628,886.6	2,667,877.9
旅客人員	人	6,721,986	1,859,353	1,718,170	106,833
延 人	人•秆	129,287,746	17,326,590	74,385,546	1,409,900
貨物	吨	20,282.90	567,662	1,474,439	351,851
延 吨	吨•秆	86,261,604	14,583,677	175,812,384	52,975,961
旅客收入	圓	2,927,172	547,208	1,167,462	41,233
貨物收入	〃	3,605,535	663,709	3,351,436	850,449
運輸雜收	〃	388,180	97,325	48,382	21,477
收入合計	〃	6,920,887	1,308,242	4,567,280	913,159
一日一秆平均收入	圓•錢	15.38	2.55	37.19	6.71
機關車走行	秆分	4,732,803.4	1,415,775.4	1,769,349.3	232,388.7
運轉用石炭	吨	55,056	10,172	46,055	—
運轉用燃料油	立	808,474	93,040	—	—
投下資本	圓	89,537,903	1,536,095	36,948,630	645,680
營業收入	〃	7,423,575	1,242,993	5,004,932	1,019,765
營業費	〃	5,932,033	958,802	4,485,873	657,953
益 金	〃	1,491,542	284,191	519,059	361,812
建設費	〃	88,347,709	1,218,858	36,948,630	645,680
從事員	人	3,492	311	1,902	59

第一編 總 務

第一章 主管事項ニ關スル法令並ニ 規程類制定改廢ノ要旨

- 一、昭和十年四月一日 總督府令第二百一十一號ニ依リ昭和八年制定セラレタル朝鮮自動車交通事業令施行サル。
- 要旨 本令ハ朝鮮ニ於ケル自動車ニ依ル交通事業ノ統制並ニ助長ヲ期スル爲ニ制定セラレタルモノニシテ、昭和十年度ヨリ附屬規則ト共ニ實施セラル。
- 一、同日 總督府令第二百二十二號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮自動車交通事業令施行規則施行サル。
- 要旨 本規則ハ朝鮮自動車交通事業令施行ニ必要ナル一般的手續ヲ規定ス。
- 一、同日 總督府令第二百二十三號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮自動車交通事業令職權委任規定施行サル。
- 要旨 事業令ニ規定スル朝鮮總督ノ權限ノ一部ヲ鐵道局長及道知事ニ分任ス。
- 一、同日 總督府令第二百二十四號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮自動車運輸事業規程施行サル。
- 要旨 路線ノ幅員ニ應ジテ自動車ニ一定ノ旅客座席定員ヲ有セシメ、又事業ノ狀態ニ應ジ自動車ノ使用車輛數ヲ定ム。
- 一、同日 總督府令第二百二十五號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮自動車運輸事業會計規程施行サル。
- 要旨 運輸上ノ諸收入ノ範圍、興業及營業ニ關聯スル費用ノ分割、他業ヲ併營スル場合ニ於ケル興業費、營業費、營業收入ノ分割方法、及車輛價格ノ消却等ニ關シ規定ス。
- 一、同日 總督府令第二百二十六號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮自動車運輸規程施行サル。
- 要旨 鐵道營業法ノ鐵道運輸規定ニ該當スルモノニテ運賃、料金、運送條件ノ公告、自動車従事員ノ制服着用、營業所、停留所ニ公示スベキ事項、車輛検査、旅客ノ乗車ヲ拒絶シ得ル場合、旅客ノ遵守事項、車内持込荷物ノ制限、物品運送ノ義務等營業上ノ事項ヲ規定ス。
- 一、同日 總督府令第二百二十七號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮旅客自動車設備規程施行サル。
- 要旨 自動車運輸事業用自動車ノ構造設備ニ關スル規定ニシテ、車輛ハ低床式構造ノモノヲ使用スルコト、車輛ノ高さ、旅客座席定員ノ幅員、立席ヲ設ケ得ル場合等ヲ規定ス。
- 一、同日 總督府令第二百二十八號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮自動車運輸事業自動車登録規

程施行サル。

- 要旨 自動車運輸事業中株式会社ノ經營スルモノニ在リテハ一車毎ニ一定様式ニ依リ登録ヲ受クルコトヲ要ス、登録事務ハ道知事ニ於テ管掌ス。
- 一、同日 總督府令第二百二十九號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮自動車道構造規程施行サル。
- 要旨 自動車道ヲ一般自動車道、専用自動車道ノ二種ニ區別シ各其ノ構造ニ關スル規定ニシテ、自動車道ノ幅員、路面、勾配、曲線半徑、路面ノ鋪裝、警戒標、信號機、照明裝置、他ノ交通施設トノ平面交叉方法等ニ關シ規定ス。
- 一、同日 總督府令第三百十號ヲ以テ昭和九年制定セラレタル朝鮮自動車運送事業規則施行サル。
- 要旨 自動車運輸事業以外ノ自動車ニ依ル運送事業ニ關スル準據規定ニシテ、運送事業ハ一般ニハ道知事ニ於テ免許其ノ他ノ處分ヲナシ、一定ノ路線ニ依ル自動車運送事業ハ鐵道局長ニ於テ免許其ノ他ノ處分ヲナスベキモノトス。
- 一、昭和十年四月十八日 總督府訓令第十五號ヲ以テ朝鮮自動車交通事業令取扱手續ヲ定メ、昭和七年總督府訓令第五十三號ハ之ヲ廢止ス。
- 要旨 自動車交通事業令施行規則ニ依リ道知事ノ作成スベキ調査書ノ記載事項、總督ニ稟伺シ又ハ其ノ指揮ヲ受クベキ事項、鐵道局長ニ報告スベキ事項等ヲ規定ス。
- 一、昭和十年五月十六日 達甲第二百八十四號ヲ以テ大正十四年四月達第五十三號鐵道局紋章ヲ改正シ六月一日ヨリ之ヲ施行ス。
- 要旨 從來ハレール横斷面型ヲ中央ニ表シC.Gヲ以テ其ノ左右ニ配シタルヲ、「C.G」ヲ別箇ノレール斷面圖ニ改正ス。
- 一、同日 達甲第二百八十五號ヲ以テ朝鮮總督府鐵道局職員服制ヲ定メ六月一日ヨリ之ヲ施行ス。但シ從前ノ帽ノ前章、ボタン、乙種襟章、特殊襟章、上衣、外套及腕章ハ當分ノ内仍之ヲ用フルコトヲ得。
- 要旨 從來制服ニ付テハ貸與服並ニ職員服ニ關スル個々ノ規定アルノミニシテ服制トシテ一般規程ヲ缺クヲ以テ新ニ服制ヲ制定シ之ガ整備ヲ計ラントスルモノニシテ、之ニ依リ高等官同待遇、判任官同待遇官吏ト官吏以外ノ職員、現業ノ長、主任、助役、客扱車掌、機關士等身分及職務系統ヲ識別シ得ルニ至レリ。
- 一、昭和十年五月二十日 勅令第三百三十九號ヲ以テ朝鮮總督府鐵道局官吏及待遇官吏服制ヲ制定シ之ヲ施行ス、從前ノ制服ハ當分ノ内仍之ヲ著用スルコトヲ得ルモノトス。
- 要旨 制服ニ乙種襟章ヲ附セズシテ、甲種襟章ヲ附スルトキハ之ヲ以テ禮服トナス。此點ヲ除キテハ本令ノ内容ハ達甲第二百八十五號ノ内容ニ同ジ。
- 一、昭和十年七月三十一日 總督府訓令第三十二號ヲ以テ朝鮮總督府鐵道局事務分掌規程第十條ヲ八月十一日ヨリ改正シ新ニ建設事務所ヲ設ク。

要旨 建設事務所ハ所管内線路建造物ノ建設ニ關スル事務ヲ管掌シ、新ニ平壤、城津ニ建設事務所ヲ設ケ、庶務、計畫、工事ノ三係ヲ置キ各其ノ主管事項ニ關スル事務ヲ處理セシムルコトトセリ。

一、昭和十年十月一日 達甲第六百三十五號ヲ以テ朝鮮總督府鐵道局課内事務分掌規程第二條ヲ改正シ、新ニ庶務課ニ調査係ヲ設置ス。

要旨 鐵道經營ノ範圍ノ擴大ニ伴ヒ、調査事務モ繁激ヲ加フルニ至リタルヲ以テ本係ヲ新設シ、從來各課ニ分掌セシメタル調査事務ノ一部ノ統一綜合的調査ヲ司掌セシムルト共ニ特殊議案ノ審査、賠償、統計報告、竝ニ業務監察ニ關スル庶務等ノ事務ヲ處理セシメ以テ將來計畫ノ樹立ト業務ノ改善トニ資セントスルモノナリ。

一、昭和十年十月一日 達甲第六百三十六號ヲ以テ朝鮮總督府鐵道局、鐵道博物館規程ヲ定メ、且ツ博物館ヲ新設ス。

要旨 鐵道ニ關スル參考品ヲ蒐集陳列シテ局員ノ教養研究ニ資スルト共ニ一般社會ノ鐵道智識ヲ普及スルヲ目的トスルモノニシテ、鐵道一般運輸、土木、建築、電氣、車輛、機械等ノ各部門ニ互リテ其ノ參考品ヲ陳列ス。

一、昭和十年十月一日 總督府告示第五百五十四號、第五百五十五號ヲ以テ朝鮮國有鐵道旅客運送規則、朝鮮内旅客運送規則ヲ、達甲第六百四十五號乃至第六百四十七號ヲ以テ以上二規則ノ取扱細則及朝鮮内旅客運送取扱手續ヲ制定シ、之ニ伴フ連帶諸規定中準用條文ヲ改正ス。

要旨 旅客運送關係諸規定ノ制定竝ニ改正ハ豫テノ懸案タル客荷規則ノ分離、竝ニ一部改正ニ依ルモノニシテ十一月一日ヨリ施行サル。

一、昭和十年十一月一日 達甲第七百五十六號ヲ以テ朝鮮總督府鐵道局課内事務分掌規程ヲ改正シ運輸課ニ特輸係ヲ新設ス。

要旨 本係ノ新設ハ鐵道軍事輸送ニ關スル朝鮮内ノ準備計畫ヲ爲シ、且滿鐵ニ於ケル關係課ト連絡シテ業務ノ進捗ヲ圖ルモノナリ。

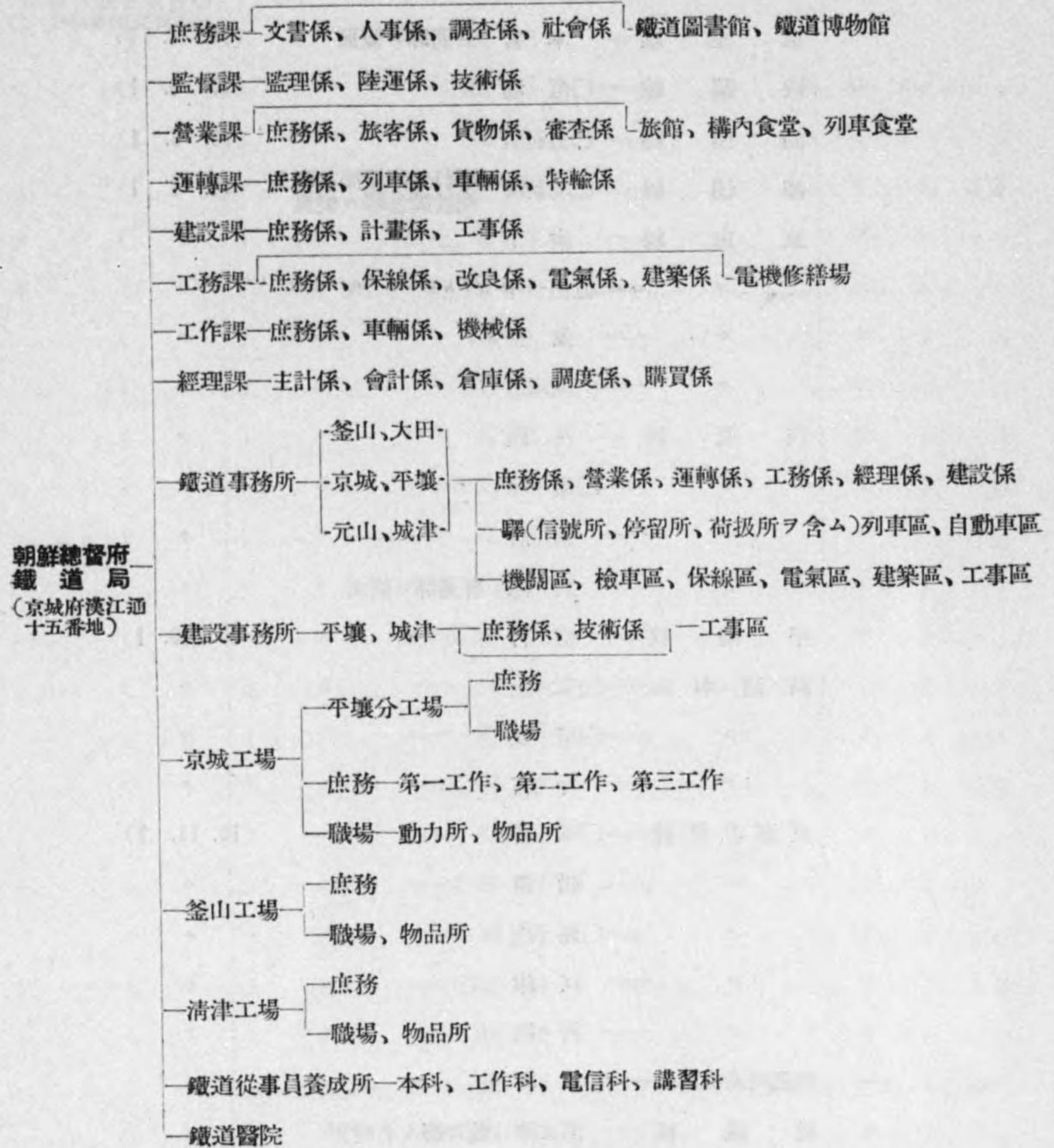
一、昭和十一年三月二十七日 達甲第三百號ヲ以テ業務監察規程制定サル。

要旨 輓近線路ノ延長、輸送ノ増加、組織ノ擴大ニ伴ヒ業務ノ内容亦逐年廣汎多岐ニ互リ動モスレバ各業務ノ連絡協調ヲ缺クノ虞アリ、此ノ狀勢ニ鑑ミ鐵道局ニ臨時監察員ヲ置キ業務運營ノ實狀ヲ把握闡明ニシ以テ各般事務ノ連絡統制、業務ノ刷新改善ニ寄與シ併セテ官紀ノ振蕩ニ資セントスルモノナリ。

第二章 庶務

昭和十年度中ニ於ケル當局組織一覽、年度中ノ開業線、新設竝ニ改廢箇所、及ビ各事務所區間下ノ如シ。

組 織 一 覽



新設又ハ改廢箇所 (括弧内ハ其ノ年月日ヲ示ス)

開業線	區間	距離 (km)	年月日
惠山線	白岩・鳳頭里間	29.7	(10. 9. 1)
白茂線	山羊臺・延岩間	22.1	()
滿浦本線	熙川・价古間	30.2	(10. 10. 1)
東海北部線	高城・杆城間	39.3	(10. 11. 1)
東海南部線	佐川・蔚山間	31.8	(10. 12. 16)

(松麗線(買收線)全南光州・麗水港間 160.0 (11. 3. 1)

計 313.1

咸鏡線	—	本宮	普通驛=變更	(10. 4. 1)
咸鏡線	—	□范浦		(10. 5. 1)
湖南線	—	○黑石里		(10. 6. 1)
滿浦線	—	□北新岬	驛員無配置簡易驛ヲ配置簡易驛=變更	(10. 9. 1)
惠山線	—	嶺下		(/)
〃	—	□南中		(/)
〃	—	生長		(/)
〃	—	鳳頭里		(/)
白茂線	—	西頭		(/)
〃	—	□延坪		(/)
〃	—	延岩		(/)
〃	—	大澤	普通驛=變更	(/)
平南線	—	趙村	〃	(10. 10. 1)
滿浦本線	—	□草上		(/)
〃	—	□明文		(/)
〃	—	价古		(/)
東海北部線	—	□草邱		(10. 11. 1)
〃	—	猪津		(/)
〃	—	□縣內		(/)
〃	—	巨津		(/)
〃	—	杆城		(/)
新義州荷扱所線	—	○濱町		(/)
咸鏡線	—	漁大津	龍坪驛々名變更	(/)
京釜線	—	□稷山		(10. 12. 1)
東海南部線	—	□月內		(10. 12. 16)
〃	—	南倉		(/)
〃	—	德下		(/)
〃	—	機張	普通驛=變更	(/)
京釜線	—	枝川	普通驛=變更	(11. 1. 16)
松麗線(買收線)	—	麗水港		(11. 3. 1)

新設驛及變更驛

□ハ驛員配置簡易驛
○ハ驛員無配置簡易驛

松麗線	—	麗水	(11. 3. 1)
〃	—	○萬聖	(/)
〃	—	美坪	(/)
〃	—	○雙鳳	(/)
〃	—	德陽	(/)
〃	—	○新豐	(/)
〃	—	霖村	(/)
〃	—	○星山	(/)
〃	—	順天	(/)
〃	—	○水德	(/)
〃	—	元倉	(/)
〃	—	○九龍	(/)
〃	—	筏橋	(/)
〃	—	烏城里	(/)
〃	—	○禮堂	(/)
〃	—	得根	(/)
〃	—	寶城	(/)
〃	—	○廣谷	(/)
〃	—	鳴鳳	(/)
〃	—	○道林	(/)
〃	—	梨陽	(/)
〃	—	○笠橋	(/)
〃	—	○春陽	(/)
〃	—	綾州	(/)
〃	—	○萬水	(/)
〃	—	和順	(/)
〃	—	○鸚南	(/)
〃	—	南平	(/)
〃	—	孝泉	(/)
〃	—	○碧桃	(/)
〃	—	新光州	(/)

釜山鐵道事務所

營業軒 546.6

線路及驛數	京釜本線—釜山・金泉間	195.1	普通驛23	簡易驛1
	慶全南部線—三浪津・晉州間(三浪津ヲ含マズ)	110.1	14	6
	鎮海線—昌原・鎮海間(昌原ノ)	20.6	3	1
	東海中部線—大邱・鶴山間(大邱ノ)	107.4	17	2
	東海中部線—慶州・蔚山間(慶州ノ)	40.4	4	3
東海南部線—釜山鎮・蔚山間(釜山鎮、蔚山ノ)	73.0	6	5	
計		546.6	67	18

機關區、4

- 草梁機關區—釜山・清道間(清道ヲ含マズ)東海南部線
- 大邱機關區—清道・金泉間
- 馬山機關區—三浪津・晉州間(三浪津ヲ含マズ)鎮海線
- 慶州機關區—大邱・鶴山間(大邱ヲ含マズ)慶州、蔚山間

列車區、1

釜山列車區—釜山鐵道事務所ノ管區域ニ同ジ

檢車區、1

釜山檢車區—同上

保線區、4

- 線路—京釜本線中始點ヨリ釜山起點 199^軒 = 至ル線路、慶全南部線、鎮海線、東海中部線、東海南部線
- 草梁保線區—京釜本線始點ヨリ釜山起點 97^軒 = 至ル線路慶全南部線始點ヨリ三浪津起點 24^軒 = 至ル線路東海南部線
- 大邱保線區—京釜本線釜山起點 97^軒 ヨリ同 199^軒 = 至ル線路
- 馬山保線區—慶全南部線三浪津起點 24^軒 ヨリ終點 = 至ル線路、鎮海線
- 慶州保線區—東海中部線

電氣區、1

釜山電氣區—釜山鐵道事務所ノ管區域ニ同ジ

建築區、1

釜山建築區—同上

工事區

(改良)

- 入室工事區—東海中部線改良、自第一工區至第三工區、(蔚山・東方間) 34.323^{軒*}
- 琴湖江工事區—東海中部線改良、大邱・東村間琴湖江橋梁及其前後 1.333^{軒*}
- 慶州工事區—東海中部線改良、第四工區(東方・慶州間) 5.109^{軒*}

大田鐵道事務所

營業軒 728.1

線路及驛數	京釜本線—金泉・全義間(金泉及全義ヲ含マズ)	139.8	普通驛12	簡易驛4
	湖南線—大田・木浦海岸間(大田ノ)	261.1	22	7
	慶全北部線—裡里・谷城間(裡里ノ)	106.1	11	7

光州線—全南光州・潭陽間(全南光州ノ)	21.5	普通驛2	簡易驛5
群山線—裡里・群山港間(裡里ノ)	24.7	3	3
松麗線—松汀里・麗水港間(松汀里ノ)	174.9	18	14
計	728.1	68	40

自動車區、1

光州自動車區—旅客線路 229^軒 貨物線路 71^軒

機關區、4

- 大田機關區—金泉・全東間(金泉ヲ含マズ)
- 裡里機關區—大田・松汀里間(大田、松汀里ヲ含マズ)群山線及慶全南部線
- 木浦機關區—松汀里・木浦間
- 寶城機關區—松汀里・麗水港間(松汀里ヲ含マズ)光州線

列車區、1

大田列車區—大田鐵道事務所ノ管區域ニ同ジ

檢車區、1

大田檢車區—同上

保線區、6

- 線路—京釜本線釜山起點 199^軒 ヨリ同 332.200^{軒*} = 至ル線路、湖南線、群山線、光州線、慶全北部線、松麗線
- 大田保線區—京釜本線釜山起點 199^軒 ヨリ同 332.200^{軒*} = 至ル線路、湖南本線始點ヨリ大田起點 23.400^{軒*} = 至ル線路
- 裡里保線區—湖南本線大田起點 23.400^{軒*} ヨリ同 105.400^{軒*} = 至ル線路、群山線慶全北部線始點ヨリ裡里起點 9.500^{軒*} = 至ル線路
- 井邑保線區—湖南本線大田起點 105.400^{軒*} ヨリ 187^{軒*} = 至ル線路
- 木浦保線區—湖南本線大田起點 187^{軒*} ヨリ終點 = 至ル線路、光州線、松麗線麗水港起點 159.400^{軒*} ヨリ終點 = 至ル線路
- 寶城保線區—松麗線始點ヨリ麗水港起點 159.400^{軒*} = 至ル線路
- 南原保線區—慶全北部線裡里起點 9.500^{軒*} ヨリ終點 = 至ル線路

電氣區、1

大田電氣區—大田鐵道事務所ノ管區域ニ同ジ

建築區、1

大田建築區—同上

建設工事區

- 龍林工事區—慶全線鴨綠・龍林間 8.322^{軒*}
- 槐木工事區—ノ龍林・上洞間 13.900
- 上洞工事區—ノ上洞・順天間 17.124

京城鐵道事務所

營業軒 478.8

線路及驛數	京釜本線—全義・京城間	115.6	普通驛16	簡易驛1
	京仁線—永登浦・仁川間(永登浦ヲ含マズ)	31.0	6	0
	京義本線—京城・沙里院間(京城、沙里院ノ)	200.2	20	5

龍山線—龍山・新村間(龍山、新村)	8.3	2	7
京元線—龍山・福溪間(龍山、福溪)	123.7	13	1
計	478.8	57	14

- 機關區、3**
 - 龍山機關區—全東・鳳東間(全東ヲ含マズ)龍山・平康間、龍山線
 - 仁川機關區—仁川・永登浦間(永登浦ヲ含マズ)
 - 新幕機關區—鳳東・新鳳山間(鳳頭ヲ含マズ)
- 列車區、1** 京城列車區—京城鐵道事務所々管區域=同ジ
- 檢車區、1** 京城列車區—同上
- 保線區、5**
 - 線路—京釜本線釜山起點 332.200^{千分}ヨリ終點=至ル線路、京義本線始點ヨリ 196.400^{千分}=至ル線路、京元線始點ヨリ 122.700^{千分}=至ル線路 龍山線、京仁線
 - 成歡保線區—京釜本線釜山起點 332.200^{千分}ヨリ同 437^{千分}=至ル線路
 - 龍山保線區—京釜本線釜山起點 437^{千分}ヨリ終點=至ル線路、京義本線始點ヨリ 京城起點 7.400^{千分}=至ル線路、龍山線、京元線始點ヨリ 龍山起點 37.700^{千分}=至ル線路、京仁線
 - 開城保線區—京義本線京城起點 7.400^{千分}ヨリ同 103.600^{千分}=至ル線路
 - 新幕保線區—京義本線京城起點 103.600^{千分}ヨリ同 196.400^{千分}=至ル線路
 - 鐵原保線區—京元線龍山起點 37.700^{千分}ヨリ同 122.700^{千分}=至ル線路
- 電氣區、1** 京城電氣區—京城鐵道事務所々管區域=同ジ
- 建築區、1** 京城建築區—同上

平壤鐵道事務所 營業杆 675.2^{千分}

京義本線—沙里院以北	299.1	32	3
兼二浦線—黃海黃州・兼二浦間(黃海黃州ヲ含マズ)	13.1	1	1
平壤炭礦線—大同江・勝湖里間(大同江)	23.3	4	2
平南線—平壤・鎮南浦間(平壤)	55.2	6	2
博川線—孟中里・博川間(孟中里)	9.3	1	1
新義州荷扱所線—新義州・新義州荷扱所間(新義州)	1.8	1	0
平元西部線—西浦・長林間(西浦)	96.5	9	6
滿浦本線—順川・价古間(順川)	140.0	11	6
价川線—新安州・价川間(新安州、价川)	29.5	2	2
龍登線—球場・龍登間(球場)	7.4	—	2

線路及驛數

計 675.2 67 25

- 機關區、2**
 - 平壤機關區—新鳳山新安州間(新鳳山新安州ヲ含マズ)兼二浦線、平壤炭礦線 平南線、平元西部線及滿浦本線、龍登線
 - 定州機關區—新安州京義線終端間、新義州荷扱所線、博川線、价川線
- 列車區、1** 平壤列車區—平壤鐵道事務所々管區域=同ジ
- 檢車區、1** 平壤檢車區—同上
- 保線區、5**
 - 線路—京義本線京城起點 196.400^{千分}ヨリ終點=至ル線路、兼二浦線、平元西部線始點ヨリ終點=至ル線路、平南線、平壤炭礦線、博川線、新義州荷扱所線、滿浦本線、价川線、龍登線
 - 平壤保線區—京義本線京城起點 196.400^{千分}ヨリ同 279^{千分}=至ル線路、兼二浦線 平元西部線始點ヨリ 西浦起點 1^{千分}=至ル線路、平南線、平壤炭礦線
 - 定州保線區—京義本線京城起點 279^{千分}ヨリ同 389.800^{千分}=至ル線路、博川線
 - 新義州保線區—京義本線京城起點 389.800^{千分}ヨリ終點=至ル線路、新義州荷扱所線
 - 順川保線區—平元西部線西浦起點 1^{千分}ヨリ終點=至ル線路、滿浦本線始點ヨリ 順川起點 43^{千分}=至ル線路、价川線
 - 熙川保線區—滿浦本線順川起點 43^{千分}ヨリ終點=至ル線路、龍登線
- 電氣區、1** 平壤電氣區—平壤鐵道事務所々管區域=同ジ
- 建築區、1** 平壤建築區—同上

元山鐵道事務所 營業杆 496.4^{千分}

京元線—福溪・元山間	100.0	11	3
咸鏡本線—元山・新北青間(元山新北青ヲ含マズ)	241.3	23	8
川内里線—龍潭・川内里間(龍潭)	4.4	1	0
東海北部線—安邊・杆城間(安邊)	150.7	11	10
計	496.4	46	21

- 機關區、3**
 - 福溪機關區—平康・釋王寺間(平康ヲ含マズ)
 - 元山機關區—釋王寺・永興間(釋王寺ヲ含マズ)川内里線、東海北部線
 - 咸興機關區—永興・新北青間(永興及新北青ヲ含マズ)
- 列車區、1** 元山列車區—元山鐵道事務所々管區域=同ジ
- 檢車區、1** 元山檢車區—同上
- 線路及驛數**
 - 線路—京元線龍山起點 122.200^{千分}ヨリ終點=至ル線路、東海北部線始點ヨリ終點=至ル線路、咸鏡本線始點ヨリ元山起點 235.300^{千分}=至

- 保線區、4
 - ル線路、川内里線
 - 福溪保線區—京元線龍山起點 122.700^円 ヨリ同 203.500^円 * =至ル線路
 - 元山保線區—京元線龍山起點 203.500^円 * ヨリ終點=至ル線路、東海北部線始點ヨリ安邊起點 42.800^円 * =至ル線路咸鏡本線始點ヨリ元山起點 117.900^円 * =至ル線路、川内里線
 - 咸興保線區—咸鏡本線元山起點 117.900^円 * ヨリ同 235.300^円 * =至ル線路
 - 高城保線區—東海北部線安邊起點 42.800^円 * ヨリ終點=至ル線路
- 電氣區、1 元山電氣區—元山鐵道事務所々管區域=同ジ
- 建築區、1 元山建築區—同上
- 建設工事區
 - 公峴津工事區—東海線(北部)杆城・文岩津間 12.595^円 *
 - 大津工事區—文岩津・東草間 9.997^円

城津鐵道事務所 營業料 464.4^円分

線路及驛數	普通驛	簡易驛
咸鏡本線—新北青・輪城間(輪城ヲ含マズ)	291.5	32
北青線—新北青・北青間(新北青ノ)	9.4	1
鐵山線—羅興・利原鐵山間(羅興ノ)	3.0	1
遮湖線—會山・遮湖間(會山ノ)	4.9	1
惠山線—吉州・鳳頭里間(吉州ノ)	99.7	7
白茂線—白岩・延岩間(白岩ノ)	55.9	6
計	464.4	22

- 機關區、2
 - 城津機關區—新北青輪城間、北青線、鐵山線、遮湖線、吉州合水間(合水ヲ含マズ)
 - 白岩機關區—合水鳳頭里間及白茂線

列車區、1 城津列車區—城津鐵道事務所々管區域=同ジ

檢車區、1 城津檢車區—同上

- 保線區、5
 - 線路—咸鏡本線元山起點 235.300^円 * ヨリ同 532^円 =至ル線路、北青線、鐵山線、遮湖線、惠山線、白茂線
 - 新北青保線區—咸鏡本線元山起點 235.300^円 * ヨリ同 303^円 =至ル線路、北青線、鐵山線、遮湖線
 - 城津保線區—咸鏡本線元山起點 303^円 * ヨリ同 393.300^円 * =至ル線路
 - 吉州保線區—咸鏡本線元山起點 393.300^円 * ヨリ同 425.600^円 * =至ル線路、惠山

- 線始點ヨリ吉州起點 50^円 =至ル線路
- 白岩保線區—惠山線吉州起點 50^円 * ヨリ終點=至ル線路、白茂線
- 羅南保線區—咸鏡本線元山起點 425.600^円 * ヨリ同 532^円 =至ル線路

電氣區、1 城津電氣區—城津鐵道事務所々管區域=同ジ

建築區、1 城津建築區—同上

平壤建設事務所 滿浦建設線、平元西部建設線

- 建設工事區
 - 狗峴嶺第四工事區—滿浦線自順起 155.400^円 至同 159.800^円 4.396^円 *
 - 黃麟工事區—云松・前川間 17.911^円 *
 - 双芳工事區—前川・双芳間 6.940^円
 - 別河工事區—双芳・別河間 10.915^円
 - 梧毛老工事區—別河・梧毛老間 12.600^円
 - 高蓋工事區—乾下・高蓋間 5.680^円
 - 新邑工事區—平元線(西部)化倉・新邑間 13.269^円

城津建設事務所 惠山建設線、平元東部建設線、白茂建設線

- 建設工事區
 - 日建工事區—惠山線日建・大下間 2.920^円 *
 - 大五是工事區—大下・劍山間 11.681^円
 - 惠山工事區—劍山・惠山間 9.041^円
 - 下黃土工事區—白茂線下黃土・楡坪間 14.643^円
 - 直洞工事區—平元東部線直洞・館坪面間 6.240^円

第三章 人事

從事員 年度末現在員ハ高等官 90^人、同待遇 10^人、判任官 1,697^人、同待遇 303^人、雇員 4,437^人、囑託 100^人、傭人 14,260^人 (試傭 305^人ヲ含ム)、合計 20,897^人ニシテ、之ガ俸給給料月額ハ 1,236,385.79^円ナリ。之ヲ前年度ニ比較スルニ人員ニ於テハ高等官 4^人、判任官 140^人、同待遇 44^人、雇員 467^人、囑託 14^人、傭人 1,611^人 (試傭ヲ含ム)計 2,280^人ヲ増加シ、俸給給料月額ニ於テハ 107,413.16^円ノ増加ヲ示セリ。

人員増加ノ主因ハ輸送量ノ増加、建設及改良工事ノ進捗ニ伴フ増員ノ外、南朝鮮線ノ買収ニ伴ヒ從事員 367^人ヲ引繼キタルニ由ル。

營業一軒當平均人員ハ年度末 6.17ニシテ前年度ニ比シ 0.12ノ増、營業一軒當平均俸給給料

月額八年度末 364.77^円ニシテ前年度ニ比シ 2.09^円ノ減トナリ、尙一人當平均俸給料月額八年度末 59.17^円ニシテ前年度ニ比シ 1.47^円ヲ減少セリ。

以上ノ外、在外研究員 2^人(參事 1 技師 1) 休職者 2^人(副參事 1 技師 1)、在官ノ儘關東軍配屬者 1^人(技師) 及臨時傭人 340^人アリ。

従事員養成 本年實施シタル主ナル事業ハ本科、電信科ノ外營業科第一部(二箇月半) 同第二部(一箇月半)機關科第一部(六箇月) 檢車科(二箇月)ヲ各一回開催シタリ。

生徒入退學者數

科 別	昭和九年度末	入 學	退 學 死 亡	卒 業	昭和十年度末
本 科	20	—	0	20	0
業務科	—	—	—	—	—
運轉科	20	—	1	19	0
土木科	—	—	—	—	—
工 作 科	—	—	—	—	—
電 信 科	0	50	2	48	0
營業	0	129	1	128	0
檢 車	0	20	0	20	0
機 關	0	55	0	55	0
夜 學	104	82	53	17	116
計	144	336	57	307	116

備考 土木科ハ大正十三年度以降、工作科ハ昭和七年度以降、業務科、運轉科ハ昭和九年度以降募集セズ

第四章 共 濟

共濟組合 年度末組合員ハ甲種 18,378^人、乙種 412^人、計 18,790^人(内朝鮮人 8,414^人)ニシテ年度中新規加入者 3,463^人、脱退者 1,165^人、差引前年度ニ比シ 2,298^人ヲ増加セリ主トシテ新線營業開始竝ニ南朝鮮鐵道ノ買収及業務上ノ増員ニ因ル。

組合ノ收入ハ政府給與金、組合員掛金、收入利息及前年度繰越金(前年度末責任準備金ノ同豫備金)ヲ合シ總額 7,308,734.91^円 支出ハ公傷、廢疾、療養、疾病、退職、遺族ノ各給付 5,040^件ニ對スル金額 308,711.68^円ニ過誤納拂戻金其ノ他ヲ合シ總額 308,795.71^円ニシテ收支差引殘高 6,999,939.20^円 内年度末現在人員竝ニ現在年金受給者ニ對スル責任準備金トシテ 6,262,648.65^円ヲ積立テ差引殘額 737,290.55^円ハ豫備金トシテ積立テタリ、之ガ詳細ハ別項統計表ノ如シ。

附帶施設 次ニ組合ノ附帶施設タル貯金部、金融部、消費部、投産部ニ付概況ヲ述ブレバ次ノ如シ。

貯金部 年度末預金總口數ハ團體貯金ヲ合シ 33,816^口ニシテ此ノ金額 8,530,400.78^円ニ達シ前年

度末現在ニ比シ口數ニ於テ 3,712^口金額ニ於テ 619,989.56^円ヲ増加(主トシテ新線ノ營業開始竝ニ南朝鮮鐵道ノ買収及業務上ノ増加ニ因ル)セリ。而シテ職員一人當平均額ハ 248.10^円ニシテ前年度ニ比シ 9.41^円ヲ減少セリ。

本年度ニ於ケル受拂ノ内譯次ノ如シ。

貯 金 受 拂 表

種 別	前年度末現在		本年度受入額		本年度拂戻額		本年度末現在		
	口數	金 額	件數	金 額	件數	金 額	口數	金 額	
据 置 貯 金	18,187	6,928,235.87 ^円	306,608	2,717,278.96 ^円	15,949	2,124,063.86 ^円	20,540	7,521,450.97 ^円	
普 通 貯 金	11,924	932,175.35 ^円	148,938	11,159,769.81 ^円	26,898	11,132,995.35 ^円	13,276	1,008,949.81 ^円	
内	一般職員ノ分	11,921	823,139.12 ^円	147,310	1,248,995.25 ^円	23,818	1,204,558.56 ^円	13,273	867,575.81 ^円
	共濟組合ノ分	1	150,247.18 ^円	527	9,355,524.84 ^円	792	9,381,793.42 ^円	1	123,978.60 ^円
	投産部ノ分	1	4,731.67 ^円	518	275,592.30 ^円	1,478	270,961.24 ^円	1	9,362.73 ^円
	金融部ノ分	1	4,057.38 ^円	633	279,657.42 ^円	810	275,682.13 ^円	1	8,032.67 ^円
計	30,111	7,910,411.22 ^円	455,596	13,877,048.77 ^円	42,847	13,257,059.21 ^円	33,816	8,530,400.78 ^円	
對前年度比較増減	3,193	281,092.44 ^円	49,565	2,357,732.15 ^円	3,687	2,018,835.03 ^円	3,712	619,989.56 ^円	

預リ金ノ利率ハ据置貯金日歩一錢五厘、普通貯金日歩一錢一厘、但シ共濟組合預リ金ニシテハ年四分二厘ノ處昭和十年十二月一日以降年三分六厘五毛(日歩一錢)ヲ附セリ。而シテ預リ金ノ運用ニ就テハ消費部其ノ他私設鐵道會社ノ事業資金トシテ融通シタル外殆ソド銀行ニ預入シ利殖シツ、アリ、但シ私設鐵道會社貸付金中南朝鮮鐵道ハ十一年三月一日付政府買収ニ依リ同社ニ對スル貸付金相當額ハ國債證券ヲ以テ代物辨濟ニ依ル債權讓渡ヲ受ケタリ。

預 金 運 用 表

區 別	前年度末現在	本 年 度 中		本年度末現在
		預金又ハ貸付高	回 收 高	
銀 行 預 金	2,616,238.24 ^円	23,952,893.26 ^円	23,437,177.81 ^円	3,131,953.69 ^円
消 費 部 貸 付 金	210,000.00 ^円	2,715,000.00 ^円	2,765,000.00 ^円	160,000.00 ^円
金 融 部 貸 付 金	155,000.00 ^円	70,000.00 ^円	—	225,000.00 ^円
投 産 部 貸 付 金	105,000.00 ^円	20,000.00 ^円	—	125,000.00 ^円
南 朝 鮮 鐵 道 株 式 會 社 貸 付 金	3,400,000.00 ^円	50,000.00 ^円	3,450,000.00 ^円	—
朝 鮮 京 東 鐵 道 株 式 會 社 貸 付 金	595,000.00 ^円	40,000.00 ^円	—	635,000.00 ^円
新 興 鐵 道 株 式 會 社 貸 付 金	640,000.00 ^円	—	—	640,000.00 ^円
有 價 證 券	49,945.50 ^円	3,450,000.00 ^円	—	3,499,945.50 ^円
計	7,771,183.74 ^円	30,297,893.26 ^円	29,652,177.81 ^円	8,416,899.19 ^円
對前年度比較増減	345,985.10 ^円	4,786,522.73 ^円	4,486,792.38 ^円	645,715.45 ^円

本年度損益勘定=屬スル収入總額ハ 448,248.43 支出總額ハ 439,967.39 ニシテ差引 8,281.04 ノ利益ヲ生ジ之ニ前年度利益繰越金 43,664.47 ヲ合シ計 51,945.51 ヲ翌年度ニ繰越シタリ。

資 産 負 債 表

資 産 ノ 部			負 債 ノ 部		
科 目	金 額	對 前 年 度 比 較 増 減	科 目	金 額	對 前 年 度 比 較 増 減
現 金	283.13	△ 71.41	普 通 貯 金	1,008,949.81	26,774.46
銀 行 預 金	3,131,953.69	515,715.45	据 置 貯 金	7,521,450.97	593,215.10
振 替 貯 金	3.29	△ 59.93	未 拂 利 息	539.56	539.56
有 價 證 券	3,499,945.50	3,450,000.00	前 期 繰 越 金	43,664.47	△ 13,493.45
貸 付 金	1,785,000.00	△ 3,320,000.00	當 期 利 益 金	8,281.04	8,281.04
未 收 利 息	165,700.24	△ 16,773.95			
當 期 損 失 金	—	△ 13,493.45			
計	8,582,885.85	615,316.71	計	8,582,885.85	615,316.71

金融部 本年度ノ業績ヲ見ルニ年度中貸付タル口數 1,334 金額 240,798.00 返済シタルモノ 24,390 (完済口數 935) 此ノ金額 198,051.00 ニシテ年度末現在口數 1,937 金額 220,077.00 トナレリ之ヲ前年度ニ比スルニ口數ニ於テ 399 金額ニ於テ 42,747.00 ヲ増加シ更ニ之カ一人當平均 113.62 ヲ前年度ニ比シ 1.68 ノ減少トナル、而シテ貸付資金ハ年五分五厘ノ利率ニ依リ貯金部ヨリ融通ヲ受ケ其ノ額年度末現在 225,000.00 ニシテ前年度末ニ比シ 70,000.00 ヲ増加セリ。

本年度損益勘定ニ於ケル受入ハ収入利息 11,560.18 支出ハ支拂利息、雜費ヲ合シ 34,837.89 ニシテ差引 23,277.71 ノ損失ヲ生ジタリ、之ヲ前年度ノ利益繰越金 26,387.38 中ヨリ補填シ差引 3,109.67 ヲ翌年度ニ繰越シタリ。

資 産 負 債 表

資 産 ノ 部			負 債 ノ 部		
科 目	金 額	對 前 年 度 比 較 増 減	科 目	金 額	對 前 年 度 比 較 増 減
預 金	8,032.67	3,975.29	資 金	225,000.00	70,000.00
貸 付 金	220,077.00	42,747.00	前 期 繰 越 金	26,387.38	1,873.08
當 期 損 失 金	23,277.71	23,277.71	當 期 利 益 金	—	△ 1,873.08
計	251,387.38	70,000.00	計	251,387.38	70,000.00

消費部 消費部ハ組合員並ニ一般従事員ニ日常生活必需品ヲ低廉ニ供給シ家計ノ緩和ヲ圖ル目的ノ爲ニ施設セラレタルモノナリ。本部ヲ龍山ニ置キ全鮮主要地ニ配給所ヲ設ケ且ツ邊陲ノ地ニ在住スル従事員ノ爲ニ毎月配給車ヲ運行シテ生活用品購入ノ便ヲ圖リツ、アリ。

事業資金ハ共済組合貯金部ヨリ 850,000 限年度トシテ年 5.5 分ノ利率ヲ以テ融通ヲ受ケタルモノ之ニ充ツ、其額前年度末現在 210,000 ニシテ年度内借入額 2,715,000 同返済額 2,765,000 ニシテ本年度末現在 160,000 トナレリ。

本年度ニ於ケル物品購入總額 4,182,108.70、配給高 4,544,582.88、配給ヲ受ケタル人員 18,585 人 1 當リ 1 箇年平均配給高 244.53 同 1 箇月平均 20.38 ニシテ、之ヲ前年度ニ比スレバ配給ヲ受ケタル人員ニ於テ 1,601 配給高ニ於テ 511,408.91、1 當リ 1 箇年平均約 7.07 ノ増加ヲ示セリ。

本年度業績ハ下ノ如シ。

消 費 部 貸 借 對 照 表 (昭和十一年三月三十一日現在)

借 方 (資産ノ部)		貸 方 (負債ノ部)	
本 部 物 品	66,989.23	借 入 金	160,000.00
配 給 所 物 品	318,674.63	未 拂 金	200,756.04
配 給 車 物 品	5,303.94	受 入 保 證 金	300.00
未 收 金	465,396.86	身 元 保 證 金	45,478.10
當 座 預 金	3,957.00	假 受 金	78.75
振 替 貯 金	21.41	缺 損 補 填 積 立 金	302,353.88
地 方 送 金	1,738.66	従 事 員 退 職 積 立 金	62,675.00
假 拂 金	4,502.86	改 築 積 立 金	42,074.93
建 物 及 什 器	38,308.56	繰 越 金	19,947.63
		損 益	71,228.82
計	904,893.15	計	904,893.15

消 費 部 損 益 計 算 表

利 益	損 失		
割 掛 收 入	426,818.20	諸 給 與 金	195,838.65
副 生 品 收 入	5,556.29	諸 經 費	28,974.29
雜 收 入	2,539.85	支 拂 利 息	24,298.85
雜 益	629.82	鐵 道 運 賃	79,499.22
收 入 利 息	305.56	關 稅 運 賃 諸 掛	5,097.26
		石 炭 諸 掛	13,518.33
		雜 費	1,350.86
		雜 損	16,043.44
計	435,849.72	計	364,620.90

差引当期利益金	71,228.82
前期繰越利益金	19,947.63
合計	91,176.45
利益金處分	
上記利益金を處分スルコト下ノ如シ。	
建物及什器消却積立金	7,661.00
缺損補填積立金	15,000.00
改築積立金	40,000.00
従業員退職手當積立金	20,000.00
次年度繰越金	8,515.45

箇所別配給表 (上…昭和九年度 下…昭和十年度)

品名	白	米	雜穀	酒類	煙草	薪炭	雜品	石炭	副産品	計
本部							3,308.00	2,017.34	3,136.82	8,462.16
配給車							118,391.98			118,391.98
龍山	131,141.17	1,754.82	10,377.96	9,336.99	11,389.13	260,404.92	46,261.40	8.00	471,174.39	499,440.96
京城	47,938.89	458.78	2,431.89	4,344.17	3,142.59	36,667.17	7,033.29		102,116.78	120,538.72
西大門	19,670.73	239.91	1,824.16	1,868.42	1,541.85	26,294.59	5,366.50		56,856.16	63,047.32
錦町	46,149.17	518.88	3,183.19	3,389.44	4,677.64	61,207.49	11,780.30		130,911.11	154,215.98
京城工場	86,004.20	166.45	1,821.76	7,597.58	8,873.84	80,242.17	9,176.45		193,882.45	208,172.58
仁川	21,446.62	467.88	1,733.69	1,977.45	1,843.30	21,049.79	5,227.76	85.50	53,836.99	55,760.15
大田	90,967.94	896.07	4,308.35	4,267.50	3,895.29	92,635.47	8,959.97	100.51	206,031.10	205,643.58
大邱	32,532.84	2,933.35	2,762.10	3,131.47	3,175.64	55,212.71	1,521.75	39.93	101,309.79	109,392.66
慶州	20,380.70	1,624.11	3,649.22	1,991.25	636.75	28,059.86	1,561.94	60.43	57,964.26	64,728.45
草梁	58,904.93	2,370.70	2,451.88	3,945.11	10,737.24	79,315.34	1,737.06	260.32	159,622.58	184,563.81
馬山	17,110.41	1,024.04	1,811.99	2,100.59	1,192.30	35,737.64	431.62	38.33	59,446.92	62,645.80
裡里	42,650.25	495.26	4,035.39	2,499.40	1,996.80	74,051.93	3,457.36	27.00	129,213.39	123,596.39
木浦	21,240.43	570.32	3,749.59	2,252.88	1,516.11	37,985.61	1,865.50	108.45	69,288.89	77,443.14

新幕	28,804.78	2,040.60	5,638.20	2,308.66	163.00	61,853.65	4,600.10	20.70	105,429.69
平壤	31,954.59	1,704.96	5,130.67	2,770.63	263.00	56,166.69	3,343.95	46.55	101,381.04
熙川	92,543.48	3,387.20	8,669.60	10,576.26	4,809.33	192,017.00	3,386.55	107.27	315,496.69
狗岬嶺	12,338.62	77.81	1,437.40	540.74	1,016.30	17,238.83	2,087.87	7.70	34,745.27
定州	24,704.07	240.11	3,832.47	2,915.48	174.25	61,497.97	3,338.02	36.83	96,739.20
新義州	20,864.65	154.93	4,208.65	2,032.15	890.28	31,284.80	2,524.56	35.00	61,995.02
福溪	20,146.11	351.62	6,568.97	2,438.98	0	62,830.39	4,287.20	32.60	96,655.87
元山	68,799.09	548.34	8,167.97	6,384.44	3,448.20	103,198.15	6,040.22	155.59	196,742.00
咸興	25,395.18	369.76	5,444.60	2,686.69	0	51,464.29	5,065.55	69.61	95,495.68
新北青	23,120.90	208.51	7,398.73	2,308.44	177.50	45,436.71	3,932.10	55.15	82,638.04
城津	54,190.64	324.74	10,995.13	5,138.98	470.04	88,919.70	2,368.65	99.85	162,507.73
白岩	34,962.89	216.35	7,257.23	1,147.08	199.95	44,635.54	1,107.10	—	88,379.06
清津	117,295.74	9,890.44	13,981.35	8,139.64	5,521.47	138,386.17	11,100.50	220.60	304,535.94
會寧	61,638.01	8,187.91	8,345.38	4,863.83	947.85	89,403.78	3,431.10	136.36	177,004.22
雄基	48,952.54	491.17	4,071.85	2,620.38	482.95	45,515.21	882.90	14.55	103,031.55
羅津	43,841.96	295.13	7,306.38	4,692.36	952.95	77,331.89	—	30.96	134,451.63
高城	90,737.39	710.69	10,627.73	10,297.29	2,395.22	111,397.14	—	62.00	226,227.46
南原	15,721.08	181.33	3,107.39	1,411.56	335.62	22,495.08	1,287.29	25.43	44,564.78
計	1,393,337.24	42,281.78	150,289.11	107,580.61	74,543.84	2,157,929.82	162,287.21	4,924.36	4,033,173.97
	1,682,827.37	49,118.95	187,748.83	118,933.66	80,059.51	2,277,765.63	182,296.26	5,233.27	4,544,582.88

授産部 授産部ハ組合員ノ家族ニ業ヲ授ケ生活ノ安定ヲ得セシムル目的ヲ以テ施設セラレタル

モノニシテ裁縫部、印刷手工部、編物部、洗濯部ノ各部ニ分チ主トシテ局用被服類、帳表類並乗車券類ノ製作ヲ行ヒ、併テ一般従事員ノ需ニ應ジ居レリ。

事業資金ハ之ヲ共済組合貯金部ヨリ年々5.5%ノ利率ヲ以テ融通ヲ受ケ年度末現在額 125,000 円ナリ、本年度ニ於ケル就業延人員ハ各部ヲ通ジ 76,940 人 製修品収入 245,140 円ニシテ前年度ニ比シ人員ニ於テ 5,549 人 製修品収入ニ於テ 27,491 円ノ増加ヲ見タルハ主トシテ局注文被服類ノ増加ニ依ルモノナリ。

資産負債並生産高比較下表ノ如シ。

授産部資産負債表

資 産			負 債		
科 目	金 額	前 年 度 對 比 較 増 減	科 目	金 額	前 年 度 對 比 較 増 減
預 金	9,362.730	4,631.060	資 金	125,000.000	20,000.000
備 品	62,349.684	21,565.430	積 立 金	16,314.700	—
建 造 物	14,849.325	△ 561.943	未 拂 金	7,293.790	△ 9,394.790
貯 藏 品	18,736.853	△ 2,429.690	前 年 度 繰 越 益 金	2,016.026	2,569.430
製 修 落 成 品	33,057.248	△ 9,164.138	當 期 益 金	2,569.430	1,335.089
半 成 品	6,608.736	3,387.161		—	—
未 收 金	8,209.370	△ 4,253.240		—	—
假 拂 金	20.000	—		—	—
前 年 度 繰 越 益 金	—	1,335.089		—	—
計	153,193.946	14,509.729	計	153,193.946	14,509.729

製修品生産高表

部 別	人 員		生 産 高	前 年 度 對 比 較 増 減
	人	延 人 員		
裁 縫 部	129	39,199	126,719.315	40,418.878
印 刷 手 工 部	109	32,301	108,253.381	△ 4,463.487
編 物 部	7	1,331	1,820.420	△ 8,993.900
洗 濯 部	14	4,109	8,346.950	529.840
雜 收 入 其 他	—	—	3,784.075	1,309.910
計	259	76,940	248,924.141	28,801.241
前 年 度 對 比 較 増 減	48	5,549	28,801.241	—

第五章 損害賠償並ニ見舞金

本年度ニ於ケル損害賠償並ニ見舞金ノ支出總額ハ 12,825.69^円ニシテ内賠償金ハ 8,214.18^円、見舞金ハ 4,611.51^円ナリ今之ヲ前年度ニ對比スルニ賠償金ニ於テ 1,312.67^円増加シ見舞金ニ於テ 10,305.34^円減少シ結局 8,992.47^円減少セリ、而シテ内減少セルモノハ (濡損) 576.91^円、(死傷) 9,181.05^円 (其ノ他) 1,600.00^円ニシテ増加セルモノハ (滅失) 993.31^円、(破損) 116.63^円、(減量) 246.04^円、(汚損) 377.57^円、(腐敗變質) 3.60^円、(毀損其ノ他) 151.40^円、沿線火災 476.94^円ナリ。

第六章 保健・慰安

保 健 管テ同仁會ニ委託經營セシメタル龍山鐵道病院ヲ大正十五年四月直營トシ爾來專ラ内容ノ充實ヲ期シ又地方ニハ囑託醫及慰問婦ヲ駐在セシメ以テ従事員並家族ノ保健ニ資ス。

本年中ニ於ケル局員並其家族ノ診療人員 115,525^人 此延人員 554,588^人ニシテ前年度ニ比シ人員ニ於テ 19,840^人延人員ニ於テ 84,786^人ノ増ヲ示セリ。

病類別中最モ多キハ呼吸器病 85,369^人、消化器病 82,521^人ニシテ外傷 58,460^人之ニ亞グ。

龍山鐵道醫院 從來ノ建造物ニテハ狹隘ヲ感ズルニ至リタルヲ以テ昭和四年一月新ニ本館ヲ建設シ舊本館ハ病室其他ニ充當ス、現在建物面積延 5,172^{平方米} 内新館 2,100^{平方米}トス。

本年度末従事員ハ院長以下 110^名ニシテ主要事項左ノ如シ。

一、本年度中診療延人員 174,511^人 (内入院 24,004^人) 之ガ 1 日平均外來 412.3^人、入院 65.6^人ノ割合ニシテ前年度ニ比シ延人員ニ於テ 20,466^人ノ増 1 日平均ニ於テ外來 41.8^人 入院ニ於テ 14.1^人ノ何レモ増加ヲ示セリ。

二、次ニ病類別ニ依ル診療延人員 10,000^人以上ノモノヲ舉グレバ呼吸器病 35,514^人 (總數ニ對スル比率 26[%] 内局員 32,555^人) ヲ最高トシ次ハ消化器病 17,031^人 (9[%] 内局員 15,065^人) 泌尿器病 16,758^人 (9[%] 内局員 13,262^人) 外傷 15,090^人 (8[%] 内局員 13,001^人) 耳病 13,145^人 (7[%] 内局員 11,026^人) 眼及其附屬器病 11,582^人 (6[%] 内局員 9,557^人) 皮膚及其附屬器病 11,056^人 (6[%] 内局員 9,563^人) ノ順ナリ。

尙最少ハ流行性感胃 33^人 (局員) 全身病 79^人 (局員) トス。

三、診療人員ノ大部分ハ上記ノ如ク局員及其家族ニシテ之ガ延人員 151,737^人 (外ニ局外者 22,774^人) ナルガ更ニ之ヲ内詳別ニ示セバ内地人男 72,729^人 (前年度ニ比シ 10,423^人 増) 同女 66,681^人 (前年度ニ比シ 5,963^人 増) 朝鮮人男 25,979^人 (前年度ニ比シ 2,594^人 増) 朝鮮人女 9,122^人 (前年度ニ比シ 1,486^人 増) ナリ。

地方囑託醫 明治四十四年沿線主要地ニ囑託醫ヲ配置シテ以來漸次其數ヲ増加シ本年度末總數 98^名 (内無給 34^名)ニシテ其大部ニハ醫務室及住宅ヲ貸與シ、主トシテ沿線従事員ノ診療ニ從事セシム。

駐在地ハ釜山・進永・三浪津・馬山・晋州・大邱・慶州・永川・浦項・蔚山・金泉・大田・烏致院・天安・水原・永登浦・仁川・和泉町・錦町・開城・新幕・沙里院・兼二浦・平壤・鎮南浦・順川・价川・熙川・新安州・定州・新義州・木浦・松汀里・井邑・裡里・全州・南原・全南光州・和順・寶城・順天・麗水・江景・議政府・鐵原・福溪・高山・元山・庫底・高城・永興・咸興・前津・新北青・端川・城津・吉州・白岩・羅南・清津ノ六十箇所ニシテ上記ノ外建設線專屬囑託

醫 18 (助手共) ヲ有シ其駐在地ハ 价古介・梧毛老・直洞・黃麟・前川・雙芳・別河・高蓋・日建・大五是・惠山・楡坪・新邑・公峴津・天津・龍林・上洞トス

而シテ之等地方醫ノ取扱ヒタル診療人員 85,552 其延人員 402,851 ニシテ病類別ニ見ルトキハ消化器病、呼吸器病、外傷皮膚及其附屬器病、眼及其附屬器病ノ順位トス。

結核療養ノ一方法トシテ個人經營ノ元山、山川病院分院臨海莊ノ經營者タル山川恒之氏ニ醫務囑託ヲ委嘱シ員數 37 對シ入院治療延人員 875 ノ利用者アリタリ。

慰問婦 醫療機關ノ設備少キ沿線従事員家族ノ爲巡回慰問婦ヲ配置シ専ラ妊婦ノ相談、助産病氣看護等ニ當ラシム共定員 39 ニシテ駐在地左ノ如シ。

釜山・進永・馬山・大邱・慶州・金泉・永同・天田・裡里・井邑・松汀里・木浦・南原・天安・仁川・京城・開城・新幕・沙里院・平壤・順川・新安州・定州・新義州・福溪・元山・高城・永興・咸興・前津・新北青・端川・城津・吉州・明川・羅南・白岩・价古介・公峴津。

水質試験 毎年隨時全線ノ飲料水ヲ取集メ龍山鐵道醫院ニ於テ詳細ニ試験シ其結果ヲ關係ノ向ニ通報シ夫々施設改善ノ資料トス。

本年度試験井戸總數 44 ニシテ内譯飲料好適ノモノ 33 (内凌漚濾過使用ヲ要スルモノ 3) 飲料不適ノモノ 11 ナリ。

慰安 従事員慰安ニ關スル施設ハ主トシテ局友會ニ於テ之ヲ實施ス。

局友會ハ全従事員ヲ會員トシ本部ヲ本局内ニ支部ヲ釜山・大田・京城・京城工場・平壤・元山・城津ノ 7 所簡ニ、會場ヲ釜山・馬山・大邱・慶州・大田・裡里・木浦・光州・京城・仁川・新幕・平壤・定州・新義州・元山・福溪・咸興・高城・城津・新北青・羅南・清津ノ 22 簡所ニ置ク。

本年度事業概況竝ニ其ノ收支次ノ如シ。

(1) 運動會

本支部ニ於テ従事員及家族ノ慰安ヲ主トスル運動會竝ニ野遊會ヲ春秋ノ好期ニ開催セリ。

(2) 慰安

(イ) 娛樂機關ノ設備少ク平素慰安ノ機會ニ乏シキ中間驛所在勤者及其家族ノ爲活動寫眞班ヲ巡回センメタリ。

(ロ) 建設線及現場員慰安ノ爲藝人班或ハ活動寫眞班ヲ派遣スルノ外各工事區ニ慰安費若干ヲ分配セリ。

(ハ) 本支部會場ニ於テ落語、講談、浪花節、活動寫眞其他ヲ聘シ隨時慰安會ヲ開催セリ。

(ニ) 知名ノ士ヲ招聘シ沿線主要地ニ於テ又地方巡回講師ヲ委嘱シ各支部管内ニ於テ修養ニ關スル講演會ヲ又青葉町及金剛山ニ於テ各四日間ニ亙リ修養講習會ヲ開キタリ。

(ホ) 朝鮮人従事員及其家族ノ爲特別慰安會ヲ開催セリ。

(3) 兒童保護

兒童心身ノ健全ナル發達ヲ期シ學齡未滿兒ノ保育竝ニ託兒ヲ行ヒ尙ホ兒童ヲ一團トスル「子供ノ會」ヲ開ク、現在兒童遊園開設箇所ハ龍山、西大門、釜山及平壤ナリ。

其他 以上ハ局友會保健部ニ於テ實施セルモノナルガ其他文藝部ニ屬スル雜誌「局友」ヲ毎月 2 回内鮮兩文併載ニテ發行シ全従事員ニ無代配付ス。

年度未發行部數 18,900 部ナリ。

會計 本年度局友會收支決算次ノ如シ。

局友會收支表

收入ノ部			支出ノ部		
費目	金額	對前年度比較増減	費目	金額	對前年度比較増減
會費	63,586		庶務部費	40,670	
鐵道局離出金	30,000		保健部費	51,400	
寄附金	15,000		講演部費	1,011	
收入利息	9,673		劍道部費	939	
庶務部收入	2,515		弓道部費	1,759	
保健部收入	11,156		相撲部費	592	
水泳部收入	1,243		乘馬部費	730	
漕艇部收入	0		射擊部費	380	
狩獵部收入	26		遠足部費	730	
撞球部收入	6,373		陸上運動部費	763	
音樂部收入	150		野球部費	5,226	
園藝部收入	2,361		軟式野球部費	2,853	
雜收入	1,108		硬式庭球部費	602	
前年度繰越	22,696		軟式庭球部費	2,782	
			蹴球部費	1,505	
			排球部費	486	
			柔道部費	682	
			水泳部費	2,088	
			漕艇部費	1,428	
			冬季運動部費	855	
			狩獵部費	745	
			撞球部費	8,521	
			美術部費	1,259	
			音樂部費	3,689	
			棋道部費	1,615	
			室内遊戲部費	632	
			園藝部費	3,896	
			豫備費	10,515	
			翌年度繰越金	17,534	
合計	165,887	8,499	合計	165,887	8,499

備考 損目變更ノ爲前年度比較率ヲ省略ス

第七章 圖書館

年度末ニ於ケル圖書總數ハ 131,781^冊ニシテ其ノ内譯ハ本館 96,680^冊、巡回文庫用圖書 20,786^冊、各課所専用備付圖書 14,315^冊ニシテ特ニ交通、工學ニ關スルモノヲ多數蒐集ス。

本年度ニ於ケル成績ヲ見ルニ開館日數ハ 325^日、館内閱覽者 54,013^人、同閱覽圖書 33,309^冊ヲ算ス。館外帶出ハ帶出者 34,039^人、帶出圖書冊數 68,422^冊ナリ。巡回文庫ノ發送冊數ハ 20,881^冊ニシテ閱覽者 11,995^人、閱覽冊數ハ 22,438^冊ニ達シ、列車文庫ノ發送冊數ハ 7,143^冊ニシテ閱覽者 46,087^人、閱覽冊數 50,507^冊、ホテル文庫ノ發送冊數ハ 1,084^冊ニシテ閱覽者 304^人、閱覽冊數ハ 437^冊ニテ閱覽者總數 146,438^人、閱覽總冊數 175,113^冊トナル。圖書取次販賣ハ發送圖書 31,886^冊ニシテ其金額 19,642.10^円ニ上レリ。

第二編 運輸

第一章 運輸施設及成績ノ概要

(I) 運輸施設 年度末停車場總數ハ 494^{箇所} (内簡易驛 140^{箇所} 信號場 1^{箇所})ニシテ前年度ニ比シ 53^{箇所}ヲ増加シタリ、年度中施設ノ主ナルモノヲ擧グレバ

(A) 新線延長ハ (イ) 惠山線ニ於ケル白岩・鳳頭里間 29.7^{キロ} 及 (ロ) 白茂線山羊臺・延岩間 22.1^{キロ}ヲ何レモ九月一日營業開始ヲナシ、引續キ (ハ) 滿浦線熙川・价古間 30.2^{キロ}ヲ十月一日ニ (ニ) 東海北部線高城・杆城間 39.3^{キロ}ヲ十月一日ニ (ホ) 十二月十六日ニハ更ニ東海南部線佐川・蔚山間ヲ建設シ初メテ南部線ニ於ケル鐵道ノ全通ヲ見ルニ至レリ、而シテ越ヘテ十一年三月一日ニハ南朝鮮鐵道株式會社線麗水港・全南光州間 160.0^{キロ}ノ買收行ハレ國鐵トシテノ運輸營業ヲ開始セリ。

(B) 局營自動車關係ニ在リテハ 十一年三月南朝鮮鐵道ノ買收ニ伴ヒ同社附帶事業トシテ經營中ノ全南光州・麗水間外 300^{キロ}ノ自動車運輸事業ヲ當局ニ於テ引受ケ最初ノ局營自動車トシテ三月一日ヨリ營業開始セリ。

(イ) 線路名稱ハ光麗線ト定メ、(ロ) 延長ハ旅客線ニ於テ光麗本線 (麗水一筏橋一全南光州間) 143^{キロ}、曲順線 (順天邑一廣川里一曲川間) 51^{キロ}、同福線 (福巖一同福間) 8^{キロ}、和順線 (和順邑一和順間) 3^{キロ}、水門線 (寶城一水門浦間) 24^{キロ}、計 229^{キロ}、貨物線ニ於テ光麗本線 (和順邑一福巖間) 11^{キロ}、同福線 (福巖一同福間) 8^{キロ}、和順線 (和順邑一和順間) 3^{キロ}、長興線 (寶城一全南長興、盃山一長平間) 29^{キロ}、福内線 (寶城一福内間) 20^{キロ}、計 71^{キロ}、線路延長合計 300^{キロ}ナリ、但シ和順一福巖一同福間 22^{キロ}ハ旅客、貨物線重複セルニ付互長 278^{キロ}ナリ、(ニ) 停留所及荷扱所數ハ總計 85^{箇所}、(内鐵道連絡驛 7、掛員配置停留所 2、掛員無配置停留所 67、業務委託停留所 5、掛員配

置荷扱所 1、掛員無配置荷扱所 1、業務委託荷扱所 2)ニシテ外ニ鐵道事務所長指定ノ乗降場 66アリ。

(C) 旅客關係ニ在リテハ (イ) 「連帶運輸開始」 1. 四月一日ヨリ北鮮線經由當局線ト日本海汽船北鮮航路間一般旅客ノ連帶運輸ヲ開始ス、 2. 四月一日ヨリ當局線ト朝鮮汽船木浦滿洲間航路間一般旅客ノ連帶運輸ヲ開始ス、 3. 三月一日ヨリ當局線ト朝鮮汽船釜山麗水港間一般旅客ノ連帶運輸ヲ開始ス、 4. 三月一日ヨリ當局線ト村上自動車部間一般旅客ノ連帶運輸ヲ開始ス (ロ) 「運賃割引」 國民保健ノ増進ヲ企ル爲恒例的ニ實施セル行樂地行運賃ノ割引ヲ爲ス。(ハ) 「規定改正」 1. 十一月一日ヨリ當局旅客及荷物運送關係規定ヲ旅客ト荷物ニ分離シ各別ニ規定シタリ。 2. 三月一日ヨリ南朝鮮鐵道線及自動車線買收ニ伴ヒ規定ノ改正ヲ爲スト共ニ自動車運賃率ヲ下記ノ如ク遠距離遞減累加法ヲ採用ス。

五十軒以下ノ軒程	每一軒	三 錢
五十軒ヲ超ユル軒程	同	二錢五厘
百軒ヲ超ユル軒程	同	二 錢

(D) 貨物關係ニ在リテハ

(イ) 規定ノ改正

1. 四月一日ヨリ貨物運送狀ハ車扱其他特殊ノ取扱ニ依ルモノ、外之ヲ廢止シ託送ノ簡易化ヲ圖レリ。
2. 四月十九日ヨリ小口扱及應扱ニ依ル石油燈油及石油輕油ノ裸罐輸送ヲ認メ荷造ノ負擔ヲ輕減シ商取引上ノ不便ヲ緩和セリ。
3. 十月一日ヨリ鐵道ノ請求スル附添人運賃ノ無料扱、引渡證明書ノ發行期間延長、運賃料金額ヲ後拂ニ變更、特別ノ事情アリト認ムル場合ノ増運賃ノ減免及荷物發送後ノ引換代金額ノ變更ヲ認ムル等規則ノ一部ヲ變更貨主ノ利便ヲ圖レリ。
4. 十一年三月一日ヨリ南朝鮮鐵道買收ニ伴フ直營自動車營業開始ニ依リ自動車線貨物運送規則ヲ制定セリ。

(ロ) 運賃割引

出貨獎勵ノ目的ニテ米、蜀黍、豆類、木材、林檎、栗、柑橘類、鹽、鯀、明太子、石炭、金礦、鐵礦、螢石、石膏、マクネサイト、石灰石、硫安、砂糖、麥粉、麥酒、セメント、ゴム靴、繩、綿羊等ニ對シ割引貨率ヲ設定シ又救療藥品ニ對シ無貨輸送ノ取扱ヲ爲セリ。

(ハ) 連帶運輸ノ擴張

1. 十年七月一日ヨリ局線ト鐵路總局線間發着ノ場合ニ於ケル總局線連帶取扱驛ヲ同局全線主要驛ニ擴張シ向滿鐵線安東・奉天間又ハ北鮮線、總局線及滿鐵線ヲ經由スル運送經路ヲ増加セリ。

- 2. 同日ヨリ局線ト滿鐵線間發着ノ場合北線及總局線ヲ經由スル運送經路ヲ增加セリ。
- 3. 同日ヨリ局線經由總局線ト澤山航路間連帶ヲ開始セリ。
- 4. 十一年三月一日ヨリ麗水港經由局線ト大阪商船、朝鮮汽船光本汽船及川崎汽船航路ト連帶運送ヲ開始セリ。
- 5. 三月十日ヨリ局線主要驛ト臺灣總督府交通局線各驛ト小口扱貨物ノ連帶運送ヲ開始セリ。
- 6. 三月二十日ヨリ局線經由鐵道省線主要驛ト總局線主要驛ト連帶運送ヲ開始セリ。

(2) 運輸成績 運輸收入ハ旅客貨物ヲ合シ 56,477,897^円ニシテ之ヲ前年度ニ比較スレバ 6,329,383^円

(12.6%)ヲ増加セリ。

(イ) 旅客運輸ニアリテハ 輸送人員 29,344,188^人、延人軒 1,763,136,433^{人軒}、手小荷物重量 57,911,981^{kg}、収入 28,172,471^円ニ達シ前年度ニ比シ人員 3,729^{千人}、(14.5%)延人軒 12.4%、手小荷物重量 15.1%収入 15.6%ノ孰レモ増加ヲ示セリ、之レガ主因ハ一般財界ノ好況、日滿交通ノ増進、農山漁村ノ振興、鑛山業並ニ諸工業ノ著シキ發展、新線ノ延長、師團對抗演習ノ實施、及健康増進ニ關心ヲ有スル旅行者ノ激増等ニシテ列車ノスピードピアップ、臨時列車ノ増發、車輛ノ増結ニ依リ辛フシテ輸送ヲ完結セルノ好況ヲ呈セリ。

(ロ) 貨物運輸ニ在リテハ、有貨貨物輸送艘數 8,667,642^艘、之ガ延艘軒 1,788,692,364^{艘軒}、収入 28,305,426^円ニシテ前年度ニ比シ艘數ニ於テ 98^{千艘} (12.8%)、(無貨局用貨物ヲ合スレバ 1,197^{千艘} (14.5%))、延艘軒 8.8%、(局用無貨貨物ヲ合スレバ (12.4%))、収入ニ於テ 2,515^{千円} (11.4%)ヲ孰レモ増加シ得タルハ一般財界ノ好調、諸企業發展、鑛業ノ躍進、化學工業並ニ重工業ノ普及、農産品、水産品、林産品始メトシ各種製品ノ價格ノ持續ト需要ノ旺盛等ニ因ル。

今主要貨物運輸成績ヲ列記セバ次ノ如シ。

	輸 送 艘 數		運 賃	
	本 年 度	(前年度比較増減)	本 年 度	(前年度比較増減)
米	726,233 ^艘	▲ 94,954 ^艘	1,722,554 ^円	▲ 144,457 ^円
糧	313,584	▲ 120,218	577,019	▲ 257,486
粟	164,140	▲ 31,332	808,656	▲ 240,535
雜 穀	94,374	14,950	318,156	7,075
果 物	96,376	23,299	720,318	135,895
薪	155,398	33,518	308,860	81,306
木 材	564,061	143,196	1,838,615	469,944
石 炭	1,321,635	102,271	2,864,743	▲ 121,263
鐵 及 礦 油	821,436	189,091	1,316,128	426,433
石 油	88,219	9,225	581,136	65,767

鹽	178,892	▲ 10,007	559,071	▲ 1,483
鮮 魚	62,871	▲ 7,732	501,367	▲ 27,695
金 屬	131,124	21,279	403,578	61,327
肥 料	489,258	134,980	1,860,459	591,154
セメント	552,770	207,784	1,428,409	456,985
總 収 益	112,308	14,588	402,810	68,364

第二章 旅 客

輸送ノ概況 内鮮滿間ノ交通愈々緊密ノ度ヲ加ヘ旅客量ハ著シク増加ノ記録ヲ示セルガ、鮮内地方の旅客モ一般財界ノ好轉ニ伴フ諸事業ノ勃興及農山漁村ノ振興ニ因リ、又年中行事トシテ施行ノ觀櫻團體、納涼避暑客、登山、ハイキング等ノ割引旅客モ順調ナル天候ト保健思想ノ普及ト相俟テ何レモ好成績ヲ舉ゲ輸送人員ハ總計 2,934^{萬人}ニ上リ前年度ニ比シ 373^{萬人} (14.6%)其ノ収入 381^{萬円} (15.7%)ノ何レモ躍増ヲ示セリ、月別概況下ノ如シ。

月別概況及施設事項

四 月 乗車人員 3,011,601^人 (前年同月ニ比シ以下同ジ 410,084^人増)

旅客収入 2,640,168^円 (380,635^円増)

觀櫻團體、學生修學旅行團、内地發鮮滿視察團體季節旅客ノ輸送好成绩ヲ示シ加フルニ南鮮地方水害罹災民北鮮移住團體ノ特殊輸送アリテ乗車人員ハ 300^{萬人}ヲ突破シ未曾有ノ記録ヲ殘セリ、而シテ對前年度トノ比較ハ人員 16[%]収入 17[%]ノ激増ヲ示セリ、當月ニ於ケル施設事項下ノ如シ (以下各月同シ)

運賃割引 北鮮旅行俱樂部主催京城見學團、湖南旅行俱樂部主催京城見學團、西鮮旅行俱樂部主催平壤見學團、朝鮮時報社主催鎮海馬山行觀櫻團、朝鮮民報社主催鎮海馬山行觀櫻團、京城施政二十五周年記念朝鮮産業博覽會觀覽者ニ對シ運賃割引ヲ爲ス。

連帶運輸開始 四月一日ヨリ北鮮線經由當局線ト日本海汽船北鮮航路間、及當局線ト朝鮮汽船木浦滿洲間航路間一般旅客運輸ヲ開始ス。

新驛開業 一日ヨリ咸鏡線本宮簡易停車場ヲ普通停車場ニ變更ス。

臨時旅客列車運轉 内地發來鮮滿客増加ニ付本月一日ヨリ五月二十日迄釜山・京城間臨時急行旅客列車(第 87 列車)ヲ運轉ス。

五 月 乗車人員 2,429,528^人 (303,806^人増)

旅客収入 2,442,734^円 (339,420^円増)

近郊郊外散策客ニ對シ行樂地行割引ヲ實施シテ之ガ誘致ニ努メタルガ、ソノ成績極メテ良好ニシテ金剛山探勝客ト共ニ季節旅客ノ輸送繁忙ヲ呈セリ、對前年度ト比較ハ人員 14[%]収入 16[%]ノ増

加ナリ。

運賃割引 望月寺外八行樂地行施客、及妙香山普賢寺釋尊降誕祭參詣客、釋王寺降誕祭參詣客、三防峽行旅狩客ニ對シ運賃割引ヲ爲ス。

新驛開業 咸鏡線馬場旺場間ニ「范浦」簡易停車場ヲ新設一日ヨリ開業ス。

六月 乗車人員 1,830,224^人 (250,988^人 増)
旅客収入 1,918,577^円 (285,710^円 増)

一般客ハ鮮内農村ノ繁忙ニ因リ特ニ近距離客ノ急減ヲ來シ又團體客ハ花見遊山ノ季節旅客ヲ始メ内地發視察團體モ一段落シ輸送ハ稍々閑散ヲ示ス、對前年度比較成績ハ環境ノ好轉ニ因リ人員 16% 収入 18% 増加ヲ示セリ。

恒例ニ依リ金剛山探勝客ノ便ヲ圖リ十六日ヨリ一般休日ノ前日京城發列車ニ京城内外金剛間直通寢臺車ノ運轉ヲ開始ス。

運賃割引 萬傾江砂浴客ニ對シ運賃割引ヲ爲ス。

新驛開業 湖南本線佳水院・豆溪間ニ「黒石里」簡易停車場ヲ新設一日ヨリ開業セリ。

七月 乗車人員 1,797,926^人 (237,963^人 増)
旅客収入 1,941,552^円 (415,833^円 増)

夏假期ニ入り本月ノ輸送ハ本年度ノ最閑散ヲ示セルモ對前年度ニ比シテハ人員 15% 収入 27% ノ増加ヲ示セリ。

運賃割引 釜山外ニ十二箇所海水浴客、京城鐵道旅行俱樂部主催仁川海水浴客、大邱日報社主催浦項海水浴客、朝鮮民報社主催馬山海水浴客、木浦新報社主催煙火大會觀覽旅客ニ對シ運賃割引ヲ爲ス。

八月 乗車人員 2,226,113^人 (323,622^人 増)
旅客収入 2,291,503^円 (419,377^円 増)

海へ水郷へノ所謂納涼客ノ輸送ハ順調ナル天候ニ恵マレテ好記録ヲ殘シ全般的ニ輸送活況ヲ齎シタリ。

運賃割引 鎮南浦府營プール行旅客ニ對シ旅客運賃割引ヲ爲ス。

九月 乗車人員 2,590,506^人 (362,815^人 増)
旅客収入 2,259,808^円 (344,317^円 増)

旅行シーズンニ入り一般客ノ増加ト近郊行樂地へノハイキング客好成績ヲ示シ輸送人員ハ著シク増加セリ、對前年度比較成績ハ人員 16% 収入 18% ノ増加ヲ示セリ。

運賃割引 慶州新羅祭並奉讚會參拜者、論山彌勒祭參詣者ニ對シ旅客運賃割引ヲ爲ス。

新驛開業 惠山線白岩・鳳頭里間ニ嶺下、南中、生長驛ヲ又白茂線山羊峯・延岩間ニ西頭、延坪驛ヲ新設一日ヨリ營業ヲ開始ス、白茂線「大澤」簡易停車場ヲ普通驛ニ滿浦本線「北薪岬」驛

員無配置簡易停車場ニ驛員配置シ何レモ一日ヨリ取扱ヲ開始ス。

十月 乗車人員 2,833,459^人 (423,344^人 増)
旅客収入 2,446,939^円 (389,942^円 増)

觀楓、登山、栗拾等團體旅客ト學生修學旅行團ノ輸送繁忙ヲ呈シ、加フルニ湖南地方ニ於ケル師團對抗演習部隊、並ニ觀戰客ノ特殊輸送アリテ頗ル活況ヲ呈シ、前年度ニ比シ人員 18% 収入 19% ノ何レモ激増ヲ見タリ。

新驛開業 滿浦本線熙川・价古間ニ「草上、明文」停車場ヲ新設、平南線「道村」簡易停車場ヲ普通驛ニ變更一日ヨリ開業ス。

十一月 乗車人員 2,445,816^人 (348,087^人 増)
旅客収入 2,354,033^円 (399,379^円 増)

遊覽客ハ季節的ニ減少ヲ示セルモ財界環境ノ好調ニ依リ一般客ノ來往好成績ヲ示セリ。

規定改正 當局旅客及荷物運送關係規定ヲ旅客及荷物ニ分離シ各別ニ規定ス。

新驛開業 東海北部線高城・杆城間ニ草邱、猪津、縣内、巨津停車場、新義州江岸線新義州・新義州荷扱所間ニ「濱町」簡易停車場ヲ新設一日ヨリ開業ス。

咸鏡線龍坪停車場ヲ「漁大津」ト改稱ス。

十二月 乗車人員 2,563,219^人 (239,556^人 増)
旅客収入 2,583,837^円 (167,024^円 増)

恒例の年末ノ繁忙期ニシテ滿洲發内地行客未曾有ノ激増ヲ示シ、學生及歸省客ノ輸送ト相俟チ極メテ繁忙裡ニ越年セリ。

運賃割引 三防外六スキー場行旅客ニ對シ運賃割引ヲ爲シスキー具ノ一時預、及貸スキーノ取扱ヲ爲ス。

新驛開業 京釜線天安・成歡間ニ「稷山」簡易停車場ヲ新設一日ヨリ、東海南部線佐川・蔚山間ニ月内、南倉、徳下停車場ヲ新設十六日ヨリ開業ス。

東海南部線「機張」簡易停車場ヲ普通停車場ニ變更十六日ヨリ營業ス。

旅客事務向上週間施行 當局最初ノ試ミトシテ本月十八日ヨリ二十四日迄旅客事務向上週間ヲ施行シクルガ、旅客待遇改善上裨益ストコロ大ナルモノアリタリ。

一月 乗車人員 2,595,602^人 (305,024^人 増)
旅客収入 2,340,141^円 (239,990^円 増)

年末年始ノ歸郷客及環境好轉ニ依リ一般客ノ増加ニ依リ前年ニ比シ人員 13% 収入 12% ノ増加ヲ示セリ。

二月 乗車人員 2,192,633^人 (163,975^人 増)
旅客収入 2,097,912^円 (211,024^円 増)

鮮農ノ滿洲、北鮮移住者輸送ノ特殊材料アリ、一般客ノ増加ト共ニ好成績ヲ示ス。

三月 乗車人員 2,827,561^A (360,108^A 増)
旅客政入 2,855,267^M (221,813^M 増)

季節的ニ一般客漸増ヲ辿リ殊ニ内鮮滿間來往客激増シ、對前年比較ハ人員 15% 收入 9% ノ増加ヲ示セリ。

規定改正 南朝鮮鐵道線及同自動車線買収ニ伴ヒ規定ヲ類改正シ、自動車運賃率ヲ下記ノ如ク遠距離遞減累加法ヲ採用ス。

五十軒以下ノ軒程	每一軒	三 錢
五十軒ヲ超ユル軒程	同	二錢五厘
百軒ヲ超ユル軒程	同	二 錢

連帶運輸開始 三月一日ヨリ當局線ト朝鮮汽船釜山・麗水港間、及當局線ト村上自動車部間一般旅客ノ連帶運輸ヲ開始ス。

新驛開業 松麗線・麗水港・全南光州間ヲ買収シ國鐵トシテ一日ヨリ開業ス。

光麗線、麗水・全南光州間、順天・曲川間、龜巖橋・同福間、和順邑・和順間、寶城・水門浦間、寶城・全南長興間、益山・長平間及寶城・福内間ニ於テ自動車ニ依ル運輸營業ヲ開始ス。

第三章 貨 物

一般荷動概況 昭和六年以來金輸再禁止ニ伴フインフレ政策ノ出現ニヨリ、我國經濟界ハ爲替安、財政膨脹、低金利ノ三大事務ヲ基調トシ對外市場ヲ目指ス國內産業ノ勃興、國勢情勢ノ變化ニヨル重工業ノ發展、匡救土木事業ノ殷盛等ニヨリ急速ナル歩調ヲ以テ、景氣回復ノ一路ヲ邁進シタリ、時ニ或ハ突發セル天災、事變ニ禍サレ一時の停頓ヲ示シ又中間的反動ト見ラルベキ現象アリシガ、之モ前三大基調ノ下ニ上昇セントスル景氣ノ波動ニ過ギズ依然好調ヲ辿リタリ、爾テ我朝鮮經濟界ノ情勢ヲ見ルニ基調ニ於テ内地ト共ノ歩調ヲ一ニシ來レルハ勿論ナルガ、最近ニ於ケル鮮内産業ノ特殊事情著シク進展ヲ示シ、即チ滿洲事變ヲ契機トシテ日滿交通愈々緊密トナリ滿蒙ニ對スル經濟進出上、朝鮮ノ地理的優越性、或ハ各種工業資源ノ豊富、勞銀ノ低廉等好條件ノ認識ヲ深メ、所謂ブロッツク經濟ノ構成分子トシテ其ノ重要性高揚サレ、内地資本進出ノ急増ヲ促シ、之ガ爲既設工場ノ擴張ハ勿論、電力、セメント、肥料、紡織、製糸、製紙、マグネシウム、製鍊、石炭液化、車輛工作等ノ事業發展目暁シク諸々ニ大工場簇出シ、鮮内産業ハ今ヤ一大力ヲ以テ工業化サレントスルニ至リタル折柄未ダ産業ノ王座搖ガザル米、大豆、棉、其ノ他農産物ノ昂騰ト自力更生運動ノ効果ニヨル農山漁村ノ更新ト相俟テ財界ノ好轉ニ更ニ拍車ヲ加ヘタリ。

斯ル經濟事情ヲ背景トスル我朝鮮鐵道ノ貨物輸送成績ヲ見ルニ昭和五年ヲ最底トシテ次第ニ好轉シ躍進又躍進ヲ續ケ本年度ニ於ケル輸送數量ハ局線發送 7,836,875^B、連帶線ヨリ入込(通過ヲ

含ム) 1,622,144^B、合計 9,459,019^Bニシテ前年度ニ比シ局線發送 16% 増、連帶線ヨリ入込 2% 減、合計ニ於テ 12% ノ著増ヲ示シ更ニ前途ニ對シ多大ノ期待ヲカケラレツツ好調裡ニ推移シタリ、勿論此ノ大躍進ハ前記鮮内經濟事情ニ基因スルモノナルガ、又一面ニ於テハ朝鮮鐵道建設計畫ノ進歩ト共ニ惠山、白茂、滿浦、東海等各線ノ新線延長ニ伴ヒ次第ニ處女資源開發サレ、又運賃政策、輸送設備ノ改善等成績向上ノ一端トナリタルコトモ看過シ得ザル事實ナリ。

而シテ本年度ニ於ケル輸送狀態ノ推移ヲ見ルニ、稀有ノ好調ヲ示シタル前年度末輸送ノ後ヲ受ケ上半期輸送ハ其ノ後引續キ緊張ヲ續ケタリ、即チ前記特殊事情ニ反映ニテ肥料、セメント、鑛石等工鑛產品ノ輸送堅調ニシテ、六月ニ於ケル内地風水害ノ影響モ大ナラズ、例年ニ比シ著シク輸送増加シ殆ド夏枯ヲ見ザル好調ヲ示シ、九月中旬ヨリ平時ニ於ケル特種輸送トシテ未曾有ノ大規模ナル師團對抗演習ノ序幕ニ入り益々活況ヲ呈シタリ、進ンデ下半期ニ入ルヤ十月中旬迄繼續シタル演習輸送ノ爲、劈頭ヨリ輸送繁忙ノ極メ十一月ニハ冬眠期ヲ控ヘセメント、木材、石炭等ノ荷動旺盛トナリ加フルニ伊工紛争ノ擴大懸念ノ爲一般移入貨物ノ増加、新穀ノ出廻等ニテ最高調ニ達シ、更ニ年末輸送ノ波瀾ヲ思ハシメタルガ其ノ後米價維持ヲ目標トスル出貨統制策トシテ產地ニ於ケル米穀貯藏ノ獎勵ト旁内地不作ニ絡ミ先高見越賣惜ミノ爲米穀ノ出廻リ例年ニ比シ鈍狀ヲ呈シタルニヨリ十二月中ハ寧ロ幾分凋衰スルノ奇現象ヲ呈シタリ、越年後ハ新正、舊正相重ナリ一、二月中ノ輸送ハ期待薄ナリシガ年度末輸送緩和ヲ目的トスル送越輸送ヲ嚮憑ノ効果現ハレ鹽、肥料等大量貨物ノ輸送實施サレタル爲豫想以上ノ好調ヲ見タリ、然ルニ二・二六事件突發スルニ及ビ財界ノ大動搖ヲ來シ、其ノ影響免レズ種々ノ方面ニ於テ衝擊ヲ受ケ就中輸送最盛期中ノ疏安其ノ他肥料ニ於テ相場氣迷ヲ生ジ俄ニ鈍化シ一般貨物モ又次第ニ沈靜ヲ呈シタリ。

而シテ愈々年度末三月ヲ迎ヘタルガ依然肥料ノ出貨涉々シカラズ且稀有ノ酷寒ノ爲冬眠期ケ遅レ土木建築界沈靜シセメント、木材等ノ著シキ増送ナク、米穀ノ荷動又未ダ日和見ノ狀態ニテ例年ニ比シ輸送平靜ナリシガ、月末春暖ノ到來ト共ニ俄然高調ニ達シ最高記録ヲ見ル等、頗ル活況裡ニ新年度ヲ迎ヘタリ。

尙下半年ニ於テハ城津管内、元山管内、釜山管内等合計 150^Bノ新線延長アリ、又三月一日ヨリ南鐵線 160^Bノ買収行ハレタルガ、冬眠期中ニテ白茂線發木材ノ増加ヲ見タル以外輸送上持記スベキ事項ヲ見ズ、之ヲ要スルニ本年度ノ貨物輸送ハ前年度ニ比シ一大躍進ヲ示シタル外、其ノ出貨波動ニ於テ特異性ヲ現出シ夏季及一、二月ノ如キ閑散期中ノ輸送増加シ著シク繁忙期トノ差ヲ縮少スルヲ得タリ、其ノ原因トスルコロハ主トシテ經濟界ノ情勢、産業界ノ動向、氣候ノ變化等ニ因ルモノナリ。

主要貨物荷動概況

米 穀 前年度ノ新穀出廻期ニ於テハ内鮮ヲ通シ約 2,000^Bノ大減收豫想ニ因リ相場ノ昂騰ヲ來

シタル爲之=刺戟サレ生産地ヨリ海港地倉庫利用、移出待機ヲ目的トスル米穀ノ輸送旺盛ヲ極メ
 奥地品薄トナリタル=基因シ本年度上半期輸送ハ例年=比シ不振ヲ示シタルガ、下半期新穀期以
 降ハ内地=於テ二ヶ年續キノ不作=因ル先高人氣旺盛シ、加フル=十年度産米公定價格ハ前年ヨ
 リ高値ヲ發表サレタル等ノ爲、産地ノ賣腰強硬ナリシト政府ノ貯藏獎勵、穀強制検査ノ實施、共
 販制ノ普及等米穀統制政策ノ強化、地方金融機關ノ活動、産地=於ケル穀糧業ノ發達等相俟ツテ
 奥地=於ケル米穀貯藏ノ傾向ヲ強化シ、從ツテ相場高ク内地ト不引合=拘ラズ生産者=頑強=握
 ラレテ放タレズ爲荷動鈍狀トナリ、殊=穀ノ入手困難ノ結果海港地精米業者ハ調製難=陥ル奇現
 象ヲ呈シタリ。

從ツテ局線内發送=於テハ之等ノ事情反映シ米 639,192^噸 穀 254,080^噸 =シテ前年度=比シ米
 12%、穀 27%ノ激減ナリ、之ヲ要スル=本年度ノ米穀輸送ハ奥地經濟事情ノ變化、米穀統制政策ノ
 影響ヲ受ケ出廻リノ平均化ヲ示シタリ。

粟 年度初頭ハ例年粟ノ需要最盛期=シテ滿洲粟ノ入込旺盛ナルガ本年度ハ全滿ヲ通ジ九年度ノ作
 柄不良=シテ大減收ナリシ爲、相場高ク米穀トノ値稍僅少トナリ滿洲粟=對スル需要振ハズ低廉
 ナル天津粟及九州粟ノ需要ヲ喚起シタル=因リ海港地發ノ著増ヲ來シ局線發送ハ 66,403^噸 =達シ
 前年度ノ約二倍=及ブ好況ヲ示シタリ。

大豆 本年度上半期ノ輸送ハ九年度=於ケル鮮産大豆大減收ナリシ爲極度ノ不振ヲ示シタル
 =新大豆ノ出廻期タル十一月以降ハ作柄良好ナリシト米價高=伴ヒ相場好調ナリシ爲内地方面ノ
 需要=應ジ出廻リヨク、上半期ノ不振ヲ補ヒ局線内發送ハ合計 97,542^噸 =シテ前年度=比シ6%ノ
 減少=止マリタリ。

木材 滿洲事變以來引續キ對滿輸出ノ好況=加ヘ鮮内ノ需要増加ノ爲向上ノ一途ヲ辿リタル
 木材輸送ハ本年度モ依然好調裡=推移セリ、即チ鮮内一般界ノ好況=基キ工場ノ建設共ノ他土木
 建築工事活發=施行サルル=及ビ需要愈々増大セル折柄、白茂、惠山線ノ建設進捗ト共=沿線ノ
 處女林著々開拓サレ出廻リ本格化シ又鴨綠江材ノ資材難=ヨル南下減少=伴ヒ内地材ノ進出目醒
 シク局線發送ハ 499,987^噸 =達シ前年=比シ 34%ノ激増ヲ見タリ、尙本年度=於テ特記スベキ事
 項ハ滿洲=於ケル建設景氣ノ一段落=ヨリ對滿輸出ノ減少ヲ來シタルコト、一時殆ド完全=縮出
 サレタル内地材ガ鴨江材ノ南下減少=伴ヒ再ビ強力ナル地位ヲ鮮内市場=獲得セント進出センコ
 ト及ビ白茂、惠山沿線材ガ城津ヲ積出港トシテ内地方面=新市場ヲ開拓シタルコト等ナリ。

石炭 本年度ノ局線發送數量ハ朝鮮無煙炭 436,454^噸、朝鮮有煙炭 149,379^噸、滿洲炭 9,123^噸、
 共ノ他石炭 238,245^噸、煉炭 74,835^噸、骸炭 55,483^噸、合計 963,519^噸 =シテ前年度=比シ合計=於テ
 30%ノ飛躍的増加ヲ示シタリ。

朝鮮無煙炭ハ年度初頭來内地方面ノ需要好調ナル=加ヘ鎮南浦港埠頭操炭機ノ機能發輝ト共=
 平壤南部炭田ノ出炭中從來大同江ノ舟運=依リタルモノ鐵道=轉化スル等ノ好材料アリ、移出躍

進ヲ期待サレタルモ下半年ノ需要最盛期=於テ氣溫急降シ例年ヨリ早ク鎮南浦港凍結ノ爲貿易杜
 絶ノ狀態ヲ來シタルト北部炭田ノ凍結=ヨル出炭減等、豫想外ノ惡材料發生シ鎮南浦到著高ハ前
 年度=比シ 12,000^噸ノ増加=過ギズ、又鮮内=於テモ長津江水電ノ送電開始=伴ヒ船橋里西電會
 社ノ發電休止=ヨル需要激減等アリ結局無煙炭輸送ハ前年度=比シ9%ノ増加ヲ見タル=過ギザル
 モ多年ノ懸案タリシ無煙炭合同ノ成立ヲ見タル=依リ今後ハ更=無煙炭開發ノ統制強化、輸送増
 加ヲ期待サル、次=朝鮮有煙炭ハ鮮内ノ需要急増セル折柄永安石炭液化工業ノ生産進展ト共=原
 料用トシテ德津炭坑ノ開發行ハレ新=蘆洞ヨリ發送ヲ見タルト沙里院炭坑ノ鳳山炭坑買収ノ結果
 西鮮ノ褐炭ハ全部明治鑛業=統一サレタル爲、經營規模ノ擴大、地理的條件ノ優越性=ヨリ新鳳
 山ノ發送激増シ前年度=比シ 78%ノ著増ヲ示セリ、其ノ他九州炭=於テハ稀有ノ酷寒=ヨル需要
 ノ急増、竝=鮮内諸工業ノ急激ナル發展=ヨル需給關係ノ甚シキ不均衡=因リ鮮産炭ノ補充トシ
 テ大量ノ移入ヲ見タル爲前年度=比シ 46%ノ増加ヲ示シタリ。

滿洲炭ハ滿洲内ノ急激ナル需要増加=ヨリ朝鮮向出貨ヲ制限セラレ 14%ノ減少ナリ、尙該炭=
 於テ前年度=比シ 124%ノ激増ヲ見タルハ永安石炭液化工業ノ副製品タルコーライトヲ興南朝窒
 工場へ發送シタル=基因ス。

鑛石類 内地=於ケル重工業共ノ他一般諸産業ノ發展=伴ヒ利原鐵山發内地行鑛鑛石ノ輸送益
 好調ナルト金價値ノ昂騰=刺戟サレ全鮮的=産金熱旺盛ヲ極メ金鑛石ヲ初メ石灰石、マグネサイ
 ト等鑛物資源ノ開發促進サレ鑛石ノ局線内發送ハ 560,980^噸 =達シ前年度=比シ 38%ノ著増ヲ示
 シタリ。

黒鉛ハ滿浦線ノ建設進捗=ツレ院里ヨリ新規發送ヲ見タルモ内地方面ノ需要振ハズ局線發送ハ
 33,923^噸 =シテ前年度=比シ 11%ノ減少ナリ、尙本年度ノ輸送=於テ特記スベキ事項ハ興南=於
 テ輕金屬製造工場ノ創設ヲ見タル爲、白茂、惠山沿線ノマグネサイト鑛ノ開發著々促進サレ興南
 へ新規發送ヲ見タルコト及ビ殘餘ガ城津ヲ積出港トシテ内地方面=販路ヲ開拓シタルコトナリ。

セメント 年度初頭以來鮮内ノ鐵道建設、水電工事、架橋工事、各種工場建設等土木建築工事活
 潑=施行サレ需要著シク増加シタル外小野田セメントノ内地市場向ダンピング盛=行ハレ局線發
 送ハ 551,386^噸 =達シ前年度=比シ 60%ノ激増ヲ見タリ、セメント界ハ本年度=於テモ小野田對
 聯合會ノ協調成ラズ兩者ノ對立ハ益激化シ勝湖里及川内里ノ小野田工場ハ朝鮮小野田セメント會
 社トシテ獨立シ統制法ノ適用ヲ受ケズ生産、販賣上=自由ナル立場ヲ獲得シ鮮内市場ノ獨占化ヲ
 企圖スルー内地市場=對シダンピングヲ行ヒタリ、他方聯合會モ對鮮出荷ブルヲ組織シ鮮内
 市場=於テ小野田セメントト激甚ナル競争ヲ展開シタルモ局線發送ハ小野田ノ壓迫=ヨリ前年度
 =比シ幾分減少ヲ示シタリ、尙本年度ノセメント輸送=於テ特記スベキ事項ハ滿洲ノ建設景氣=
 ヨリ促進サレタル對滿輸出ガ滿洲内ノ大同セメント及小野田セメントノ發展=ヨリ激減シタルコ
 トナリ。

肥料 米穀ヲ初メ農産物ノ昂騰ニヨリ農村經濟ハ頗ル好況ニシテ需要最盛期タル年度初頭以來引續キ金肥ノ需要旺盛ナリシ爲局線發送ハ硫安 194,004⁸³、大豆粕 32,101⁸³、高級肥料 75,860⁸³、低級肥料 211,459⁸³、合計 513,424⁸³ニシテ前年度ニ比シ大豆粕ハ高値ノ爲朝農ノ配合肥料等ノ進出ニ壓迫サレ 32⁸³ノ減少ヲ見タルガ硫安ニ於テハ開港地發ノ減少ヲ見タルモ興南發朝室物激増シタル爲 15⁸³、高級肥料ニ於テハ興南發硫磷安ノ市場進出本格化シタルト移入肥料ノ増送ニヨリ 53⁸³、低級肥料ニ於テハ興南發過磷酸石灰及調合肥料、元山管内發飼料及北海地發朝鮮農會ノ配合肥料等ノ新規發送ヲ見タルニ因リ 58⁸³、孰レモ著増シ合計ニ於テ 29⁸³ノ増加ナリ、尙本年度ノ輸送ニ於テ特記スベキ事項ハ伊工戰爭ノ擴大懸念ニヨリ實需期ノ供給不安及議會解散ニヨリ肥料業統制法ノ延期等ヲ主因トシテ先高見越、品掠レ豫想ヲ生ジ早クヨリ入注殺到シタルト當局ノ送越輸送ノ實施ニヨリ硫安初メ諸肥料ノ出廻リ例年ヨリ早ク一月及二月ニ於テ大量ノ出荷ヲ見タルコト、二・二六事件ヲ契機トシテ硫安相場暴落シ取引界混亂ニ陥リタルト、餘寒嚴シク施肥期遅延シタル爲例年ノ輸送最盛期タル三月ノ發送著シク減少シタルコト等ナリ。

第三編 運 轉

第一章 列車運轉ニ關スル施設

本年度列車運轉ニ關スル施設ノ主ナルモノ下ノ如シ。

(1) 四月一日

(イ) 京義線方面

第 130 列車 平壤・沙里院間及黃海黃州・沙里院間ニ新設

第 135 列車 沙里院・黃海黃州間ニ新設

第 32 列車 黃海黃州・沙里院間ニ於テ時刻改正

(ロ) 京元、咸鏡線

第 512 列車 往十里・京城間ノ時刻ヲ改正ス

第 515 列車 漢江里・議政府間

第 516 列車 清涼里・往十里間

(2) 五月一日 馬場・旺場間ニ范浦簡易停車場ノ新設ニ伴ヒ一部列車運轉時刻ヲ改正ス。

(3) 五月一日 咸鏡線下記區間ニ於テ列車一部ノ時刻ヲ改正ス

第 503・546 列車 高原・新上間

第 531・532・545 列車 高原・旺場間

第 521 列車 永興・定平間

第 501・502 列車 高原・咸興間

第 524 列車 定平・馬場間

第 504 列車 咸興・永興間

第 507・508 列車 馬場・旺場間

(4) 五月一日 白茂線列車運轉時刻一部改正ス。

第 791—794 列車 旅客列車

第 795—800 列車 貨物列車

(5) 六月一日 佳水院・豆溪間ニ黑石里簡易停車場新設ニ伴ヒ湖南線列車運轉時刻中一部改正

(6) 六月一日 价川線列車運轉時刻一部改正ス。

(イ) 時刻改正列車及區間

第 845 列車 新安州・价川間

(ロ) 廢止列車及區間

第 1934・1935 列車 全區間

(ハ) 新設列車及區間

第 846・847 列車 新安州・价川間

(7) 七月三日 京城發、同日 釜山發、臨試第 1100・1101 列車ヲ京城・釜山間運轉ス

列車運轉速度及(現行八時間ヲ六時間ニ短縮)改造車輛竝ニ線路強度調査ノ目的ヲ以テ京城・釜山間試運轉ヲ施行シタル結果豫期以上ノ好成績ヲ收メ充分ノ確信ヲ線ルニ至レリ。

(8) 九月一日

(イ) 惠山線 白岩・鳳頭里間延長ニ伴フ新驛開業

(ロ) 白茂線 山羊臺・延岩間延長ニ伴フ新驛開業

ニ付吉州・鳳頭里間、白岩・延岩間ノ列車運轉ヲ改正ス。

(9) 十月一日

(イ) 滿浦本線 熙川・价古間延長ニ伴ヒ列車運轉時刻ヲ制定

(ロ) 趙村驛普通驛昇格ニ伴フ時刻改正

(10) 十一月一日 全鮮列車運轉時刻ノ一部改正ヲ行フ。

(イ) 新 設

(冬)貨第 45 列車 密陽・金泉間

旅客第 60・61・62・63・64・65 列車 京城・水原間 (動車ヲ蒸汽車ニ變更)

貨物第 138・139 列車 安州・安東間

貨物第 649・650 列車 平壤・勝湖里間

旅客第 613・614 列車 平壤・鎮南浦間 (動車ヲ蒸汽車ニ變更)

動車第 927・928・929・930 列車	裡 里・井 邑間
貨物第 565・566 列車	龍 山・福 溪間
貨物第 567・568・569・570 列車	元 山・咸 興間
旅客第 517・518 列車	城 津・清 津間

(ロ) 改正シタルモノ

中間貨物第 41 列車	釜 山・勿 禁間
中間貨物第 47 列車	大 田・烏 致院間
貨物第 31 列車	天 安・平 澤間
中間貨物第 49 列車	成 歡・烏 山間
貨物第 32 列車	龍 山・水 原間 平 澤・天 安間
中間貨物第 44 列車	龍 山・軍 浦 場間 平 澤・天 安間
貨物第 431 列車	龍 山・仁 川間
中間貨物第 121 列車	京 城・金 村間
中間貨物第 125 列車	平 壤・西平壤間
貨物第 645 列車	美 林・勝湖里間
中間貨物第 541 列車	京 城・議政府間
貨物第 555・557 列車	福 溪・元 山間
中間貨物第 545 列車	培 花・元 山間
中間貨物第 546 列車	元 山・高 山間
貨物第 559・561・562 列車	咸 興・興 南間
混合第 523 列車	咸 興・興 南間

(ハ) 廢止シタルモノ

動車第 913・914・915・916・917・918 列車	京 城・水 原間
臨時貨物第 141・142 列車	定 州・安 東間
動車第 1915・1916 列車	城 津・清 津間
動車第 955・956 列車	平 壤・鎮南浦間

- (11) 十一月一日 東海北部線高城・杆城間營業開始ニ伴ヒ列車運轉時刻制定
- (12) 十二月一日 成歡・天安間ニ稷山簡易停車場ノ新設ニ伴ヒ列車運轉時刻改正
- (13) 十二月十六日 東海南部線佐川・蔚山間延長ニ伴ヒ列車運轉時刻ヲ制定並改正ス。
- (14) 十二月十六日 天安及端川驛ニ給水設備完了ニ付京釜本線及咸鏡本線ノ列車運轉時刻ヲ下ノ如ク改正ス。

京 釜 本 線

特急第 1・2 列車	平 澤・小井里間
特急第 7・8 列車	平 澤・天 安間
旅客第 11・301 列車	成 歡・小井里間
各 列 車 (上記以外)	成 歡・天 安間

咸 鏡 本 線

急客第 507・508 列車	奇 巖・汝海津間
各 列 車 (上記以外)	龍 崗・端 川間

(15) 昭和十一年一月十六日 枝川驛ヲ普通驛ニ昇格シ京釜本線時刻中一部下記ノ如ク改ム。

旅客第 5・9 列車	大 邱・倭 館間
旅客第 6 列車	新 洞・顧 母間

(16) 三月一日 南朝鮮鐵道買収ニ伴ヒ列車運轉時刻ヲ制定ス。

第二章 機關車運轉成績

廣 軌 線

(1) 機關車 本年度中ノ機關車軒ハ 21,591,099、換算車輛軒ハ 176,776,903^軒ニシテ運轉用石炭消費量ハ 460,952^噸、同油ハ 358,626^噸ナリ。

之ヲ前年度ニ比較スレバ新線延長、私鐵買収並ニ客貨輸送量激増ニヨル列車増發等ニ伴ヒ、機關車軒 12% 換算車輛軒 13% ノ増加ヲ示シ、運轉用消耗品消費量ニ於テモ石炭 13% 油 18% ノ増加ヲ示セリ。而シテ本年度中ノ機關車一軒平均運轉用石炭消費量ハ 21.35^噸ニシテ、前年度ニ比較シ 0.07^噸ヲ、機關車百軒平均油消費量ハ 1.66^噸ニシテ 0.08^噸ヲ何レモ増加セリ。

(2) 汽動車 本年度中ノ動車軒ハ 37,799^軒、運轉用石炭消費量ハ 183^噸ニシテ、動車一軒平均石炭消費量ハ 4.84^噸ナリ、之ヲ前年度ニ比較スレバ動車軒ハ 42% 増、石炭總消費量ハ 17% 減少セリ。

(3) 輕油動車 本年度中ノ動車軒ハ 1,438,148^軒、揮發油消費量ハ 679,265^噸ニシテ、動車一軒平均揮發油消費量ハ 0.47^噸ナリ、之ヲ前年度ニ比較スレバ動車軒ハ略同率ナルモ、揮發油總量ハ 18% 増加シ、從ツテ動車一軒平均揮發油消費量ニ於テモ 0.04^噸ノ増加ヲ示セリ。

(4) 重油動車 本年度中ノ動車軒ハ 37,224^軒、重油消費量ハ 10,360^噸ニシテ、動車一軒平均重油消費量ハ 0.28^噸ニシテ、前年度ニ比較シ 0.02^噸ノ増加ヲ示セリ。

(5) 職用輕油動車 本動車ハ本年度九月三十日一輛竣工ノモノニシテ年度中ノ動車軒ハ 2,726^軒ナリ。

狹 軌 線

(1) 機關車 本年度中ノ機關車軒ハ 1,057,401^軒、換算車輛軒ハ 6,128,454^軒ニシテ、運轉用石炭消

費量ハ 8,728 ナリ。而シテ機關車一軒平均運轉用石炭消費量ハ 8.25 噸ナリ、之ヲ前年度ニ比較スレバ機關車軒ハ 34%、換算車輛軒ハ 28%ヲ増加シ、石炭消費量ニ於テ 40%ヲ、同機關車一軒平均ニ於テハ 0.37%ヲ何レモ増加セリ。

(2) 輕油動車 本年度中ノ動車軒ハ 350,428、揮發油總量ハ 99,539 立ニシテ動車一軒平均揮發油消費量ハ 0.28 立ナリ、之ヲ前年度ニ比較スレバ、動車軒ハ 21%、揮發油總量ハ 13%ヲ減少シタルモ、動車一軒平均揮發油消費量ニ於テハ 0.02%ヲ増加セリ。

以上ノ計數中ニハ建設工事並ニ安東及清津委託仕業ヲ含マズ。

尙上記ノ計數ト對前年度比較増減ヲ表示スレバ下ノ如シ。

機關車及動車運轉成績

種別	機關車軒	換算車輛軒	運轉用		運轉用石炭		機關車一軒平均運轉用油	
			石炭	油	機關車一軒當	換算車輛百軒當		
廣 關	京釜線	6,094,260.7	50,655,378.0	112,875,933	100,361.75	18.52	222.83	1.65
	京義線	5,521,503.6	57,334,108.2	120,700,994	97,937.70	21.86	210.52	1.77
	湖南線	1,415,872.4	9,589,923.2	22,840,699	20,676.03	16.13	238.17	1.46
	京元線	2,081,096.6	17,353,245.4	52,797,331	36,468.22	25.37	304.25	1.75
	成鏡線	3,595,857.0	29,817,439.2	95,929,953	54,436.91	26.68	321.72	1.51
	慶全線	1,120,104.1	3,423,266.0	16,258,541	16,455.22	14.52	474.94	1.47
	松麗線	66,953.4	200,109.3	1,014,853	1,137.57	15.16	507.15	1.70
	東海線	605,230.3	2,115,347.3	11,520,710	9,026.47	19.04	544.62	1.49
	平元線	358,251.1	2,364,551.6	8,113,687	6,771.70	22.65	343.14	1.89
	滿浦線	445,178.8	2,503,577.7	8,773,878	8,257.35	19.71	350.45	1.85
	蕙山線	286,791.1	1,419,957.2	10,125,641	7,096.81	35.31	713.09	2.47
	本年度	21,591,099.1	176,776,903.1	460,952,220	358,625.73	21.35	260.75	1.66
	前年度比較	2,397,320.3	20,625,361.0	52,490,320	54,869.96	0.7	.83	.08
汽 動 車	本年度	37,798.6	—	182,865	1,047.15	4.84	—	2.77
	前年度比較	△ 26,859.6	—	△ 37,005	227.15	1.44	—	1.50
輕 油 動 車	本年度	1,438,148.3	—	679,265.00	37,253.35	燃料油立 .47	—	2.59
	前年度比較	△ 1,548.4	—	57,970.00	5,556.35	.04	—	.39
重 油 動 車	本年度	37,223.7	—	10,360.00	540.00	燃料油立 .28	—	1.45
	前年度比較	6,150.1	—	2,139.00	108.90	.02	—	.06

職油用動輕車	本年度	2,726.0	—	燃料油立 1,309.00	58.00	燃料油立 .48	—	2.13
	前年度比較	2,726.0	—	1,309.00	58.00	.48	—	2.13
安東委託仕業	機關車	44,584.8	9,572.4	1,100,783	691.61	24.69	—	1.55
	前年度比較	△ 948.4	662.7	55,284	△ 41.02	1.73	—	△ .06
汽 動 車	本年度	13,759.2	—	370,266	570.57	26.91	—	4.15
	前年度比較	△ 66.8	—	△ 17,804	20.87	△ 1.16	—	.17
清津委託仕業	機關車	35,602.8	118,707.6	558,250	771.80	15.68	470.27	2.17
	前年度比較	2,867.8	△ 10,659.4	△ 31,270	244.60	△ 2.33	14.57	.56
建設工事	本年度	84,016.7	170,551.9	2,083,078	2,694.96	24.79	1,221.37	3.21
	前年度比較	32,147.4	73,174.8	733,977	750.78	△ 1.22	△ 164.07	△ .54
狹 軌 車	東海中部線	725,522.5	4,496,301.3	4,592,512	6,411.20	6.33	101.08	.88
	价川線	137,634.0	569,984.6	844,370	1,105.63	6.13	148.14	.80
輕 油 動 車	白茂線	194,244.9	1,062,168.4	3,290,663	8,174.53	16.94	309.81	4.21
	本年度	1,057,401.4	6,128,454.3	8,727,545	15,691.36	8.25	142.41	1.48
前年度比較	267,485.6	1,352,918.4	2,505,096	6,346.31	.37	12.11	.30	
線	本年度	350,427.5	—	燃料油立 99,539.00	3,342.70	燃料油立 .28	—	.95
	前年度比較	△ 91,270.5	—	△ 14,619.00	△ 1,689.87	.02	—	△ .19
建設工事	本年度	9,196.6	28,594.9	141,848	536.00	15.42	496.06	5.83
	前年度比較	1,273.0	10,622.7	△ 243,986	76.20	△ 33.27	△ 1,650.78	.03

廣 軌 線

列車別機關車運轉成績

列車別	機關車軒	換算車輛軒	機關車一軒換算平均數	運轉用石炭		機關車百軒平均	
				機關車一軒當	換算車輛百軒當	シリンダー油	機械油
急行旅客	2,023,410.3	16,759,459.1	8.3	17.35	209.50	.78	1.09
前年度比較	314,129.2	2,997,780.0	.2	.63	1.79	.10	.13

列車別	機関車料	換算車輛料	機関車一輛換算平均	運轉用石炭		機関車百輛平均	
				機関車一輛當	換算車輛當	シリンドー油	機械油
普通旅客	6,574,101.7	43,282,442.2	6.6	17.13	260.23	.64	.95
前年度比較	1,194,447.5	8,348,017.8	.1	.53	3.66	.13	.05
混 合	2,400,400.5	14,087,253.2	5.9	20.12	342.90	.60	.90
前年度比較	648,782.9	2,083,972.1	1.0	.64	58.59	.02	.02
貨 物	8,362,994.0	99,324,216.8	11.9	27.13	228.45	.68	1.04
前年度比較	16,291.2	7,042,339.3	.9	.62	12.25	.03	.05
軍 用	41,503.9	491,240.5	11.8	20.67	174.67	.97	1.41
前年度比較	18,333.5	380,426.2	2.8	5.19	2.86	.09	.02

廣 軌 線 機關區別機関車運轉成績 (乗継ヲ加除セザル分)

事務所	機關區別	機関車料	運 轉 用			運 轉 用 石 炭	
			石 炭	シリンドー油	機 械 油	機 關 車 一 輛 當	前年度比較
釜 山	草 梁	1,957,217.5	33,223,780	13,701.60	20,585.67	18.51	1.70
	大 邱	730,506.5	15,400,050	3,824.60	7,166.70	21.08	1.50
	馬 山	683,746.0	9,998,280	4,011.16	5,430.54	14.62	.02
	計	3,371,470.0	61,622,110	21,537.36	33,212.91	18.28	.68
山	前年度比較	304,291.1	7,625,796	2,302.10	3,271.93	.68	—
大 田	大 田	1,597,343.9	28,000,004	10,856.30	14,098.15	17.53	1.00
	裡 里	619,305.4	8,776,920	3,629.30	5,911.80	14.17	1.08
	木 浦	862,933.9	14,186,820	4,583.15	7,893.72	16.44	.89
	寶 城	68,150.9	1,007,420	424.60	637.15	14.78	14.78
田	計	3,147,734.1	51,971,164	19,493.35	28,540.82	16.51	1.06
田	前年度比較	117,095.1	5,405,332	301.49	2.55	1.06	—
京 新	龍 山	4,931,055.1	97,928,355	36,049.46	49,233.73	19.86	1.42
	仁 川	551,816.9	7,012,213	3,213.20	5,151.45	12.71	.91
	新 幕	881,079.6	23,133,256	5,500.50	8,902.76	28.53	.66

城	計	6,293,951.6	128,076,824	44,763.16	63,287.94	20.35	1.16
	前年度比較	972,844.0	13,640,044	9,486.31	13,013.79	1.16	—
平 壤	平 壤	2,335,771.9	51,663,494	16,397.55	26,042.90	22.12	.53
	定 州	851,493.3	21,648,375	6,234.90	9,057.40	25.42	.97
壤	計	3,187,265.2	73,311,869	22,632.45	35,100.30	23.00	.14
	前年度比較	115,484.7	3,090,459	1,176.48	3,550.55	.14	—
元 山	福 溪	514,021.3	15,196,445	3,569.10	6,674.30	29.56	2.24
	元 山	2,265,552.7	47,149,822	13,131.45	20,418.82	20.81	.13
	成 興	937,567.4	24,127,050	5,475.00	6,726.55	25.73	1.77
	計	3,717,141.4	86,473,317	22,175.55	33,819.67	23.26	.17
山	前年度比較	743,281.6	17,793,021	5,181.35	6,851.92	.17	—
城 津	城 津	1,873,326.4	59,488,686	13,195.20	20,850.42	31.76	2.50
	白 岩	210.4	8,250	6.50	10.10	39.21	39.21
津	計	1,873,536.8	59,496,936	13,201.70	20,860.52	31.76	2.50
	前年度比較	378,514.0	15,746,332	3,802.00	5,934.59	2.50	—
合 計	本 年 度	21,591,099.1	460,952,220	143,803.57	214,822.16	21.35	.07
	前年度比較	2,397,320.3	52,490,320	22,249.73	32,620.23	.07	—

狭 軌 線 機關區別機関車運轉成績

事務所	機關區別	機関車料	運 轉 用			運 轉 用 石 炭	
			石 炭	シリンドー油	機 械 油	機 關 車 一 輛 當	前年度比較
釜 山	大 邱	47,460.5	272,670	189.60	447.20	5.75	1.13
	慶 州	678,062.0	4,319,842	2,523.30	3,251.10	6.37	.57
	計	725,522.5	4,592,512	2,712.90	3,698.30	6.33	.61
山	前年度比較	87,407.3	165,862	341.90	386.10	.61	—
平 壤	定 州	137,634.0	844,370	442.20	663.43	6.13	1.13
	前年度比較	32,341.8	79,620	100.00	149.18	1.13	—

事務所	機關區別	機料車料	運 轉 用			運 轉 用 石 炭	
			石 炭	シ リ ン 油	機 械 油	機 關 車 料	前年度比較
城 津	城 津	50,673.4	940,773	983.80	1,388.50	18.57	△ 3.60
	白 岩	143,571.5	2,349,890	2,138.30	3,663.93	16.37	16.37
	計	194,244.9	3,290,663	3,122.10	5,052.43	16.94	△ 5.23
津	前年度比較	147,736.5	2,259,614	1,941.50	3,427.63	△ 5.23	—
合 本 年 度		1,057,401.4	8,727,545	6,277.20	9,414.16	8.25	.37
計 前年度比較		267,485.6	2,505,096	2,383.40	3,962.91	.37	—

第三章 運 轉 事 故

一般概況 本年度運轉事故總件數ハ、3,741^件ニシテ、前年度ニ比シ總件數10^件ノ増加ヲ示シ死傷人員ニ於テ119^人、減少ヲ見タルガ昨年度以來財界ノ景氣好調ニ乗ジ客貨ノ動キ旺盛トナリ、臨時列車ノ増發ニ加フルニ新線開通、或ハ私鐵買收ノ爲線路延長ニ伴ヒ列車走行杆ハ約210^萬、約1^割ノ増加ナルヲ以テ單位列車走行杆ニ對スル事故件數ハ前年度ニ比シ約1.1^割ノ減少ナリ。而シテ責任運轉事故ハ前年度204^件ニ對シ169^件ナルヲ以テ35^割ノ減少ニシテ、前記列車走行杆ノ増加ニ加ヘ列車輸送單位ノ増大、竝ニ近年稀有ノ極寒ナリシニモ不拘斯ク著シキ減少ヲ觀タリ。

主 ナ ル 事 故

- 四月九日 第721號機關車ニテ龍山工場内5番線ヨリ貨車13輛ヲ牽引發車、約50^分進行シタル際最後部「ワサ」1356第1位「トラツク」ガ第554轉轍器ヨリ5番線ト6番線トノ互リ線ニ進入セシタメ顛覆大破シ、其ノ前位「ワサ」1059一部破損ス。原因ハ本列車組成ノ際該轉轍器割出シ居ルニ氣付カズ發車シタルニ因ル。
- 四月十一日 第6列車客車12輛牽引、平澤入驛ノ際行違列車進入シツ、アリシタメ一旦構外ニ停車、入驛セシメントスルニ際シ、場内信號機降下不能ナリシタメ第2號轉轍器出向ノ驛手ハ獨斷手信號ニテ入驛セシメタルトコロ、第8號轉轍器「ラツチ」外レ前部ヨリ9輛目「ロシ」43、該器ニ割込ミ、後續「ロネ」22、異線ニ進入脱線ス。原因ハ第8號轉轍器「ラツチ」無挿入且ツ缺損甚ダシク磨耗シ居リタルニ因ル。
- 六月二日 第41列車密陽驛定時到着シ、同驛發大邱著貨車1輛ヲ連結スル準備行動ノ目的ニテ車掌ニ於テ牽機ノ連結器ヲ切り退去合圖ヲナシ、機關士ニ於テハ車輛接觸限界ヲ侵シ進出セシタメ、偶々入驛中ノ第4列車牽機ト接觸兩牽機大破シ「ロハ」191、「ハ」604號脱線大破ス牽機ハ第41列車614號、第4列車ハ917號ナリ。原因ハ關係者ノ打合ヲ缺キ進入列車ヲ支障ス

ル入換ヲ敢行シタルモノナリ。

- 六月二十四日 第305列車牽機716號ニテ客車4、貨車6、計10輛編成ニテ豆溪・連山間大起38—400^{K M}運轉中牽機ハ左側ニ脱線顛覆シ、後續貨車4輛脱線何レモ一部破損シ、尙線路ハ50^分間大破ス。原因ハ鮮童(8歳)ニ於テ曲線外側軌條ニ拳大ノ石三個ヲ竝置妨害セルニ因ル。
- 九月二十日 第131列車石下・新義州間京起490—750^{K M}運轉中牽機先輪1軸脱線ス。原因ハ鮮童ニ於テ該曲線部ニ小石ヲ軌條上ニ乗セ妨害シタルニ因ル。
- 十月七日 第811列車自作・球場間順起61—180^{K M}附近運轉中岩石ニ乗上ゲ牽機709號次位「ワサ」1579全軸脱線ス。原因ハ該箇所地質弛ミ岩石自然崩壞セルモノナリ。
- 十月二十六日 第7列車大邱・枝川間釜起126—930^{K M}運轉中牽機973號先輪1軸脱線ス。原因ハ鮮幼兒ニ於テ多數ノ小石ヲ竝ベ惡戯セルニ因ル。
- 二月十六日 第290列車毛火驛進入ノ際、第2號轉轍器不密着ノタメ割込ミ牽機28號及ビ次位「ナワニ」521號全輪脱線ス。原因ハ「キーボルト」ノミ使用シ鎖錠ヲ缺キ居タルタメ自然弛緩シタルニ因ル。
- 二月十九日 第508列車客車7輛、換算6輛9分ニテ本務機757號最後部補機1510號ニテ劍拂浪4分早發シ劍拂浪・福溪間龍起134—800^{K M}附近ニテ前部ヨリ6輛目「ハク」704號車1位「トラツク」及7輛目「ハク」713號及補機1510號何レモ全軸脱線ス。原因ハ線路手長ニ於テ線路整正ノタメ犬釘ヲ抜キ取り軌條ト枕木トノ間ノ締付ヲ缺キ居タルニ因ル。
- 二月十六日 第508列車康徳・羅南間元起520—798^{K M}附近客車6輛編成ニテ運轉中牽機炭水車第2軸以下全輪脱線ス、原因ハ材質不良(燐ノ含有量過大)ニ因ル軌條折損セシモノナリ。
- 二月二十一日 第504列車牽機761號ニテ客車9輛、換算8輛9分索引劍拂浪・福溪龍起138—500^{K M}ニテ最後部連結ノ補機1801號、曲線部外側軌條ヲ押擴ゲ全軸脱線ス。
- 三月四日 第1920列車「ケハ」61號故障ノタメ自働不能ニ陥リタルヲ以テ、該動車ヲ客車代用トシ機關車ニテ牽引寶城・得根間麗起90—00^{K M}附近運轉中連結器分離シ激突爲メニ動車ノ一部破損スルト共ニ乗客4名負傷ス、原因ハ該連結器ヲ針金ニテ緊縛ヲ缺キタルニ因ル。
- 三月十二日 第1916列車動車ニテ運轉スベキ處、都合上蒸汽列車ニ變更シ麗水・萬聖間麗起2—980^{K M}附近ニテ岩石崩落シ居ルヲ機關士發見急停セルモ及バズ、之ニ乗上ゲ牽機4軸脱線ス原因ハ地質自然弛緩シタルニ因ル。

水 害

京 釜 線

八月二十三日 全東・全義間釜起332—696^{K M}「サンドル」約60^分沈下シ、午後4^時ヨリ不通トナリ、同5.35^分開通ス。

京 義 線

七月十四日 颯峴・鷄井間京起 94—000 附近浸水ノタメ第 9 列車 3、第 2 列車 12 停車ノ上徐行通過ス。

七月二十一日 一山・金村間京起 31—400 線路浸水ノタメ第 9 列車現場一旦停車ノ上徐行通過ノトコロ翌二十二日午前 0.20 不通トナリ、同午前 11 開通ス。

七月二十三日 金村・汶山間京起 39—752 築堤崩壊ノタメ第 4531 列車現場 22 停止ノ上徐行通過ス。

七月二十三日 一山・金村間京起 31—700 浸水ノタメ第 3 列車現場一旦停車ノ上徐行通過ノトコロ増水甚ダシク不通トナリ、同午後 10.20 第 5 列車ヨリ開通ス。

七月三十日 石下・新義州間京起 493—500 約 1 亘リ線路浸水、且ツ一部築堤流失ノタメ午後 5 ヨリ不通トナリ八月三日午前 1 漸ク開通ス。

八月二十日 路下・宣川間京起 409—820、409—800 間浸水ノタメ午前 11.52 ヨリ不通トナリ同午後 4.45 開通ス

湖 南 線

七月二十二日 豆溪・連山間大起 36—900 線路浸水ノタメ第 324 列車現場一旦停車ノ上徐行通過ス。

京 元 線

七月二十三日 倉洞・議政府間龍起 23—200 線路浸水ノタメ第 513 列車最徐行通過センモ共ノ直後増水ノタメ不通トナリ各列車運休又ハ折返シ運轉シ第 508 列車ヨリ直通運轉ス。

滿 浦 線

七月二十八日 泉洞・价川間順起 37—900 線路浸水ノタメ午前 4.30 ヨリ 6.50 マデ各列車徐行運轉ス。

七月三十日 自作・球場間順起 61—400 切取約 30 崩壊午前 7.20 ヨリ午後 0.10 迄不通トナル。

球場・新興洞間順起 71—300、土砂 300 崩壊ノタメ午前 8.30 ヨリ同 12.30 迄不通トナル。

新興洞・北薪峴間順起 76—200、77—578 間五箇所 土砂崩壊 午前 8 ヨリ午後 1.50 迄不通トナル。

北薪峴・妙香山間順起 86—200 土砂崩壊 約 150 午前 8.30 ヨリ午後 1.42 迄不通トナル。

妙香山・富成間順起 93—600 橋臺裏 40 流失ノタメ午前 11.10 ヨリ午後 0.40 迄不通トナル。

七月三十一日 北薪峴・妙香山間、順起 87 山崩約 900 ノタメ午前 10.50 ヨリ翌午後 3.10 迄不通トナル。

妙香山・富成間順起 93—720 橋臺裏流失シ午前 11 ヨリ翌午前 2 迄不通トナル。

同上、順起 97 橋臺裏流失午後 2 時ヨリ不通トナリ翌午前 2 時開通ス。

龍 登 線

七月三十日 球場・棘龍窟間球起 0—970、1—820 間築堤流失午前 6.5 ヨリ不通トナリ同線各列車運休中ノトコロ翌三十一日午後 6.30 復舊ス。

价 川 線

七月二十八日 安州、北松里間新安州起 7—600 線路浸水ノタメ午前 6 ヨリ同 10 迄不通トナル。

七月三十日 价川線一般増水ノタメ午後 2.10 不通トナリ、同線各列車運休翌三十一日午後 1.25 開通ノトコロ再び浸水不通トナリ、八月一日午前 8.15 平常通り開通ス。

第四編 車 輛

第一章 機 關 車

本年度増備シタルモノハプレーリー型タンク機關車、サンタフエ型タンク機關車、ミカド型テンダー附機關車、狹軌線用ミカド型タンク機關車等ニシテプレーリー型タンク機關車ハ京城工場ノ製作ニ係リ、サンタフエ型タンク機關車ハ日本車輛製造株式会社ヨリ、ミカド型テンダー附機關車ハ日立製作所及汽車製造株式会社ヨリ、又狹軌線用ミカド型タンク機關車ハ日立製作所ヨリ購入シ、何レモ京城工場ニ於テ組立テタルモノナリ。

尙南朝鮮鐵道株式會社所屬線全南光州・麗水間ノ鐵道買収ニ伴ヒ同線所屬プレーリー型機關車ノ引繼ヲ受ケタリ。

改造ノ主ナルモノハ既定計畫トシテ毎年繼續施行中ノテンホキール型テンダー附機關車ノ火室及炭水車ヲ改造シ過熱裝置ヲ取付テ京城工場ニ於テ施行セリ。

年度末現在ニ於ケル使用機關車ノ種類ハタンク機關車六種、テンダー附機關車五種ニシテ外ニ事故復舊用トシテ レツキングクレーン アリ、又狹軌線用トシテハタンク機關車五種ヲ使用ス。

第二章 動 車

本年度増備シタルモノハ職用輕油動車ニシテ本車輛ハ當局ニ於テ始メテ増備シタルモノニシテ、京城工場ノ製作ニ係リ車體骨組臺車等ノ一般構造ハ輕油動車ト大同小異ナルモ、臺枠及連結器ハ充分強ク設計シ列車ニ連結スルモ支障ナク、車體ハ中央部ノ洗面所及便所ニ依リテ二分サレ一端ハ中央ニ桌子及椅子ヲ置キテ展望ノ用ニ供シ、又速度計戸棚等ヲ設備ス。他端ハ普通座席十二人分ヲ設ケ其ノ一部ハ必要ニ應ジ寢臺二箇ヲ造リ得。運轉室ハ車體ノ兩端ニ設ケ何レヨリモ操作シ得ルコト輕油動車ト同様ナリ。

尙南朝鮮鐵道株式會社所屬線全南光州・麗水間ノ鐵道買收ニ伴ヒ同線所屬輕油動車ノ引繼ヲ受ケ、又破損ノ爲休車中ナリシ狹軌三等輕油動車ヲ廢車處分セリ。

年度末現在ニ於ケル動車ノ種類ハ汽動車、輕油動車、重油動車ノ三種ニシテ狹軌線用トテシハ輕油動車一種ノミナリ。

第三章 客 車

本年度増備シタルモノハ二等寢臺二等車、食堂車、三等食堂車、三等寢台車、輕三等車、手荷物車、輕三等手荷物車、輕二三等手荷物郵便車等ナリ。

從來使用シ居ル二等寢臺二等車及三等食堂車ハ十數年前ノ製作ニ係リ稍舊式ニ屬シ車内設備ニ於テモ幾分不十分ノ點アリシガ本年度製作シタルモノハ車體ノ構造車内ノ諸設備ニ特別ノ考慮ヲ拂ヒタル點勘カラズ、即チ前者ノ車體構造ハ最近製作サルル一般客車ト同様鐵骨鐵板製ニシテ内部ハ木製トシ臺車ハチムケン型コロ軸受使用ノC四輪ボギー車ナリ。寢臺ハ普通ノブルマン式セミコムバートメント型ナルモ仕切壁ハ通路寄り僅カノ部分ノ外固定サレ、固定サレザル部分ノ仕切板ハ仕切板ノ中ニ納マル様ナリ居レリ、而シテ電燈ハ床面ヲ照明スルモノヲ特ニ設備シタルニ依リ就眠中天井燈全部消燈スルモ歩行ニ困難ヲ感ゼズ、又腰掛ハ通路側窓側共ニ肘掛ヲ取付ケ在來ノ座席ニ比シ遙ニ安樂トセリ、普通客室ハ寢室同様ノ座席ヲ有シ窓上ニハ荷物棚ヲ設備ス、其ノ他喫煙室ノ新設ヲ始メ、ファンデリヤノ採用、通風器ノ取付方等從來ノ二等寢臺車ニ比シ夫々相當ノ新味ヲ加ヘタリ。又後者ハ内部構造及設備等從前ト大同小異ナルモ特ニ改良シタル點ハ食堂ト客室トノ中間ニ喫煙室ヲ設ケテ客ノ待合休憩ノ用ニ供シ又必要ニ應ジ從事員ノ寢臺ニ使用シ得ル様設計セリ。食堂内部ハ鹽地ノベニヤ板ヲ使用シ塗色ハオリーブニ黒味ヲ加味シタルモノヲ採ビタルニ依リ天井ノ白色ト配合シテ落著キタル感ジヲ與ヘ又食卓ハチーク製ノモノニ乳白色ノ三層安全硝子ヲ嵌込タルモノトシ、クロスヲ使用セザルコトトセリ、椅子ハ最新ノ食堂車ト同様革張りノモノヲ採用ス、而シテ天井ノ中央ニハ擴散板付電氣扇ヲ設備シ夫ヲ挾ミテ前後ニ通風器付天井燈ヲ取付ケ更ニ壁ニハ各食卓ノ照明用トシテ二燈ブラケットヲ設備ス。厨房内部ハ最近ノ食堂車ト略同様ナリ。

尙南朝鮮線全南光州・麗水間ノ鐵道買收ニ伴ヒ同線所屬ノ二三等車、三等車、三等手荷物車、及手荷物郵便車ノ引繼ヲ受ケタリ。

次ニ本年度中改造ノ主ナルモノハ油燈車ヲ電燈車子車ニ、子車ヲ電燈母車ニ、手荷物車ノ擔ハネ及釣合ハネ取替、食堂車ニ冷房裝置設備、三等車ニ車掌室及洗面所設備等ヲ施行セリ。

年度末現在使用セル客車ハ一部六輪ボギー車ノ外總テ四輪ボギー車ニシテ、狹軌線用ニ極少數ノ四輪車アリ、尙廣軌線用客車ハ總テ空氣制動機ヲ設備シ其ノ多數ハ蒸氣煖房及電燈設備ヲ有ス。

第四章 貨 車

本年度増備シタルモノハカシ型車掌車、ワシブ型有蓋車、ウシブ型家畜車、ラツセル式雪櫃車、

トナフ型無蓋車、タシブ型石炭車、チサブ型無側車、チコブ無側車、ナチシブ型狹軌無側車、ナチコブ型狹軌無側車等ナリ。

今回増備シタルカシ型車掌車ハ旅客列車ニモ連結使用シ得ル様諸般ノ改良ヲ加ヘテ新規製作シタルモノニシテ臺車ハ客車ト同様ノモノヲ使用シ高速度運轉ニ對スル安全ヲ確保シ且動搖ヲ防止シテ乗務員ノ執務ニ便ナラシメ又煖房及電燈裝置ヲ設備ス。尙車掌室屋根上ニハ監視臺ヲ設ケ必要ニ應ジ車掌室ヨリ之ニ昇リ得ル構造トセリ、又ウシブ型家畜車ハ家畜ハ勿論普通貨物ヲ積載スル外果物及野菜ノ輸送ニモ使用シ得ル様天井ニ客車ト同様ノ通風器四個ヲ備ヘ兩側ト兩端ニハ鐵窓ヲ設備シ其ノ内面ニハ更ニ降シ戸ヲ有シ冬期又ハ雨期等ニハ必要ニ應ジ室ヲ密閉シ得ル構造ナリ。

次ニナチコブ型狹軌無側車及ナチシブ型狹軌無側車ハ白茂線ニ使用ノ目的ヲ以テ初メテ増備シタル新型ニシテ長尺木材輸送用トシテ特ニ設計セラレ、車體ノ中央部ノ側梁ヲ省略シ工型ニ作ラレ兩側ニハ各四本宛ノ鋼製側柱ヲ備ヘタリ本車輛ノ新製ニ依リ從來二車積セルモノヲ簡單ニ單車ニテ輸送シ得ルコトトナレリ。

尙南朝鮮線鐵道買收ニ伴ヒ同線所屬ノ有蓋車、無蓋車、小形無蓋車及石炭車ノ引繼ヲ受ケ又損傷甚ダシキ小形無蓋車輛ヲ廢車處分セリ。

本年度改造ノ主ナルモノハ無蓋車(二枚側)ヲ(四枚側)ニ、無蓋車、(四枚側)ヲ石炭車(タシブ)ニ、石炭車(タニ)ヲ(タシブ)ニ改造等ヲ施行セリ。

年度末現在ニ於ケル使用貨車ハ廣軌線用ニアリテハ¹⁴積水槽車、及工事列車専用ノ¹⁰積小形無蓋車ノ四輪車、並ニ⁵⁰積無側車ノ六輪ボギー車ノ外、總テ四輪ボギー車ニシテ、其ノ大部部分ハ³⁰積車ナリ、又狹軌線用ハ白茂線ニ使用ノモノハ大部分¹⁵積車ニシテ、東海中部線及价川線ニ使用ノモノハ殆ンド⁵積四輪車ナリ。特種貨車トシテハ魚菜類ノ長距離運搬用ノ冷藏車、水、燒酎、糖蜜等輸送用ノ水槽車、荷卸ニ特種裝置ヲ施セル鑛石車、家畜輸送用ノ家畜車、積雪排除用ノ雪櫃車、事故復舊用ノ非常車等アリ。

第五編 建設

第一章 建設一般

工務員詰所設置其ノ他

本年度中ニ於ケル工務員詰所ノ新設改廢及其ノ受持區域下ノ如シ。

(1) 工事區新設

- | | | | | |
|--------|---|-------|--------|----------|
| 9. 3、龍 | 林 | 慶全線北部 | 鴨綠・龍林間 | 建設開始ノ爲設置 |
| 6. 3、槐 | 木 | 〃 | 龍林・上洞間 | 〃 |

11.5、公	峴	津	東海線北部	杆城・文岩津間	建設開始ノ爲設置
11.5、天	津	〃	〃	文岩津・東草間	〃
6.3、前	川	滿浦線	雲松・仲岩間	〃	〃
6.10、双	芳	〃	前川・双芳間	〃	〃
8.1、別	河	〃	双芳・別河間	〃	〃
8.25、梧	毛	老	別河・梧毛老間	〃	〃
8.1、高	蓋	〃	乾下・高蓋間	〃	〃
9.1、直	洞	平元線東部	直洞・館坪間	〃	〃
8.1、大	五	是	惠山線	大下・劍山間	〃
7.15、惠	山	〃	劍山・惠山間	〃	〃

(2) 工事區廢止

9.11、狗	峴	嶺	第一	滿浦線	自順起至〃	142.3 143.4	間	工事竣功ノ爲廢止
12.11、狗	峴	嶺	第二	〃	自順起至〃	143.4 151.66	間	〃
11.30、狗	峴	嶺	第三	〃	自順起至〃	151.66 155.4	間	〃
11.5、津	坪	〃	〃	狗峴・西江間	〃	〃	〃	〃
9.12、古	仁	〃	〃	西江・古仁間	〃	〃	〃	〃
11.5、梨	滿	〃	〃	古仁・梨滿間	〃	〃	〃	〃
8.11、仁	興	平元線東部	〃	柵田・城内間	〃	〃	〃	〃
12.15、龍	川	惠山線	〃	鳳頭里・甫安所間	〃	〃	〃	〃

(3) 建設課派出所廢止

8.10、价	古	建設事務所新設ノ爲廢止
8.10、白	岩	〃

第二章 建設工事概要

平元線 本線ハ西浦、高原間延長約 213.7^{暫分}ノ線路ニシテ西部ニ屬スル西浦・長林間 96.5^{暫分}ハ昭和六年度迄ニ營業ヲ開始シ長林・化倉間 14.4^{暫分}ハ昭和九年度迄ニ路盤工事竣功シ化倉・新邑間(九年十一月着手、十一年五月竣功豫定) 13.3^{暫分}ハ路盤工事施行中ナリ。

東部ハ高原・柵田間 20.8^{暫分}ヲ三工區ニ別テ昭和八年度迄ニ、柵田・城内間 9.3^{暫分}ハ八年十月着手、十年六月何レモ路盤工事竣功シ、直洞・館坪間土嶺墜道前後 6.2^{暫分}(十年九月着手、十三年五月竣功豫定)ハ路盤工事施行中ナリ。

圖們線 本線ハ雄基、灌關間延長 162.7^{暫分}ノ線路ニシテ八年度全通セリ。

惠山線 本線ハ吉州ヲ起點トシ惠山鎮ニ至ル延長約 141.7^{暫分}ノ線路ニシテ吉州・白岩間 70.0^{暫分}ハ

九年度迄ニ營業ヲ開始シ白岩・鳳頭里間 29.7^{暫分}ハ十月一日營業ヲ開始セリ。

鳳頭里・大下間 21.6^{暫分}ハ鳳頭里・甫安所間(九年八月着手、十年十一月竣功)甫安所・日建間(九年八月着手、十年十月竣功)日建・大下間(九年七月着手、十一年三月竣功)ノ三工區ニ別テ路盤工事竣功セリ。

殘區間、大下・惠山鎮間 20.4^{暫分}ノ路盤ハ大下・劍山間(十年九月着手、十二年一月竣功豫定)劍山・惠山鎮間(十年八月着手、十一年十二月竣功豫定)ノ二工區ニ別テ路盤工事施行中ナリ。

滿浦線 本線ハ順川ニ起リ滿浦鎮ニ至ル約 299.8^{暫分}及滿浦鎮滿浦橋中心間約 3.2^{暫分}ノ計延長約 303.0^{暫分}ノ線路ニシテ順川・熙川間 109.8^{暫分}ハ昭和九年度迄ニ營業ヲ開始シ熙川・价古間 30.2^{暫分}ハ十年十月一日營業開始セリ。

价古・狗峴間 17.2^{暫分}ハ四工區ニ別テ内、自 142.400^{暫米}至 148.400^{暫米}ハ九年七月着手、十年八月竣功、自 148.400^{暫米}至 151.660^{暫米}ハ九年七月着手、十年十一月竣功、自 151.660^{暫米}至 155.400^{暫米}ハ九年七月

着手、十年十一月竣功シ、又狗峴・梨滿間 19.1^{暫分}ノ三工區モ狗峴・兩江間ハ九年八月着手、十年十月竣功、兩江・古仁間ハ九年七月着手、十年八月竣功、古仁・梨滿間ハ九年十月着手、十年十月

熟レモ路盤工事竣功シ、价古・狗峴間ノ内自 155.400^{暫米}至 159.800^{暫米}狗峴嶺隧道前後ノ一工區ハ九年七月着手、十一年十一月竣功ノ豫定ニシテ更ニ、梨滿・梧毛老間 60.2^{暫分}ハ之ヲ六工區ニ

分テ梨滿・雲松間(九年十一月着手、十一年八月竣功豫定)雲松・仲岩間(十年六月着手、十一年七月竣功豫定)仲岩・前川間(十年六月着手、十一年七月竣功豫定)前川・双芳間(十年六月着手、十二年二月竣功豫定)双芳・別河間(十年八月着手、十一年九月竣功豫定)別河・梧毛老間

(十年九月着手、十一年十一月竣功豫定)工事中ニシテ其ノ他乾下高蓋間、及三傑嶺隧道前後 5.7^{暫分}(十年八月着手、十三年一月竣功豫定)ノ路盤工事施行中ナリ。

東海線 本線ハ釜山鎮・蔚山間及安邊・浦項間延長約 543.8^{暫米}ノ線路ニシテ、北部ニ於ケル安邊・杆城間 150.7^{暫分}ハ十年十一月一日迄ニ營業ヲ開始シ、南部ニ於テハ釜山鎮・蔚山間 73.0^{暫分}ヲ十年十二月十六日迄ニ營業ヲ開始セリ。

北部杆城・東草間 23.1^{暫分}ハ杆城・文岩津間(十年十一月着手、十一年十二月竣功豫定)文岩津・東草間(十年十一月着手、十一年十一月竣功豫定)ノ二工區ニ別テ路盤工事施行中ナリ。

慶全線 本線ハ晋州・全州間及金池・潭陽間延長約 251.2^{暫分}ノ線路ニシテ北部ニ於ケル全州・谷城間 80.8^{暫分}ハ八年度迄ニ營業ヲ開始セリ。

谷城・鴨綠間 13.6^{暫分}ノ路盤工事ハ九年度迄ニ竣功シ鴨綠・順天間 39.3^{暫分}ハ鴨綠・龍林間(十年六月着手、十一年五月竣功豫定)龍林・上洞間(十年六月着手、十一年六月竣功豫定)上洞・松院間(九年十月着手、十一年十二月竣功豫定)松院・順天間(十年七月着手、十一年九月竣功豫定)ノ四工區ニ別テ路盤工事施行中ナリ。

拓殖鐵道白茂線 本線ハ白岩・茂山間約 188.0^{暫分}ノ線路ニシテ白岩・山羊臺間 33.8^{暫分}ハ九年度迄ニ

山羊臺・延岩間 22.1^{新分}ハ十年九月一日熱レモ營業ヲ開始セリ。

延岩・下黄土間ハ延岩・天水間（八年八月着手、九年十二月竣功）天水・下黄土間（九年十一月着手、十年八月竣功）ノ二工區ニ別チ路盤工事竣功シ、下黄土・榆坪間 14.7^{新分}（十年七月着手、十一年八月竣功豫定）ハ路盤工事施行中ナリ。

第三章 建設主要統計

建設線路一覽表

線名	區間	計畫 里程	着手 年度	竣功 年度	前年度 開業	本年度 開業	工事中	未着手	決 算 額		記 事
									本年度	本年度 迄累計	
平元線	西浦一高原	213.7	大正15	昭和16	96.5	新1	64.0	53.2	921,751	13,647,156	
圖們線	雄基一潼關	162.7	昭和2	8	162.7	—	—	—	121,659	15,982,414	
惠山線	吉州一惠山鎮	141.7	6	13	70.0	29.7	42.0	—	2,512,270	12,893,453	
滿浦線	順川一滿浦橋中心	303.0	6	14	109.8	30.2	102.2	60.8	7,060,737	79,958,818	
東海線	釜山鎮一蔚山	73.0	5	10	41.2	31.8	—	—	2,115,630	17,853,655	
//	安邊一浦項	475.8	2	16	111.4	39.3	23.1	302.0			
慶全線	全州一晉州	212.6	4	16	80.8	—	52.9	78.9	1,300,547	7,351,488	
//	金池一潭陽	38.6									—
白茂線	白岩一茂山	188.0	7	12	33.8	22.1	44.9	87.2	769,911	2,454,845	
計		1,809.0			706.2	153.1	329.1	620.7	14,802,505	90,141,829	

橋 梁 表 (延長100米以上)

線名	區間	名稱	着手年月	竣功年月
東海線北部	文岩津一東草	文岩川	年月	10.12
滿	梨滿一雲松	化京川第二	9.11	10.9
	//	// 第三	9.11	10.9
	//	// 第四	9.11	10.6
	//	// 第五	9.11	10.9
	//	// 第六	9.11	10.9

浦	雲松一仲岩	// 第七	10.8	來年度繼續
	//	禿魯江第一	10.8	//
	前川一雙芳	// 第二	10.6	//
	//	// 第三	10.6	//
海	別河一梧毛老于	北川	10.10	//
	//	禿魯江第四	10.9	//

隧 道 表 (延長200米以上)

線名	區間	名稱	着手年月	竣功年月	記 事	
慶全線北部	槐木一鶴口	松 峙	年月	9.12	11.12	
平元線東部	紐田一仁興	泊 舟	8.11	10.5		
	仁興一城內	城 內	8.12	10.6		
	泉城一館坪	土 嶺	10.12	12.12		
滿	价古一椽木	狗 峴 第四	9.8	10.8		
	//	// 第五	9.8	10.11		
	//	// 第六	9.9	10.9		
	//	// 第九	9.8	10.8		
	//	// 第十	9.8	10.10		
	//	// 第十三	9.7	10.9		
	浦	//	// 第十四	9.7	10.5	
		椽木一狗峴	// 第十七	9.7	10.7	
		//	// 第十九	9.8	10.7	
		//	狗 峴 嶺	10.7	10.8	
線	狗峴一古仁津	坪 興	9.8	10.6	來年度繼續	
	前川一雙芳	章 興	10.6	來年度繼續		
	乾下一滿浦	三 傑 嶺	10.9	//		
	惠	鳳頭一市安所	大 嶺 底	9.9	10.9	
山	市安所一深浦里	新 草	9.8	10.9		
	深浦里一大五是	日 建	9.7	11.3		
	線	渭淵浦一惠山	惠 山	10.8	11.5	

主要工事

費目	線別	事務所	認可	番號	工 事 作 業 名	工 費				
鐵道建設及改良費	滿浦線	平壤建設事務所	建	218	滿浦線第十四工區(价古狗觀間第一區)土工其他新設工事	490,120				
				219	第十五工區(第一區)土工其他新設工事	895,956				
				220	第十六工區(第一區)土工其他新設工事	1,310,622				
				221	第十七工區(第一區)土工其他新設工事	1,278,000				
				240	第十八工區 狗 觀 間 土工其他新設工事	552,088				
				254	第十九工區 西 江 間 土工其他新設工事	292,348				
				308	第二十工區 古 仁 間 土工其他新設工事	308,535				
				328	第二十一工區 梨 滿 間 土工其他新設工事	698,500				
				526	第二十二工區 雲 松 間 土工其他新設工事	191,500				
				527	第二十三工區 仲 岩 間 土工其他新設工事	314,500				
				528	第二十四工區 前 川 間 土工其他新設工事	429,600				
				584	第二十五工區 双 芳 間 土工其他新設工事	297,800				
				617	第二十六工區 別 河 間 土工其他新設工事	549,800				
				585	滿浦線北部第二工區 乾 下 間 土工其他新設工事	1,233,000				
				設	惠山線	城津建設事務所	"	239	惠山線第十一工區 鳳 頭 間 土工其他新設工事	317,282
								253	第十二工區 甫 安 所 間 土工其他新設工事	324,502
								217	第十三工區 日 建 間 土工其他新設工事	514,037
								557	第十四工區 大 下 間 土工其他新設工事	255,000
								558	第十五工區 觀 山 間 土工其他新設工事	407,300
								費	慶全線	大田鐵道事務所
830	第十一工區 龍 林 間 土工其他新設工事	209,800								
305	第十二工區 上 洞 間 土工其他新設工事	346,000								

成績表 (其ノ一)

材 料 費	著手年月日	竣工又ハ竣工 豫定年月日	出 來 高		請 負 者	記 事
			本 年 度	累 計		
79,230	9.7.1	10.8.25	.57	1.00	楠見忠三郎	
109,243	9.7.1	10.11.20	.50	1.00	株式會社飛鳥組	
152,243	9.7.1	10.11.3	.40	1.10	合資會社西本組	
143,056	9.7.1	11.11.16	.67	.92	西松組	
116,551	9.8.1	10.10.25	.68	1.00	合名會社阿川組	
42,925	9.7.29	10.8.12	.40	1.00	龍山小寺合資會社	
61,587	9.10.10	10.10.25	.61	1.00	日滿土木株式會社	
134,505	9.11.3	11.8.13	.70	.99	株式會社鹿島組	
37,545	10.6.28	11.7.31	.79	.79	志岐工業株式會社	
47,479	10.6.28	11.7.31	.86	.86	株式會社錢高組	
65,154	10.6.22	12.2.10	.82	.82	合資會社長門組	
73,760	10.8.28	11.9.30	.48	.48	森本千吉	
189,184	10.9.8	11.11.30	.30	.30	合資會社西本組	
116,732	10.8.16	13.1.31	.27	.27	株式會社間組	
60,971	9.8.1	10.11.20	.65	1.00	日本工業合資會社	
44,832	9.8.1	10.10.10	.48	1.00	株式會社柴田組	
88,127	9.7.1	11.3.24	.66	1.00	榑谷仙次郎	
30,604	10.9.4	12.1.15	.45	.45	京城土木合資會社	
82,884	10.8.9	11.12.20	.44	.44	大倉土木株式會社	
23,895	10.6.26	11.5.20	.81	.81	合資會社勝呂組	
38,726	10.6.22	11.6.15	.79	.79	株式會社三宅組	
48,365	9.10.10	11.12.17	.67	.75	荒井組	

主 要 工 事

費目	費別	事務所	認可番號	工 事 件 名	工 費	
鐵道建設及改良費・建設費	慶全線	大田鐵道事務所	建 529	慶全線北部第十三工區松院間土工其他新設工事	379,500	
	平元線	平壤建設事務所	// 334	平元線西部第十四工區化倉間土工其他新設工事	357,800	
		城津建設事務所	// 117	平元線東部第四工區柵田間土工其他新設工事	593,191	
		//	// 616	—//—第六工區直洞間土工其他新設工事	1,209,600	
	東海線	元山鐵道事務所	// 24	東海線北部第十四工區杆城間土工其他新設工事	286,000	
		//	// 25	—//—第十五工區文岩津東間土工其他新設工事	187,200	
	白茂線	城津建設事務所	// 329	白茂線第五工區天水下黃土岩間土工其他新設工事	164,704	
		//	// 538	—//—第六工區下黃土岩檢坪間土工其他新設工事	244,700	
	鐵道建設及改良費	滿浦線	平 設	// 578	滿浦線高蓋發電所其他新築工事	15,525
			//	// 6	平壤建設事務所其他新築工事	26,480
		//	// 15	平壤五等官舍其他新築工事	36,987	
		//	// 31	滿浦線价古前川間順起自143.km線路砂利採集工事	19,923	
		平 鐵	// 503	滿浦線价古及明文驛本屋其他新築工事	56,081	
		//	// 504	—//—草上簡易驛本屋 —//—	41,399	
		//	// 507	—//—照川・价古間軌道敷設其他工事	26,503	
		//	// 555	—//—价古驛給水設備其他工事	17,314	
建 設		惠山線	城 設	// 20	城津四、五等官舍新築工事	17,640
			//	// 19	惠山線・惠山鎮守備隊小銃射擊場移轉工事	26,450
		城 鐵	// 299	惠山線白岩驛給水設備其他工事	58,941	
		//	// 337	白岩醫務室其他新築工事	10,667	
		//	// 386	惠山線鳳頭及生長驛本屋其他新築工事	48,436	
費		//	// 387	—//—嶺下及東興驛 —//—	45,833	
		//	// 505	白岩機關車庫其他新築工事	47,472	

成 績 表 (其ノ二)

材 料 費	著手年月日	竣工又ハ竣工豫定年月日	出 來 高		請 負 者	記 事
			本 度	年 中 累 計		
58,694	1.0 7. 9	11. 9.30	.67	.67	三木合資會社	
65,487	9.11. 3	11. 5.25	.81	.99	株式會社津田組	
116,860	8.10.27	10. 6.18	.10	1.00	大倉土木株式會社	
118,269	10. 9.25	13. 5.31	.06	.06	株式會社松本組	
39,733	10.11.28	11.12.31	.34	.34	楠見忠三郎	
25,628	10.11.27	11.11.30	.26	.26	株式會社津田組	
14,743	9.11. 3	10. 8.24	.72	1.00	三木合資會社	
12,880	10. 7. 9	11. 8.31	.86	.86	株式會社柴田組	
1,671	10. 7. 8	10. 8.30	1.03	1.00	日滿土木株式會社	
1,307	10. 9.13	10.11.21	1.00	1.00	當房有次郎	
3,214	10. 9.20	10.12.20	1.00	1.00	合資會社淀川組	
0	10.12.23	11. 2.10	1.00	1.00	株式會社飛鳥組	
4,973	10. 5. 1	10. 9.30	1.00	1.00	合資會社水谷組	
3,706	10. 5. 1	10. 9.30	1.00	1.00	—//—淀川組	
△ 6,968 371,486	10. 4.12	10. 9.30	1.00	1.00	勞供水谷組	直 營
3,027	10. 6.20	10. 9.17	1.00	1.00	楠見忠三郎	
1,227	10. 9.28	10.12.17	1.00	1.00	合資會社岩村組	
947	10.10. 6	11. 6.15	.35	.35	大倉土木株式會社	
7,098	9.10. 1	10. 7.31	.64	1.00	中 島 直 吉	
1,248	9.11.10	10. 8.15	1.00	1.00	—//—	
4,445	10. 3. 5	10. 8.30	1.00	1.00	—//—	
4,166	10. 3. 5	10. 8.30	1.00	1.00	合資會社松本工業	
1,270 6,852	10. 4.25	10. 8.30	1.00	1.00	中 島 直 吉	一部白茂線ヲ含ム

主 要 工 事

費目	線別	事務所	認番	可號	工 事 件 名	工 費
鐵道建設及改良費	惠山線	城鐵	建	520	惠山線 白岩鳳頭間軌道敷設其他工事	36,385
				537	白岩八等官舎其他新築工事	30,948
				546	惠山線 白岩鳳頭間線路砂利採集積込工事	32,423
				606	白岩益濟寮増築其他工事	18,899
				12	白岩驛給水柱新設其他工事(惠山線白茂線)	17,552
	慶全線	大鐵		32	慶全線北部 順天官舎地築其他新築工事	73,500
	平元線	平鐵		14	平元線七等官舎其他新築工事	29,658
		城鐵		3	平元線東部 土嶺假登電所其他新築工事	11,985
	東海線	元鐵		510	東海線北部 高城杆城間軌道敷設其他工事	45,295
	建設費				577	東海線北部猪津及江亭驛本屋其他新築工事
				583	東海線北部 杆城巨津大澤驛其他新築工事	69,587
				7	東海線北部 杆城假機關車庫其他新築工事	10,700
		釜鐵		33	東海線南部 蔚山六等官舎其他新築工事	13,449
				570	東海線南部 佐川蔚山間軌道敷設其他工事	32,024
				605	東海線南部南倉及月内驛本屋其他新築工事	32,133
				2	東海線南部 蔚山及德下其他新築工事	32,100
北事鮮業開拓費		白茂線	城鐵		37	白茂線 延岩外三箇所官舎新築其他工事
				38	白線線 天水及下黄土岩其他新築工事	42,400
				39	白茂線 楡坪及下境坪驛本屋其他新築工事	45,000
				338	白岩七等官舎其他新築工事	36,408
	拓敷線道費				388	白茂線 延岩及西頭水驛本屋其他新築工事
				519	白茂線 山羊臺延岩間軌道敷設其他工事	14,807
				548	白茂線山羊臺延岩間線路砂利採集積込工事	11,461

成 績 表 (其ノ三)

材 料 費	著手年月日	竣功又ハ竣功 豫定年月日	出 來 高		請 負 者	記 事
			本 年 中	累 計		
△ 2,369 401,485	10. 5. 1	10.10.22	1.00	1.00	勞 供 一ノ一	直 營
3,034	10. 5. 29	10. 9. 30	1.00	1.00	一ノ一	
266	10. 5. 26	10.10.12	1.00	1.00	勞 供 一ノ一	直 營
894	10. 8. 8	10.11.20	1.00	1.00	合資會社前田組	
2,776	10. 9. 20	10.11.18	1.00	1.00	中 島 直 吉	一部白茂線ヲ 含ム
5,595	11. 2. 1	11. 6. 30	.34	.34	三木合資會社	
2,672	10. 9. 20	10.12.18	1.00	1.00	合資會社淀川組	
1,769	10. 9. 1	10.11.4	1.00	1.00	株式會社松本組	
△ 4,904 611,589	10. 5. 10	10.10.31	1.00	1.00	勞 供 合 資 會 社 松 本 工 業	直 營
3,186	10. 7. 14	10.10.20	1.00	1.00	太洋土木合資會社	
5,832	10. 7. 20	10.10.20	1.00	1.00	合資會社山下組	
210	10. 9. 9	10.10.25	1.00	1.00	一ノ一	
552	11. 3. 3	11. 6. 30	.30	.30	倉 橋 定 藏	
△ 4,342 506,088	10. 9. 1	11. 1. 15	1.00	1.00	勞 供 渡 邊 惣 次	直 營
2,551	10. 8. 6	10.12.10	1.00	1.00	合資會社中谷組	
2,454	10. 9. 5	10.12.10	1.00	1.00	一ノ一 田 中 組	
2,503	11. 3. 9	11. 9. 30	0	0	合資會社前田組	
2,533	11. 3. 9	11. 9. 20	0	0	酒 井 仁 平	
2,511	11. 3. 15	11.9 .30	0	0	中 島 直 吉	
3,827	9.11.10	10. 8. 30	1.00	1.00	一ノ一	
4,557	10. 3. 5	10. 8. 20	1.00	1.00	合資會社前田組	
△ 83,713 51,925	10. 5. 11	10 .9. 17	1.00	1.00	勞 供 中 島 直 吉	直 營
156	10. 5. 26	10. 8. 31	1.00	1.00	一ノ一	一ノ一

第六編 工務

第一章 工務一般

工務員詰所設置其他

本年度中ニ於ケル工務員詰所ノ設置下記ノ如シ

(1) 保線區新設

10. 4. 1.	平壤鐵道事務所	熙川保線區	滿浦線營業區間延長ニ伴ヒ設置
〃	城津鐵道事務所	白岩保線區	惠山線及白茂線營業區間延長ニ伴ヒ設置
11. 3. 1.	大田鐵道事務所	寶城保線區	南朝鮮鐵道株式會社所屬鐵道買収ニ伴ヒ設置

(2) 工事區新設

10. 6. 20.	釜山鐵道事務所	入室工事區	{ 東海中部線蔚山・東方間線路改良工事施行ノ爲設置
10. 11. 2.	同	琴湖江工事區	同上線大邱・東村間改良工事施行ノ爲設置
11. 1. 1.	同	慶州工事區	{ 同上線東方・慶州間線路改良工事施行ノ爲設置

線路審査

本年度ニ於ケル線路審査ノ結果選定セラレタル優良保線區及保線丁場下記ノ如シ

(1) 優良保線區

大邱	(釜山鐵道事務所管内)
大田	(大田鐵道事務所管内)
成歡	(京城鐵道事務所管内)
順川	(平壤鐵道事務所管内)
福溪	(元山鐵道事務所管内)
城津	(城津鐵道事務所管内)

(2) 優良保線丁場

南省峴、大邱、上南、金丈	(釜山鐵道事務所管内)
永同、廣石、四街里、三郷、任實	(大田鐵道事務所管内)
軍浦場、新村、鷄井、清溪、院里	(京城鐵道事務所管内)
力浦、萬城、良策、舍人場、球場	(平壤鐵道事務所管内)
多大里、永興、新浦、漣城	(元山鐵道事務所管内)
羅興、双龍、内浦、明川、山羊台	(城津鐵道事務所管内)

第二章 保存工事

本年度施行ノ主ナル工事ハ湖南、京元兩線ノ磨耗軌條交換、大邱驛本屋修繕模様替、京城工場客車職場屋根修繕、朝鮮ホテル本館一部模様替、同ホテル一階電燈器具取替、元山局員集會所移轉模様替等ノ外全線ニ亙リ腐朽枕木交換、線路砂利補充、橋梁・溝橋ノ鋼桁ペイント塗替並ニ鍍交換、腐朽電柱建替其他電線路整備、諸建物修繕、官舎墨襖替工事等ニテ此ノ外線路、電線路、諸建物等ニ對シ必要ナル保存工事ヲ施行セリ。

第三章 補充工事

一般補充工事 本年度施行ノ主ナル工事ハ下記ノ如シ

烏山・定州・本宮・羅南各驛側線増設、大光里・珊瑚川各砂利線増設、松汀里・全南光州間枕木増設、黃龍江橋梁鋼桁補強。

趙村驛昇格ニ伴フ地築新設並ニ聯合官舎ノ新築、稷山簡易驛新設、本宮簡易驛本屋移築、大邱驛本屋増築、元山・旺場驛地築擴張、群山官舎同上並ニ基礎上昇。

本局廳舎増築及之ニ伴フ暖房電燈設備増設、元山鐵道事務所廳舎新築(建設費關聯)、元山檢車區移築並ニ城津電氣區増築、平壤經理課引火質物倉庫新築、清川江及大寧江橋梁番所改築、平壤鐵道ホテル客室改築、龍山鐵道博物館車輛上家新築、元山・城津益濟寮及平壤鐵道醫務室増築、新鳳山・會山・范浦各官舎新築、京城長谷川町一部官舎ヲ同蓬萊町及錦町ニ、黃海黃州七等官舎ヲ平壤醫務室附屬四等官舎ニ各移築、龍山八等官舎一部改築、開城官舎給水設備。

西井里・水原間、咸興・興南間及馬山・晋州間外通信線増架、龍山・城津間搬送電話回線實裝、朝鮮ホテル自動交換機新設、同暖房設備増設、京城驛電話交換方式變更、釜山及龍山驛(操車用)放聲設備新設。

大邱驛本屋、京城驛外灯、新幕驛乘降場、富成驛、元山鐵道事務所廳舎各電燈新增設、鴨綠江橋梁衛兵所附屬探照燈改良、京城古市町壹號官舎電熱器増設、城津外電氣時計新設等ナリ。

水害ニ伴フ補充工事 水害工事ノ主ナルモノハ前年度ヨリ繼續施行中ノ龜浦・勿禁間狐浦川橋梁改築並ニ之ニ伴フ其前後軌道敷設、電線路改良工事ノ外、本年度水害ノ一山・金村間金城川橋梁徑間増設、石下・新義州間鴨綠江避溢光城橋梁新設(翌年度ニ繼續)、同驛間一部假線敷設、同第一避溢橋翼壁復舊、其他被害箇所ニ於ケル土留擁壁、築堤法面捨石、護岸蛇籠増設、翼壁改築、水制工新設工事等ヲ施行セリ。

滿鐵委託線ニアリテハ會寧川橋梁改築工事等ヲ主トシテ施行セリ。

第四章 改良工事

既設線改良 本年度改良工事ハ近時經濟界ノ要求ニ基ク輸送力増加並ニ内鮮滿連絡時間短縮ニ伴ヒ列車速度昂上及運轉回數増加ノ爲線路ノ補強工作ノ必要ニ迫ラレタルヲ以テ京釜・京義兩線ハ既定計畫ニ基キ軌條ノ一部敷替ヘ、緩和曲線挿入、橋梁及溝橋改築、曲線高度扛上、落石防止、分岐部改良工事等ヲ施行シ、湖南線ハ軌條ノ一部敷替ヘ、京元・咸鏡線ニアリテハ分岐部附帶曲線改良及落石防止工事等ヲ施行セリ。

既設備其他改良 其他既設線ニ於ケル主ナル工事下記ノ如シ。

草梁(客車用)・咸興驛(翌年度へ繼續)、各轉車臺新設大田驛北部・平壤驛各第一種聯動裝置新設、枝川・永登浦・船橋里・平壤・興南各驛及釜山工場(翌年度へ繼續)・草梁・龍山各機關庫側線増設、京城工場線軌道一部模様替、平壤驛配線模様替(前年度ヨリ繼續)。

永登浦・力浦・肅川・嶺美・枇岷・白馬・舊馬山及林谷驛地築擴張、西大田・江原院里驛新設ニ伴フ土工新設、新北青驛信號設備改良、咸興驛貨物通路舗裝、天安驛給水設備新設及平壤機關車庫同上改良、開城驛跨線橋・平壤驛貨物積卸場擁壁(以上翌年度へ繼續)・水原驛地下道新設(前年度ヨリ繼續)。

釜山工場旋盤・組立・製鐵工場、京城檢車區事務所・大田電話交換所・永登浦外敷驛貨物上家各新築、龜浦・枝川・永登浦(前年度ヨリ繼續)・興水・肅川・嶺美・郭山・車輦館・枇岷・白馬・舊馬山(翌年度へ繼續)・林谷・地境・往十里(翌年度へ繼續)・倉洞各驛舍並ニ平壤機關車庫(翌年度へ繼續)改築。

龍山市外電話交換機増設・新義州・元山・大田(翌年度へ繼續)、各電話交換設備改良 興水・平壤・嶺美・郭山・車輦館・枇岷・白馬各驛及鎮南浦操炭場ニ於ケル電燈設備新増設。

大田・江景間、龍山・新幕間、龍山・開城間、龍山・清津間、元山・城津間、城津・吉州間通信線増架、龍山・清津間搬送電話工事等ナリ。

買收線改良 東海中部線ニアリテハ蔚山・慶州間ヲ、蔚山・虎溪間(十年六月着手、十一年六月竣功豫定)、虎溪・入室間(十年七月着手、十一年六月竣功豫定)、入室・東方間(十年八月着手、十一年八月竣功豫定)、東方・慶州間(十一年一月着手、同年九月竣功豫定)ノ四工區ニ分チ夫々廣軌改築ニ着手シ、又同線中大邱・東村間琴湖江橋梁其他改良工事ハ十年十一月着手シ、十一年五月竣功ノ豫定ナリ。

尙以上ノ改良工事ニ伴ヒ蔚山・慶州間通信線増架工事等ヲ施行セリ。

北鮮線改良 他方滿鐵ニ委託經營中ノ輪城以北ニアリテハ、清津・雄基間枕木増設、石幕・會寧間軌條桁架替ヘ、豐仁・新乾・青鶴洞・洪儀・雄尙各驛行遠設備實施ニ伴フ地築擴張並ニ軌道増設、富寧・會寧・上三峰・訓戎各驛給水設備改良、南陽驛地下道新設並ニ同乘降場上家新築、古

茂山驛側線増設、清津新驛地築盛土、清津・雄基間通信線増架工事等ヲ施行セリ。

第五章 風水害被害數量

昭和十年度ニ於ケル風水害被害ノ主ナルモノハ下記ノ如クニシテ夫々應急及復舊工事ヲ施行シタリ。

線別	發生月日	被害數量
京釜線	7.21—7.24、	永登浦・京城間ニ於テ築堤又ハ切取崩壞 190 ^{立米} 、京城古市町及錦町官舎構内ニ於テ切取崩壞 230 ^{立米} 、梧柳洞・仁川間ニ於テ築堤又ハ切取崩壞 1,670 ^{立米}
	7.22—7.27、	天安及平澤驛構内並ニ始興・永登浦間ニ於テ築堤沈下 240 ^{立米}
	7.21—7.24、	水色・陵谷間ニ於テ線路浸水 200 ^{立米} 、築堤又ハ切取崩壞 320 ^{立米} 、一山・金村間ニ於テ線路浸水 1,950 ^{立米} 、築堤流失 310 ^{立米} 、切取崩壞 180 ^{立米} 、金村・開城間ニ於テ築堤又ハ切取崩壞 455 ^{立米} 、築堤法肩沈下 610 ^{立米} 、土管陥没 2 ^{箇處} 、孔德里・東幕間及細橋里・放送所前間ニ於テ築堤崩壞 1,000 ^{立米} 、礪岷川砂利線内ニ於テ築堤崩壞 150 ^{立米}
京義線	6.16—6.18、	黄海黃州・長川里間及葛川驛構内ニ於テ築堤崩壞並ニ沈下 1,950 ^{立米}
	7.23—7.25、	鷄井・金郊間ニ於テ築堤土留擁壁崩壞 83 ^{平米} 、馬洞・新鳳山間ニ於テ線路浸水 524 ^{立米} 、築堤又ハ切取崩壞 6,900 ^{立米}
	7.24—8. 4、	石下・新義州間ニ於テ鴨綠江第一避溢橋京城側兩袖崩壞流失 200 ^{立米} 、橋臺裏築堤流失 500 ^{立米} 、新義州・安東間ニ於テ鴨綠江兩岸ノ衛兵所浸突水、電柱傾斜 6 ^本 、同支線流失又ハ弛緩 40 ^箇 、鏡二浦線内ニ於テ築堤崩壞 140 ^{立米} 、博川砂利線内ニ於テ軌道流失 430 ^{立米}
湖南線	7.22	豆溪・連山間ニ於テ築堤又ハ切取崩壞 127 ^{立米} 、青洞開渠袖石垣崩壞 30 ^{平米}
東海北部線	6.15—6.21、	沛川驛構内官舎地築崩壞 300 ^{立米}
	7.21—7.23、	濂城・荳白間ニ於テ切取崩壞 150 ^{立米}
京元線	7.13—7.14、	劍拂浪・洗浦間、高山・龍池院間及釋王寺・南山間ニ於テ築堤又ハ切取崩壞 505 ^{立米} 、福溪砂利線内ニ於テ假橋梁橋脚流失 1 ^{箇處}
	7.21—7.24、	西水庫驛構内ニ於テ築堤崩壞 225 ^{立米} 、清涼里・倉洞間ニ於テ線路浸水 300 ^{立米} 、倉洞・議政府間ニ於テ線路浸水 600 ^{立米} 、議政府・全谷間及漣川・大光里間ニ於テ築堤切取及堤防崩壞 1,821 ^{立米} 、道德川橋梁龍山方土留石垣崩壞 90 ^{平米} 、漢江砂利線内ニ於テ軌道埋没及線路流失 3,600 ^{立米} 、枕木流失 400 ^箇

- 7.27—7.29、德亭・東豆川間 = 於テ築堤又ハ切取崩壊 480^{立米}
- 8.20—8.23、蟹川砂利線内 = 於テ道床流失 200^米
- 8.23—8.25、議政府・德亭間及東豆川・全谷間 = 於テ築堤又ハ切取崩壊 385^{立米}、大光里・鐵原間及月井里・平康間 = 於テ切取張石崩壊 250^{平米}

平元西部線 7.24—8.4、修德・新成川間 = 於テ三德隧道元山口切取崩壊 600^{立米}、新成川・長林間 = 於テ築堤又ハ切取崩壊 825^{立米}、長林驛構内 = 於テ給水井戸埋没 1^{箇處}、鳳下砂利線内 = 於テ路盤流失 830^{立米}

滿浦線 7.24—8.4、順川・閣岩間、龍源里・泉洞間、价川・院里間及新興洞・熙川間 = 於テ築堤又ハ切取崩壊 8,728^{立米}、球場驛構内 = 於テ橋梁流失 1^{箇處}、价川線安州驛附近 = 於テ一部線路浸水、路盤土留擁壁流失並ニ捨石崩壊 140^{立米}、築堤又ハ路盤流失 241^{立米}

10.7 自作・球場間 = 於テ切取崩壊 300^{立米}

咸鏡線 6.15—6.21、瑚璉川砂利線内 = 於テ道床流失 365^{立米}、假受工流移 1^{箇處}、同流失 1^{箇處}

7.13—7.14、定平・咸南興上間 = 於テ甬中開渠翼壁崩壊 20^{平米}、德池川砂利線内 = 於テ築堤流失 200^{立米}

7.16 永安驛構内 = 於テ地築沈下又ハ崩壊 450^{立米}、會文・龍峴間 = 於テ築堤又ハ切取崩壊 630^{立米}

7.26—7.30、吉州砂利線内 = 於テ線路流移 350^米、築堤流失 400^{立米}

8.20—8.23、文坪・文川間 = 於テ築堤法面捨石崩壊 100^{立米}、范浦・旺場間 = 於テ切取崩壊 120^{立米}、永安構内 = 於テ地築崩壊又ハ沈下 320^{立米}、德池川砂利線内 = 於テ築堤流失 200^{立米}

9.8—9.13、咸南興上・興南本町間 = 於テ路盤沈下 8,754^{立米}、本宮・西湖津間 = 於テ切取法面捨石崩壊 926^{立米}、並ニ咸興驛前廣場雨水滯留 500^{平米}

惠山線 6.4—6.21、合水・白岩間 = 於テ築堤又ハ切取崩壊 1,454^{立米}

6.30—7.10、南溪・白岩間 = 於テ切取崩壊 359^{立米}

7.26—7.30、城後・合水間各所 = 築堤又ハ切取崩壊

白茂線 5.11—5.17、白岩・北溪水間 = 於テ融氷ノタメ築堤又ハ切取崩壊 1,170^{立米}

6.4—6.21、白岩・山羊台間 = 於テ融氷ノタメ築堤又ハ切取崩壊 1,339^{立米}

9.8—9.15、上黃土・山羊台間 = 於テ第二西頭水橋梁橋脚移動、西頭・延岩間 = 於テ切取崩壊 600^{立米}

第六章 工務主要統計

營業線施設物

種別	數量	對前年度比較増減	記	事	
線	廣軌	單線 3,139.6 複線 8.8 四線 3.2	291.1		惠山線29.7軒滿浦本線 30.2軒東海北部線 39.3軒東海南部線 31.8軒各營業開始並ニ南朝鮮鐵道會社線 160.0軒買收ノ爲
	路	狹軌 單線 //	233.1	21.0	白茂線營業開始ノ爲22.1軒増 東海中部線蔚山驛移轉ノ爲1.0軒減
	軌	廣軌 //	4,190.8	369.1	新規開業區間 = 於テ 149.8軒南鐵線買收 = 依リ 18 1.1軒増外枝川、永登浦、龍山、平壤、裡里、趙村、鎮南浦、城津、羅南、本宮、興南各驛間線、馬山海岸引込線等新增設 群山府營西海岸鐵道受託營業開始、永登浦鐵紡、大同江日本炭産、平壤兵器支廠、長林三成鐵業、本宮朝室、興南同、青洞朝鮮石炭礦業、川内里小野田セメント各專用線増設 中里、大光里、瑚璉川各砂利線新增設等ノ爲、新安州貨物引込線、立石川、蟹川各砂利線ノ撤去等アリシモ差引増
道	狹軌 //	266.9	24.8	白茂線營業開始ノタメ 25.9軒増、東海中部線蔚山驛移轉 = 依リ 1.1軒減	
線	橋	梁 箇處	1,877	166	新規開業區間東海南部線 11箇處 777.5米同北部線 19箇處 919.1米滿浦本線 27箇處 1,177.7米惠山線 14箇處 298.6米白茂線 8箇處 130.0米計 79箇處 3,302.9米 南鐵線買收 = 依リ 82箇處 2,220.5米各増ノ外价川線錦川橋梁撤去、京義本線田口川、妙洞川、各橋梁改築 = 依リ 39.9米減アリテモ簡灘江橋梁復間増設等 = 依リ 40.9米増アリシ爲 (本項ニハ雜橋梁ヲ含マズ)
		延長米	77,899.4	5,524.6	
建	溝	橋 箇處	3,727	352	新規開業區間 = 於テ 167箇處 335.1米南鐵線買收 = 依リ 176箇處 328.9米増ノ外既設線 = 於テ 9箇所 9.5米増設ノ爲
		延長米	8,705.6	673.5	
造	伏	樋 箇處	15,064	2,024	新規開業區間 = 於テ 753箇處 南鐵線買收 = 依リ 1,259箇處増ノ外既設線 = 於テ 新設改廢 = 依リ 差引 12箇處増加ノタメ
		延長米	79,473.7	10,501.1	
物	隆	道 //	239	26	新規開業區間東海南部線 4箇處 930米東海北部線 3箇處 583米滿浦本線 10箇處 3,063米 惠山線 1箇處 2,213米各増ノ外南鐵線買收 = 依リ 8箇處 3,712米増ノ爲
		延長米	79,473.7	10,501.1	
停	車	普通 驛 箇處	352	34	嶺下、生長、鳳頭里、西頭、延岩、价古、猪津、巨津、科城、南倉、德下ヲ新設、南鐵線買收 = 依リ 18驛引繼本宮、大澤、趙村、機張、枝川各簡易驛ヲ普通驛ニ變更
		簡易 驛 //	140	20	同上ノ外南中、延坪、草上、明文、草邱、縣内、月内、范浦、黑石里、濱町、稷山ヲ新設、南鐵線買收 = 依リ 14驛引繼
		荷扱所 //	1	—	
場	一	信號場 //	1	—	
		跨線橋 //	16	1	南鐵線買收(麗水) = 依リ増
場	一	地下道 //	8	1	水原驛 = 新設
		信號機 基	1,112	74	既設線 = 於テ 5基撤去アリシモ新規開業區間、南鐵線買收並ニ簡易驛ヲ普通驛ニ變更 = 依リ増

種別	數量	對前年度比較増減	記 事
停車場 閉塞機 個	661	56	新規開業、南鐵線買収並ニ簡易驛ヲ普通驛ニ變更ノタメ増
停車場建物 延平 方米	354,380	24,925	同上理由ニ依ル増ノ外大邱、枝川、林谷、地境、倉洞、往十里、平壤、興水、肅川、嶺美、郭山、車掌館、祝靛、白馬、趙村、各驛本屋増改築大田、中和驛貨物上家新築、水原、永登浦驛乘降場上家新築、京元成鏡線各驛貯炭場上家新築等ノタメ増
官舎 //	322,219	24,077	同上理由ニ依ル増ノ外枝川、新鳳山、平壤、趙村、元山、范浦、城津、曾山、各官舎平壤、元山、城津各益濟寮増築其他ノタメ増
事務所 //	45,916	3,782	南鐵線買収ニ依ル増ノ外、本局廳舎増築、元山鐵道、平壤建設各事務所新築其他ノタメ増
倉庫 //	47,193	1,830	釜山、元山所在一部倉庫ノ他種建物ヘノ移轉模範替等ニ依リ減アリシモ新規開業區間、南鐵線買収並ニ浦項、清津、平壤等ニ新築アリシタメ増
雜建物 //	65,870	5,470	新規開業區間、南鐵線買収ニ依ル増ノ外入室工事區詰所、大田電話交換所、鐵道博物館車輛上家其他諸詰所番所等ノ新増築ノタメ増
機械場 //	61,245	839	元山機關車庫付屬修繕場ノ撤去アリシモ京城工場鑄物工場、同自動車修繕所等ノ新増築アリシ爲増
自動車建物 //	599	599	南鐵線買収ニ依リ増
旅館 //	17,654	125	朝鮮ホテル、平壤鐵道ホテル増築ノタメ増
計 //	915,076	61,647	
用線路敷地 鐵道用地	25,060,204 16,698,828	2,009,746 938,326	} 惠山、滿浦、慶全、東海、白茂各建設線用地買収並ニ南鐵線買収ニ依ル増(本項ニ限リ建設線及滿鐵委管線ヲ含ム)
地 計 //	41,759,032	2,948,072	

以上ノ外下關所在停車場建物 917 平方米アリ

重量別軌道延長並ニ分岐部數 (廣軌)

種別	軌道延長 (軒)						分岐部(組)		
	50軒	37軒	32軒	30軒	28軒	25軒及夫レ以下	37軒	32軒	30軒
京釜線	232.158	451.962	1.399	75.647	0.452	0.119	1,184	—	271
京義線	207.110	443.222	1.301	186.205	3.133	—	513	—	460
湖南線	—	214.415	—	124.704	3.194	—	69	—	212
慶全南部線	—	64.484	—	100.689	—	—	56	—	106
慶全北部線	—	95.073	—	30.264	—	—	89	—	—
光州線	—	0.031	—	22.833	—	—	—	—	6
松麗線	—	0.454	—	205.231	—	—	8	—	146
東海南部線	—	80.043	—	1.067	—	—	42	—	—
東海北部線	—	171.071	—	—	—	—	103	—	—

京元線	—	285.431	—	5.916	—	—	257	—	11
平元西部線	—	111.250	—	1.006	—	—	78	—	—
滿浦線	—	160.105	—	11.936	—	—	132	—	—
成鏡線	—	700.792	—	22.404	0.135	—	623	—	12
惠山線	—	118.379	—	—	—	—	104	—	—
計	489.268	2,896.712	2.700	787.902	6.914	0.119	3,258	—	1,224
對前年度比較増減	75.224	128.010	△ 0.408	165.432	1.013	△ 0.166	266	△	2

外ニ滿鐵北鮮管理局ニ保修ヲ委託シタル清津工場線ニ軌道37軒7軒124米、30軒19米、分岐部37軒20組30軒1組アリ

同上 (狹軌)

種別	軌道延長 (軒)						分岐部(組)				
	37軒及30軒	17軒	15軒	14軒	12軒	10軒	30軒	17軒	15軒	14軒	10軒
東海中部線	1.277	5.781	101.931	9.624	16.119	31.447	18	124	—	—	66
价川線	0.020	—	1.829	32.575	—	—	—	—	—	—	45
白茂線	65.162	—	0.198	—	0.892	—	74	—	6	—	—
計	66.459	5.781	103.958	42.199	17.011	31.447	92	124	6	45	66
對前年度比較増減	25.947	0.048	△ 0.013	△ 0.027	0.121	△ 0.138	30	2	—	—	4

備考 「スリッパ」ハ一箇處ヲ二組ニシテ他ハ凡テ一箇處ヲ一組トシテ計上ス

枕木更換數

種別	廣軌			狹軌			
	本線	側線	計	本線	側線	計	
本年度	敷設數	5,360,288	1,047,498	6,407,786	371,684	36,291	407,975
	更換數	681,145	70,693	751,838	41,929	1,081	43,010
	敷設數一萬挺當リ更換數	1,271	675	1,173	1,128	298	1,054
對前年度比較	敷設數	447,499	80,143	527,642	19,356	4,368	23,724
	更換數	38,437	△ 17,423	21,014	△ 7,514	△ 437	△ 7,951
増減	敷設數一萬挺當リ更換數	△ 37	△ 236	△ 70	△ 275	△ 178	△ 272

道床補足數量

種別	廣軌			狹軌			
	本線	側線	計	本線	側線	計	
本年度	數量	212,667	19,285	231,952	12,406	354	12,760
	軌道一軒當リ	63.27	23.46	55.44	52.01	12.49	47.82
對前年度比較	數量	27,646	7,564	35,210	6,677	114	6,791
増減	軌道一軒當リ	2.66	8.07	3.86	25.57	2.58	23.04

橋桁ペイント塗替面積

種 別	本 年 度			對 前 年 度 比 較 增 減		
	施設總面積	塗替面積	比 率	施設總面積	塗替面積	比 率
橋 桁	225,471	76,910	34.1%	2,054	37,505	16.8%
飯 桁	769,294	66,579	8.7	47,145	19,733	3.3
工 桁	63,281	8,944	14.1	10,525	3,543	3.9
軌 條 桁	3,325	255	7.7	75	351	10.9
計	1,061,371	152,688	14.4	55,691	20,964	1.3

保 修

種 別	事 務 所	釜 山 大 田 京 城			
		釜 山	大 田	京 城	
線	平均實耗	528.387	574.323	475.040	
	費	局員給	291,561.22	390,329.78	414,461.70
		雇備勞力	86,420.95	62,347.54	104,404.54
		材請負金	244,808.25	336,833.26	349,504.56
		其他	161,092.50	177,204.45	163,569.67
額計	783,882.92	966,715.03	1,031,940.47		
路	一軒平均	551.79	679.63	872.48	
	費	局員給	163.56	108.56	219.78
		雇備勞力	463.31	586.48	735.74
		材請負金	304.88	308.54	344.33
		其他	1,483.54	1,683.21	2,172.32
額計	1,483.54	1,683.21	2,172.32		
建	線路延面積	80,531	62,852	97,029	
	費額	41,480.67	42,216.53	84,858.72	
	百平方米當り平均費額	51.51	67.17	87.46	
存	諸延面積	77,860	65,984	220,031	
	費額	74,653.31	68,925.37	348,613.03	
	百平方米當り平均費額	95.88	104.46	158.44	
電	通延長	8,998.054	9,535.899	13,362.031	
	信互長	561.287	731.641	501.919	
	線費額	63,075.69	73,462.61	113,711.00	
線路	延長一軒平均費額	7.01	7.70	8.51	

工 務 從 事 員

種 別	事 務 所	釜 山 大 田 京 城 平 壤 元 山 城 津						計
		釜 山	大 田	京 城	平 壤	元 山	城 津	
本年度末	所管實耗	550.186	720.888	475.040	678.195	491.492	468.957	3,384.758
	總人員	860	980	1,019	1,087	759	773	5,478
	一軒當り	1.56	1.36	2.15	1.60	1.54	1.65	1.62
對前年度比較増減	所管實耗	30.800	160.042	—	30.164	39.329	51.798	312.133
	總人員	82	127	30	76	81	111	507
	一軒當り	0.04	0.16	0.07	0.04	0.04	0.06	—

費

種 別	釜 山 大 田 京 城				計	對 前 年 度 比 較 增 減	
	釜 山	大 田	京 城	平 壤			
平均實耗	663.117	468.496	447.302	3,156.670	151.172		
線	局員給	475,361.00	322,742.30	259,749.09	2,154,205.09	202,533.96	
	雇備勞力	109,117.05	85,860.34	63,066.91	511,217.33	78,652.74	
	材請負金	374,168.64	299,659.00	180,804.12	1,785,777.83	142,548.04	
	其他	107,475.18	100,670.94	75,249.46	785,262.20	70,319.71	
	額計	1,066,121.87	808,932.58	578,869.58	5,236,462.45	494,054.45	
路	一軒平均	716.86	688.89	580.70	682.43	33.06	
	費	局員給	164.55	183.27	140.99	161.95	18.02
		雇備勞力	564.26	639.62	404.21	565.72	18.98
		材請負金	162.08	214.88	168.23	248.76	10.88
		其他	1,607.74	1,726.66	1,294.14	1,658.86	80.95
建	線路延面積	58,135	34,681	21,152	354,380	24,925	
	費額	38,550.20	26,658.21	24,349.82	258,114.15	39,006.48	
	百平方米當り平均費額	66.31	76.87	115.12	72.84	6.33	
存	諸延面積	83,430	49,406	63,985	560,696	36,722	
	費額	94,855.41	71,148.13	51,959.01	710,154.26	169,307.32	
	百平方米當り平均費額	113.69	144.01	81.20	126.66	23.44	
電	通延長	10,915.551	9,256.422	7,947.425	60,015.382	6,802.632	
	信互長	699.754	503.924	475.145	3,473.670	324.423	
	線費額	86,144.91	49,726.08	51,350.54	437,470.83	101,479.28	
線路	延長一軒平均費額	7.89	5.37	6.46	7.29	0.98	

種 別	事 務 所			
	釜 山	大 田	京 城	
費 路	電 延 長	129.672	151.471	106.582
	力 耳 長	44.839	58.065	41.477
	線 費 額	7,203.25	10,274.70	51,197.00
	路 延 平 均 費 額	55.55	67.83	480.35
工 作 費	製 電 線 路 延 長	—	—	163.439
	修 電 線 路 耳 長	—	—	37.498
	諸 費 額	—	—	23,514.00
費 費	延 長 一 軒 平 均 費 額	—	—	143.87

備考 1. 平均賃料トハ年度ノ中途ニ於テ開業シタル區間ニ對シ其ノ營業日數ノ割合ヲ以テ算出シタルモノナリ
 2. 本表ニハ水害應舊復舊ノ爲特ニ豫算ヲ配付シタル額並ニ水道費ヲ除ク

第七編 工 作

第一章 工 作 概 況

新製並ニ修繕物件

本年度新製物件ノ主ナルモノハ釜山工場ニ在リテハ三等寢臺車、輕三等車、無側車、狹軌無側車、京城工場ニ在リテハプレーリー型タンク機關車、職用輕油動車、二等寢臺二等車、食堂車、三等食堂車、輕三等手荷物車、輕二三等手荷物郵便車、手荷物車、家畜車、雪掻車、平壤分工場ニ在リテハ車掌車、無側車及各工場ニ於テ桁類、轉轍器、轆又其ノ他鐵道用品ヲ新製セリ。

修繕物件ニ在リテハ各工場共車輛修繕ヲ主要ナルモノトシ其ノ他各種鐵道用品ノ修繕ヲ施行セリ。

局外品ニシテ受託施行シタルモノハ各工場共鮮内私設鐵道車輛ノ修繕及同部分品ノ裝修ヲ主ナルモノトシ特ニ清津工場ニ於テハ北鮮鐵道管理局線ニ使用セル車輛及其ノ部分品ヲ殆ンド一手ニ引受ケ施行セリ。

第二章 工 場 設 備

年度中竣成セル建物ノ主要ナルモノハ京城工場ニ於テ自動車修繕場ノ新築（鐵骨木造造平家建石綿並板葺）鑄物職場増築（鐵骨煉瓦造平家建屋根コンクリート造ルーフィング貼）等ナリ。

年度中ニ於ケル各工場機械設備ノ増加ハ釜山工場ニ於テハ旋盤、タレーレットレース、フリクシヨンドリル、電動錐揉機械、電弧熔接機、彈機彈力試驗機械、研磨機械等京城工場ニ於テハ旋盤、

平 壤	元 山	城 津	計	對 前 年 度 比 較 增 減
158.387	87.447	43.372	676.931	98.320
58.296	31.753	14.833	249.263	34.880
10,217.43	3,615.07	1,626.09	84,133.54	35,329.51
64.51	41.34	37.49	124.29	39.94
45.636	—	—	209.075	11.085
10.750	—	—	48.248	2.624
5,216.08	—	—	23,730.08	△ 2,410.17
114.30	—	—	137.42	△ 19.86

電動ラヂアルドリル、強力旋盤、ホーリングアンドターニング機、バンドソーミル、萬能研磨機械等ナリ。

第三章 工 場 生 産 額 及 勞 働 賃 金

工 場 生 産 額

本年度釜山・京城・平壤及清津ノ四工場ニ於ケル生産總額 7,027,376.64 内工作費 2,342,891.4 (33)、材料費 4,597,952.07(66)、直屬費 86,533.11(1)ニシテ之ヲ前年度ト比較スルニ總額ニ於テ 576,031.30 ノ増ニシテ内譯ニ於テハ工作費 163,057.61 材料費 396,108.76 工事直屬費 16,866.93 ノ増加ヲ示セリ、而シテ生産總額ノ作業種別ニ依ル内譯ハ車輛製作 1,302,854.47(19)、車輛改良 273,090.32(4) 車輛修繕 4,371,848.91(62) 該種工事 1,079,582.94(15)ナリ。

勞 働 賃 金

本年度中四工場ニ於ケル技工（機械運轉手及常備手ヲ含ム）ノ賃金ハ總額 1,327,799.91ニシテ之ヲ前年度ニ比較スルニ 133,094.62ヲ増加セリ、而シテ一日一人當平均賃金所得ハ内地人 2.70 朝鮮人 1.81 平均 2.14ニ當レリ。

第四章 工 場 使 用 物 品

本年度中四工場ニ於ケル工場使用物品ヲ工事別ニ見ルニ車輛製作及改良 1,077,139.27、車輛修繕 2,756,928.86、諸種工事 780,566.60、間接物品 320,344.95、計 4,934,979.68ニシテ之ヲ前年度ニ比較シ 437,380.30ヲ増加セリ、而シテ之ヲ品種別ヨリ觀ルトキハ地金 894,786.42、木材 724,436.87、車輛用品 1,658,679.95、塗料類 162,106.35、藥品 74,840.13、電氣用品 265,263.35、其ノ他物品 1,154,866.61ナリ。

第八編 電 氣

第一章 電 力

釜 山

釜山工場所要電力ハ朝鮮瓦斯電氣株式會社ヨリ供給ヲ受ケ工場構内動力室ニテ變電使用ス、電力設備ハ交流電動機ノ時電弧熔接用、蓄電池充電用、周波數變換用トシテ發電機ヲ、又其ノ他交流電弧熔接機及鋸加熱機械等ヲ設備ス

又釜山檢車區ニハ直流發電機及交流電動機ヲ、草梁機關區ニハ交流電動機ヲ設備シ孰レモ朝鮮瓦斯電氣株式會社ヨリ受電ス。

京城及其ノ附近

京城工場動力、電燈及京城、龍山兩驛構内廳舎、官舎其ノ他ノ動力、電燈用電力ハ京城電氣株式會社ヨリ受電シ工場構内變電所ニ於テ降壓シ尙一部ハ周波數變更ノ上使用ス、京城工場ニ於ケル電氣設備ハ交流電動機蓄電池充電用、電弧熔接用、及電鍍其ノ他用直流發電機周波數變換用交流發電機交流電弧熔接機、鋸加熱機械及電氣爐等ナリ。尙年度末ニ於ケル工場構内作業照明用電燈設備ハ燈數1,340ナリ。

又京城工場外ニ於ケル動力ハ工務課電機修繕場、京城及龍山驛、養成所實驗室、病院、投産部經理倉庫等ニ使用シ、電燈ハ京城及龍山驛、廳舎、官舎其ノ他全部ニテ燈數10,656ナリ。

此ノ外京城檢車區ニ於テ直流發電機及交流電動機ヲ設備シ龍山機關區ニ於テハ交流電動機ヲ設備ス。

朝鮮ホテルハ京城電氣株式會社ヨリ別途受電シ同所内電燈及動力ニ使用ス、

平 壤

平壤分工場ニ於テハ平壤府ヨリ電力ノ供給ヲ受ケ之ヲ構内動力室ニ於テ降壓シ工場動力並ニ電燈ニ使用ス。平壤分工場ニ於ケル電氣設備ハ交流電動機ノ外蓄電池充電用トシテ直流發電機交流電弧熔接機等ヲ設備ス、又工場構内作業照明用電燈設備ハ燈數146ナリ。

此ノ外工場以外ニ於ケル廳舎、官舎、檢車區、機關區等ニ電力ヲ使用シ平壤檢車區及平壤機關區ニ各電動機ヲ設備シ又廳舎、官舎其ノ他全部ノ電燈ハ2,358ニシテ何レモ平壤府ヨリ受電ス。

清 津

清津工場ニ於テハ朝鮮電氣株式會社ヨリ電力ノ供給ヲ受ケ之ヲ構内動力室ニテ降壓シ工場動力ニ使用ス、同工場ニ於ケル電氣設備ハ電動機直流發電機交流電弧熔接機等ヲ設備ス。

其ノ他ノ地方ニ於ケル年度末現在電氣設備ハ次ノ如シ。

電 氣 設 備

受 電 個 所	電 動 機	發 電 機	電 力 供 給 會 社 名	記 事
	設 備 數	設 備 數		
大邱機關區	3	—	大興電氣株式會社	
大田機關區	4	1	大田電氣株式會社	
大田檢車區	5	—	〃	
大田給水所	1	—	〃	
慶州機關區	—	1	自家發電	
洛東江給水所	1	—	朝鮮瓦斯電氣株式會社	
木浦機關區	1	—	木浦電燈株式會社	
裡里機關區	1	—	南朝鮮電氣株式會社	
新幕機關區	1	—	開城電氣株式會社	
新幕配給所	1	—	〃	
福溪機關區	1	—	金剛山電氣鐵道株式會社	
成興機關區	1	—	大興電氣株式會社	
城津機關區	1	—	城津電氣株式會社	
元山機關區	1	—	元山水力電氣株式會社	
清道給水所	1	—	大興電氣株式會社	
鎮南浦採炭所	31	—	鎮南浦電氣株式會社	
外金剛驛	1	—	金剛山電氣鐵道株式會社	
外金剛山莊	1	—	〃	
新義州鐵道會館	2	—	新義州電氣株式會社	
定州機關區	1	—	〃	昭和10年4月28日契約

第二章 通 信・信 號

通 信

電報取扱所 本年度末ニ於ケル電信取扱所數ハ431、内公衆電報取扱所83ニシテ前年度ニ比シ前者ハ43、後者ハ3ヲ何レモ増加シ、其ノ種別ハ電信機及電話機併置ノ驛115、電話機ノミニ依ルモノ316ナリ。

電報通報 鐵道電報8,879,224、公衆電報661,015、合計9,540,239ニシテ前年度ニ比シ8.4%ヲ増加シ、又一取扱驛ニ於ケル一日平均通數ハ鐵道電報65、公衆電報22ニシテ前年度

＝比シ前者ハ 6%ヲ減少シ、後者ハ増減ナク、取扱總通數ノ割合ハ發信 33%、著信 38%、中繼信 29%ニシテ前年度ニ比シ發信ハ 0.4%ヲ減少シ、著信ハ 0.9%ヲ増加、中繼信ハ 0.5%ヲ減少セリ。
尙此ノ外受付通數 2,277,593、謄寫通數 547,462、正寫通數 393,713、電線託送 5,272ニシテ

種別		電 報									
		鐵道電報取扱所數				公取 來扱 電所 報數	鐵 道 電 報				計
		電 機 件 信 話 置	電 信 機	電 話 機	計		發 信	着 信	中 繼 信	計	
京 釜 線	24	—	38	62	18	947,954	1,496,462	1,208,546	3,652,962		
京 義 線	25	—	54	79	20	574,687	632,893	219,970	1,427,550		
湖 南 線	9	—	22	31	9	170,388	110,368	135,571	416,227		
京 元 線	9	—	17	26	4	206,729	522,589	105,664	834,982		
咸 鏡 線	13	—	63	76	20	439,467	586,281	383,055	1,408,803		
慶 全 線	8	—	30	38	5	163,052	72,420	112,179	347,651		
東 海 線	10	—	40	50	2	164,612	58,400	124,075	347,087		
平 元 線	3	—	7	10	1	52,166	26,354	17,709	96,229		
滿 浦 線	5	—	16	21	—	82,970	28,440	48,778	160,188		
白 茂 線	—	—	6	6	—	16,075	7,530	—	23,605		
惠 山 線	3	—	9	12	4	51,147	29,121	50,097	130,365		
松 麗 線	6	—	14	20	—	9,064	11,186	13,325	33,575		
合 計	115	—	316	431	83	2,878,211	3,582,044	2,418,969	8,879,224		
前年度比較増減	13	—	30	43	3	129,153	364,684	175,498	719,335		

公衆電報取扱料金表

(△ハ減)

種 別	本 年 度	前 年 度 比 較 増 減
電 報 料	27,594,545	1,685,340
配 達 料	1,978,160	△ 379,600
受 取 及 正 寫 料	14,200	△ 2,800
合 計	29,586,905	—

前年度ニ比シ受付 6%謄寫 2%正寫 15%ヲ何レモ増加シ電線託送ハ 7%ヲ減少セリ。

公衆電報取扱料金 本年度ニ於ケル公衆電報取扱料金總額ハ 29,586.90ニシテ 一取扱所平均 356.46.8ニ當リ前年度ニ比シ前者ハ 5%後者ハ 0.8%ヲ何レモ増加セリ。

通 數 表

(△ハ減)

公 衆 電 報				合 計	受 付	謄 寫	正 寫	電 線 託 送
發 信	着 信	中 繼 信	計					
200,926	21,807	160,128	382,861	4,035,823	716,845	370,015	210,127	2,716
43,645	10,718	45,582	99,945	1,527,495	465,493	78,292	73,849	1,770
15,090	2,293	14,364	31,747	447,974	139,213	3,204	4,348	668
10,987	1,827	27,446	40,260	875,242	150,606	30,192	46,495	80
23,738	11,680	45,148	80,566	1,489,369	336,639	51,559	50,095	—
4,409	1,569	1,904	7,882	335,533	141,586	3,299	1,719	—
898	430	—	1,328	348,415	145,873	4,271	1,438	38
162	162	—	324	96,553	42,321	771	259	—
—	—	—	—	160,188	67,871	1,459	191	—
489	434	—	923	24,528	16,480	—	—	—
7,197	6,283	1,470	14,950	145,315	48,388	3,125	4,896	—
212	17	—	229	33,804	6,278	1,275	296	—
307,753	57,220	296,042	661,015	9,540,239	2,277,593	547,462	393,713	5,272
31,452	2,373	△ 10,000	23,825	743,160	136,149	106,042	49,943	△ 375

通 信 及 信 號 回 線

年度末ニ於ケル回線ハ電信回線 42、電話回線（中繼線、交換線、司令電話線、交換加入電話線、區間電話線、保線電話線、保線構内電話線、構内電話線等）2,562、信號回線（反應線、聯動線、電鈴線、時報線、閉塞線等）704 回線ニシテ前年度ニ比シ電信回線 3、電話回線 309、信號回線 42ヲ孰レモ増加セリ。

其ノ内譯下ノ如シ

通 信

種 別	單位	單 獨 回 線				計
		單 線 式	複 線 式	三 線 式	共 同 歸 線 式	
電 信 回 線	回線數	33	3	—	—	36
	總延長	8,590,480	16,129	—	—	8,606,609
中 繼 線	回線數	—	159	—	—	159
	總延長	—	11,830,963	—	—	11,830,963
電 交 換 線	回線數	—	22	—	—	22
	總延長	—	5,195,029	—	—	5,195,029
司 令 電 話 線	回線數	—	6	—	—	6
	總延長	—	1,906,649	—	—	1,906,649
話 區 間 電 話 線	回線數	8	110	—	—	118
	總延長	78,712	2,550,864	—	—	2,629,576
保 線 電 話 線	回線數	6	74	—	—	80
	總延長	16,310	5,380,535	—	—	5,396,845
回 保 線 構 內 電 話 線	回線數	7	78	—	—	85
	總延長	2,747	53,000	—	—	55,747
構 內 電 話 線	回線數	—	136	—	—	136
	總延長	—	149,956	—	—	149,956
線 交 換 加 入 電 話 線	回線數	—	1,845	—	—	1,845
	總延長	—	1,059,433	—	—	1,059,433
計	回線數	21	2,430	—	—	2,451
	總延長	97,769	28,126,429	—	—	28,224,198
信 閉 塞 線	回線數	288	43	—	—	331
	總延長	2,829,778	539,971	—	—	3,369,749
反 應 線	回線數	—	115	9	2	126
	總延長	—	167,243	15,543	2,484	185,270
時 報 線	回線數	—	24	—	—	24
	總延長	—	34,418	—	—	34,418
回 聯 動 線	回線數	—	—	—	15	15
	總延長	—	—	—	63,984	63,984

回 線 表

電 話 二 重 法 利 用 回 線	搬 送 式 重 疊 法 利 用 回 線	電 信 電 話 雙 信 法 利 用 回 線	電 話 二 重 法 施 行 回 線	搬 送 式 重 疊 法 施 行 回 線	電 信 電 話 雙 信 法 施 行 回 線	合 計
複 線 式	複 線 式	複 線 式	幻 影	幻 影		
—	—	—	—	—	6	42
—	—	—	—	—	147,415	8,754,024
9	—	7	10	—	—	185
1,672,376	—	564,015	—	—	—	14,067,354
43	8	3	21	9	—	106
4,049,046	4,096,317	492,300	—	—	—	23,832,692
—	—	—	—	—	—	6
—	—	—	—	—	—	1,906,609
—	—	1	—	—	—	119
—	—	41,516	—	—	—	2,671,092
—	—	—	—	—	—	80
—	—	—	—	—	—	5,396,845
—	—	—	—	—	—	85
—	—	—	—	—	—	55,747
—	—	—	—	—	—	136
—	—	—	—	—	—	149,956
—	—	—	—	—	—	1,845
—	—	—	—	—	—	1,059,433
52	8	11	—	—	—	2,522
15,721,422	4,096,317	1,097,891	—	—	—	49,139,768
—	—	—	—	—	—	331
—	—	—	—	—	—	3,369,749
—	—	—	—	—	—	126
—	—	—	—	—	—	185,270
—	—	—	—	—	—	24
—	—	—	—	—	—	34,418
—	—	—	—	—	—	15
—	—	—	—	—	—	63,984

種 別	單位	獨 回 線				計
		單 線 式	複 線 式	三 線 式	共 同 歸 線 式	
電 鈴 線	回線數	—	171	37	—	208
	總延長	—	68,033	20,721	—	88,754
線 計	回線數	288	353	46	17	704
	總延長	2,829,778	809,665	36,264	66,468	3,742,175
合 計	回線數	342	2,786	46	17	3,191
	總延長	11,518,027	28,952,223	36,264	66,468	40,572,982

通 信 上 ノ 施 設

一 般 狀 況

本年度通信施設ノ主ナルモノハ南朝鮮鐵道株式會社所屬鐵道買収ニ伴ヒ同社ヨリ引繼ギタル各電信、電話、信號線及東海南部線、東海北部線、滿浦線、惠山線各線ノ營業開始及建設線ノ工事進捗ニ伴ヒ通信回線ノ新設、變更、構成替等ヲナシタル外龍山・清津間ヲ初メ各所ニ多數ノ中繼線及電話線ノ新設、變更ヲナシテ通信上ノ萬全ヲ期シタリ。

月 別 概 況

四月 咸鏡線本宮簡易驛ヲ普通驛ニ昇格ニ伴ヒ在來咸興・興南閉塞線ヲ咸興・本宮、本宮・興南ノ二閉塞線ニ分テリ。

五月 范浦驛營業開始ニ伴ヒ同驛ニ電話機ヲ施設セリ、其ノ他各所ノ保線電話線、構内電話線等ノ接續變更二三アリ。

六月 當局電線路ニ添架中ノ京畿道陵谷治水工事用電話線ヲ無償讓受ケタルヲ以テ之ニ水色及陵谷驛ヲ接續シテ通話ノ緩和ヲ圖レリ。

七月 東海南部線、慶全北部線建設工事進捗ニ伴ヒ電話線四回線新設シ其ノ他接續箇所變更等ヲナセリ、又龍山・京城間電信一回線ヲ新設シ永登浦ニハ南北信號室新設ニ伴ヒ構内聯動線電話線及電鈴線各一回線新設セリ。

八月 惠山線白岩・鳳頭里間營業開始ニ伴ヒ電話回線ニアリテハ白岩・鳳頭里間ニ交換線二回線、保線電話一回線、閉塞線三回線ヲ夫々新設シ又滿浦線泉洞・球場驛ニ構内電話各一回線及白岩ニ保線構内電話一回線新設セリ。

九月 滿浦線建設工事進捗ニ伴ヒ電話線ヲ五回線新設シ之ヲ別河迄延長セリ、尙大田・江景、裡里・江景間ニ交換線各一回線、裡里・群山、群山・群山港、晋州・加佐里間ニ電話線各一回線、群山、延岩ニ構内電話各一回線ヲ夫々新設セリ。

電話二重法 利用回線	搬送式重疊法 利用回線	電信電話雙信 法利用回線	電話二重法 施行回線	搬送式重疊法 施行回線	電信電話雙信 法施行回線	合 計
複 線 式	複 線 式	複 線 式	幻 影	幻 影		
—	—	—	—	—	—	208
—	—	—	—	—	—	88,754
—	—	—	—	—	—	704
—	—	—	—	—	—	3,742,175
52	8	11	31	9	6	3,308
15,721,422	4,096,317	1,097,831	—	—	147,415	61,635,967

十月 滿浦線熙川・价古間營業開始ニ伴ヒ電信線ヲ价古迄延長シ閉塞線、電話中繼線、交換線、構内及保線電話線等ノ新設、變更ヲナセリ、又惠山・白岩・滿浦各線ノ建設工事進捗ニ伴ヒ電話線ノ新設、廢止及接續箇所變更ヲナセリ。

十一月 東海北部線高城・杆城間營業開始ニ伴ヒ電信線ヲ杆城迄延長スルト共ニ閉塞線三回線中繼線一回線、交換線三回線、保線電話一回線、構内電話線二回線ヲ夫々新設シ、其ノ他各回線ノ延長及接續箇所變更等ヲナシタル外平元東部線ノ建設工事用トシテ電話線ヲ二回線新設シ又吉州構内ニ時報線、咸興・興南間ニ交換線ヲ夫々一回線新設セリ。

十二月 通話ノ緩和ヲ圖ル爲龍山・清津間ニ中繼線ヲ新設シタル外、元山・城津間ニ二回線、新北青、城津間ニ一回線、城津・白岩間ニ一回線、龍山・新幕間ニ二回線夫々中繼線ヲ新設シ之ニ伴ヒ最寄各回線ノ構成替ヲナシ通話ノ圓滑ヲ期セリ。又滿浦線ニハ建設工事用トシテ電話線ヲ二回線、馬山・晋州間ニハ電信線一回線ヲ夫々新設セリ。尙東海南部線佐川・蔚山間營業開始ニ伴ヒ釜山・蔚山間ニ電信一回線、佐川・蔚山間ニ閉塞線三回線、電話線及保線電話線各一回線新設シタル外各交換線、電話線ノ接續箇所變更等二三アリ。其ノ他大邱・琴湖江間ニハ工事用電話線、平壤・中坪ニハ夫々反應線一回線新設セリ。其ノ他各所ノ電信及電話回線ノ接續箇所變更等ナシタルモノ尠カラズ。

一月 東海北部線建設工事用トシテ電話線二回線新設シ元山ヨリノ交換線ヲ天津迄延長セリ新義州・光城橋梁間ニ電話線一回線、京城ニ出發標識反應線一回線、外金剛ニ構内電鈴一回線ヲ夫々新設セリ。

二月 滿浦線、惠山線及東海北部線建設工事進捗ニ伴ヒ各建設用電話線ノ接續箇所變更及廢止ヲナセリ。其ノ他各所電話回線ノ變更ナシタルモノ尠カラズ。

三月 南朝鮮鐵道株式會社所屬鐵道買収ニ伴ヒ電信線一回線、電話中繼線二回線、交換線八回線、閉塞線一七回線、反應線四回線、構内電鈴六回線ヲ引繼ヲ受ケタリ。又龍山・開城間ノ通話ノ緩和ヲ圖ル爲該區間ニ中繼線二回線ヲ新設シタル外大同江・平壤、平壤・西平壤間ニ電

話電鈴各一回線、鴨綠江南北衛兵所間及南北衛兵所哨舍間=電話電鈴各一回線、枝川・宣川・南市=反應線、載德・會山・歙谷=構内電話線各一回線夫々新設セリ。其ノ他各線=互リ交換線、電話線、電鈴線ノ接續箇所變更等幾多アリ。

以上ノ外年度中ヲ通ジ業務進展=伴ヒ電信、電話及信號回線 新設構成替、回線變更、接續箇所變更等ヲナシタルモノ尠カラズ。

第三章 電線路及機器

電線路及機器ニ關スル施設

年度中ニ於ケル電氣施設物下表ノ通りニシテ前年度ニ比シ増加セルハ建設工事電話線ノ新設、新線營業開始竝ニ電線路ノ改修、既設線ニ於ケル業務ノ進展等ニ依ルモノトス。

電線路及主要機器

種 別	施 設 數	前 年 度 比 較 増 減
通 信 線 路 互 長	3,880.911 [㊦]	380.639 [㊦]
通 信 線 延 長	61,588.299	6,848.343
電 力 線 路 互 長	332.155	0.507
電 力 線 延 長	995.518	130.629
電 信 機	207 [㊦]	20 [㊦]
自 働 報 時 機	5 [㊦]	—
電 信 監 督 機	1 [㊦]	—
電 話 交 換 機	60 [㊦]	15 [㊦]
搬 送 式 電 話 裝 置	10 [㊦]	—
閉 塞 機	661 [㊦]	56 [㊦]
電 氣 信 號 反 應 器	112 [㊦]	6 [㊦]
電 氣 信 號 機	3 [㊦]	—
電 話 機	5,548 [㊦]	(携帶電話機ヲ除ク) 738 [㊦]
踏 切 警 報 裝 置	2 [㊦]	—
電 鈴	837 [㊦]	35 [㊦]
電 動 發 電 機	9 [㊦]	1 [㊦]
電 動 機	101 [㊦]	14 [㊦]
變 壓 器	331 [㊦]	2 [㊦]
電 氣 時 計	240 [㊦]	28 [㊦]

備考 電力線=ハ工場溝内ノ分ヲ含ム

建設費ニ依ル工事概要

1. 東海線南部

- (1) 機張簡易驛ヲ普通驛ニ變更=伴ヒ同驛ニ閉塞機ヲ取付ケタリ。
- (2) 佐川・蔚山間營業開始=伴ヒ釜山・南倉間 2.9[㊦] 2條、釜山・海雲臺 2.9[㊦] 2條、釜山鎮・海雲臺間 4.5[㊦] 1條、佐川・蔚山間 2.9[㊦] 4條ヲ架設シテ各電話線及閉塞線ヲ構成シ豫備線ヲ以テ電信線ヲ蔚山迄延長シタル外各所=多數ノ建設用電話機ヲ新設セリ。

2. 慶全線北部

建設工事用電話線ノ接續箇所變更構成替ヲナシタル外各所=新設セリ。

3. 滿浦線

建設工事進捗=伴ヒ平壤・順川間 2.9[㊦] 2條、順川・球場間 3.5[㊦] 2條、琉場・熙川間 2.9[㊦] 2條ヲ架設シテ各中繼線電話線ノ新設變更構成替電話機新設等ヲナセリ。

4. 平元線東部

建設工事進捗=伴ヒ城内・館坪間 4.5[㊦] 2條乃至 4條ヲ架設シ各電話線ノ新設竝ニ接續箇所變更ヲナセリ。

5. 蕙山線及白茂線

建設工事進捗=伴ヒ各所=多數ノ電話機ヲ新設スルト共ニ各電話線ノ接續箇所變更竝ニ構成替等ヲナセリ。

6. 東海北部線

通話ノ幅濶ヲ緩和スル爲高城=磁石式單式交換機一臺ヲ新設シ最寄電話回線ヲ之ニ收容シタル外建設工事進捗=伴ヒ各電話線ノ新設構成替等ヲナセリ。

改良費ニ依ル工事概要

1. 東方・入室間= 4.5[㊦] 1條、入室・蔚山間= 4.5[㊦] 3條、蔚山・慶州間= 2.9[㊦] 3.5[㊦] 4.5[㊦] ヲ 4 條乃至 8 條架設シ在來線路ヲ改良スルト共ニ各電話線ヲ構成シ通話ノ圓滑ヲ期セリ。
2. 枝川驛ノ通信機器及反應線ヲ新設セリ。
3. 大田電話交換設備ヲ改良シ以テ通話ノ萬全ヲ期シタル外大田・江景間= 2.9[㊦] 2條ヲ架設シテ通話ノ緩和ヲ圖レリ。
4. 大田驛ニ聯動裝置ノ電氣設備ヲ施行シ運轉ノ安全ヲ期セリ。
5. 龍山・開城、龍山・新幕間= 2.9[㊦] 4.5[㊦] 夫々 2 條宛ヲ架設シテ中繼線及電話線ヲ構成シ尙龍山ニ搬送式電話裝置ヲ増設シテ龍山・城津、龍山・清津間ハ通話ノ緩和ヲ圖レリ。
6. 大同江・平壤間ノ線路ヲ改良シ架空ケーブルヲ架設シテ各電話線及電鈴線ヲ構成シタル外新義州ノ電話交換設備ヲ一部改良セリ。
7. 龍山・福溪、福溪・新北青、元山・新北青、俗厚・輪城、俗厚・城津、城津・吉州、新北青・

曾山間=夫々 4.0 3.5 2.9 線 2 條乃至 4 條ヲ架設シ龍山・清津中繼線各電話線ノ新設、構成替等ヲナシ大イニ通話ノ緩和ヲ圖レリ。

補充費ニ依ル工事概要

1. 馬山・晋州間 = 4.5 1 條ヲ架設シ電信線一回線ヲ新設セリ。
2. 裡里・群山港間 = 4.5 2 條ヲ架設シ交換線及電話線各一回線構成セリ。
3. 龍山・京城間 = 2.9 2 條ヲ架設シ電信線一回線新設セリ。
4. 京城中央電話局自働式交換實施ニ伴ヒ朝鮮ホテル交換機ヲ對自働式トセリ。
5. 龍山及城津交換所ニ搬送電話装置ノ増設ヲナシ龍山・城津中繼線ヲ構成セリ。
6. 咸興・興南間 = 2.9 2 條ヲ架設シ咸興・興南交換線ヲ新設セリ。
7. 其他各所ニ多數ノ電話機、電氣時計等ノ取付ヲナセリ。

保存費ニ依ル工事概要

保存費ニ依ル工事トシテハ平壤管内ノ水害應急並復舊工事ヲナシタル外常例ニ依リ全線ニ亘ル腐朽電柱ノ建替、鎊線張替及碼子掃除等電線路整備ニ必要ナル諸工事ヲ施行セリ。

第四章 障碍及電機修繕

障 碍

本年度ニ於ケル電氣通信及信號回線ノ障碍ハ全線ヲ通ジ 919 回其ノ不通延時分 4,015.22、一回當平均時分ハ 4.22 = シテ前年度ニ比シ回数ニ於テ 334 ノ増、不通延時分ニ於テ 460.9 ノ減、一回當平均時分ニ於テ 3.17 ノ減ヲ示シタリ、之ガ主因ハ風雨、落雷、氣溫降下、盜難其他ノ天災障碍ニ依ルモノニシテ年度中特記スベキ事項ヲ掲グレバ次ノ如シ。

四月上旬 京元・咸鏡線方面ニ降雨多ク電信線ノ漏電多量障碍續出ス、其ノ回数 8、延時分 102.50 間不通トナレリ。

五月 裡里・松汀里中繼一番線ハ裡里・芙蓉間及金堤・新泰仁間、裡里・木浦中繼線、金堤・新泰仁間ニ於テ何レモ電線盜難ニ罹リ其ノ事故回数 8、延時分 22.27、一回當平均 2.48 間不通トナレリ。

六月 電線盜難事故頻發シ裡里・木浦中繼線ハ金堤・新泰仁間、松汀里・羅州間及任城里・木浦間、裡里・松汀里中繼一番線ハ金堤・新泰仁間、松汀里・木浦中繼一番線ハ松汀里・羅州間及任城里・木浦間、大田・釜山中繼一番線、大田・大邱中繼線、釜山・金泉司令電話線及龍山・釜山中繼一番線ハ大邱・新洞間ニ於テ何レモ電線盜難ニ罹リ其ノ事故回数 19、延時分 166.30、一回當平均 8.46 間不通トナレリ。

七月 長距離電信線（龍山・安東、龍山・吉州、龍山・清津、龍山・釜山、京城・釜山各電信線等）ノ漏電多量障碍多ク延時分 90.25 不通トナレリ。又雷ノ爲龍山・平壤中繼 1.3.4.5

番線各 8 間宛不通トナレリ。

八月 龜浦・勿禁間川越ニ於テ地盤弛緩シ電柱傾斜セル爲大田・釜山中繼 1.2 番線釜山・馬山中繼 1.3 番線ハ延時分 23.20 不通トナレリ。

龍山・釜山中繼 1 番線ハ釜山鎮・沙上間及龜浦・勿禁間、釜山・金泉司令電話線ハ龜浦・勿禁間、釜山・馬山中繼 1.2 番線ハ釜山鎮・沙上間ニ於テ何レモ電線盜難ニ罹リ其ノ事故回数 7、延時分 25.30、一回當平均 3.39 間不通トナレリ。

又成歡驛附近ニ落雷アリ、電信回線 2 線、中繼線 5 線、通票閉塞機回線 2 線、被害ヲ受ケ不通延時分 37.50 ヲ算セリ。

十月 天安・成歡間逕信局線ガ當局線横斷個所ニ於テ逕信局線ノ腕木傾斜及電柱建替工事ノ爲被害ヲ受ケ京城・釜山電信線ハ 3.40 不通トナレリ。又咸興・本宮間ノ横斷個所ニ於テ逕信局線ノ碼子破損シ電線垂下シテ當局線ニ接觸龍山・吉州電信線ハ 17.50 不通トナレリ。

烈風ノ爲吉州・金松間第 66 號柱傾斜、第 67 號柱腐蝕シ居タル爲倒壊シ電信線、中繼線、通票閉塞機回線延時分 56.5 不通トナレリ。

十一月 咸南合同電氣株式會社元山・高山間送電線ノ釋王寺閉閉器不良トナリ、之ガ誘導ノ爲龍山・元山及福溪・元山間中繼線 7 線不通トナリ、其ノ障碍延時分 91.00 ヲ算セリ。

十二月 全線ヲ通ジ氣溫急降ニ依リ線疵接觸口碼子摺セン個所其他ヨリノ斷線障碍續出シ其ノ回数 29 延時分 186.45、一回當平均 6.26 間不通トナリ、又龍山・清津中繼線ハ清涼里・倉洞間ニ於テ電線盜難ニ罹リ 6.10 間不通トナレリ。

一月 大田電氣株式會社忠州送電線斷線接地シ高壓誘導妨害ノ爲、京城・釜山及龍山・大田 1.2.3 番各電信線、龍山・釜山中繼 1 番線及龍山・大田中繼 1、2、3、4、5 番線不通トナル其ノ延時分ハ 10.00 間ナリ。

龍山・清津中繼線ハ清涼里・倉洞間、裡里・木浦中繼線及松汀里・木浦中繼 1 番線ハ三郷・任城里間及鶴松・夢灘間、元山・城津中繼 1 番線ハ咸南興上・咸興間ニ於テ何レモ電線盜難ニ罹リ其ノ回数 7、延時分 58.40、一回當平均 8.23 間不通トナレリ。

又寒氣ノ爲電線ノ斷線障碍モ多ク其ノ回数ハ 35、延時分 251.13、一回當平均 7.11 ナリ。

二月 釜山・沙上間及釜山鎮・東萊間ニ於テ逕信局線斷線シ當局線ニ引懸リ當局電信線 7 線、延時分 9.50 間通信不能トナレリ。

寒氣ニヨル斷線障碍ハ先月ニ比シ幾分減少シ、不通延時分ハ 96.5 ナリ。

三月 南朝鮮電氣株式會社送電線裡里・臨陂間ニテ斷線接地シ又咸南合同電氣株式會社送電線電柱高原・永興間ニテ傾斜樹木ニ接觸セン爲中繼線 7 線、延時分 23.30 間不通トナレリ。

電機修繕作業

電機修繕作業ノ主ナルモノハ閉塞機改修、電信、電話機ノ修理、強電流機器ノ修理、其ノ他食器及醫療器類ノ鍍金、又ハ修理等ニシテ年度末従事員數^人61ニシテ前年度ニ比シ^人3ヲ増加セリ。

第五章 照 明

建造物照明

年度末現在驛481驛(安東驛ヲ含ム)中電燈設備ヲ有スルモノ273驛ニシテ前年度ニ比シ26驛ヲ増加シ廳舎、驛舎、官舎、其ノ他ノ建造物ニ對スル當局施設取付燈數40,986^盞(建設線ヲ含マズ)ニシテ前年度ニ比シ^盞5,273ヲ増加セリ。而シテ當局施設取付燈數ノ増加ハ南朝鮮鐵道線ノ買収、建造物ノ新築、改築、増築並ニ新線營業開始ニ伴フモノニシテ其ノ照明ハ漸次高能率ノ器具ニヨリテ照度及配光ヲ改善シ又使用電力ノ節約ヲ圖リツ、アリ。

各鐵道事務所別主ナル工事概要ハ下記ノ通りトス。

釜山鐵道事務所管内

1. 大邱驛舎増築並ニ模様替ニ伴ヒ電燈ノ増設、移設ヲナスト共ニ晝夜回線ノ接續變更ヲナシ業務上ノ便利、照明改良、電力ノ節約ニ努メタリ。
2. 佐川・蔚山間營業開始ニ伴ヒ蔚山構内ニ屋内外燈、轉轍標識燈、信號機燈ヲ燈火管制式ニヨリテ新增設ヲナセリ。
3. 水營驛ニ電燈ヲ新設セリ。
4. 龜浦驛本屋改築ニ伴ヒ電燈増設ヲナシ照明改良ヲナセリ。

大田鐵道事務所管内

1. 大田二號貨物上屋増築ニ伴ヒ電燈増設ヲナシ分電兩ヲ新設シテ電線接續變更ヲナシ、照明ノ利便、電力ノ節約ヲ圖レリ。
2. 大田電話交換所新設ニ伴ヒ電燈ノ新設ヲナセリ。
3. 大田構内第一種聯動裝置新設ニ伴ヒ信號室ニ電燈ヲ新設シ信號機燈ノ増設ヲシテ列車運轉保安上ニ資セリ。
4. 地境驛本屋改築ニ伴ヒ同構内會社電燈設備ヲ買収シ本屋ニ電燈新設ヲナシ構内ヲ燈火管制式配線トシテ照明改良ヲナスト共ニ電力ノ節約ヲ圖レリ。

京城鐵道事務所管内

1. 永登浦構内改良ニ伴ヒ新築驛舎ニ電燈新設ヲナシ驛前ニホールスタンドニ基ヲ建植シテ照明改良ヲナスト共ニ前年度繼續工事トシテ溢光燈用鐵塔(塔高30^米)ニ基ヲ新設シ之ニ溢光燈^盞5(1,500×2, 1,000×1, 500×2)ヲ取付ケ別ニ屋外燈、信號機燈、轉轍標識燈ヲ増設シテ照明改良及列車運轉保安上ニ資セリ。

2. 朝鮮ホテル一部模様替其ノ他ニ伴ヒテ電燈増設並ニ照明器具取替ヲナシ在來照明ノ不備ヲ一掃シ其ノ面目ヲ一新セリ。
3. 水原地下道新設ニ伴ヒ電燈新設ヲナスト共ニホーム、驛前等在來照明方法ヲ改良セリ。
4. 本局廳舎増築ニ伴ヒ電燈増設ヲナセリ。
5. 興水及倉洞驛本屋改築ニ伴ヒ在來會社電燈設備ヲ買収シ新築驛舎ニ電燈新設ヲナスト共ニ外燈増設ヲナシ燈火管制式回線ニ改良シ照明効果ヲ大ナラシメルト共ニ電力節約ニ意ヲ注ギタリ。
6. 往十里驛本屋改築ニ伴ヒ新築驛舎ニ電燈新設ヲナシ照明能率ヲ向上セシメタリ。
7. 龍山機關區石炭臺増築ニ伴ヒ電燈増設ヲナシ尙溢光燈(平面散光型 1,000×1)ヲ設備シテ照明改良ヲナシ作業能率増進ニ資セリ。
8. 龍山構内電燈線路改良ヲナシテ信號機燈轉轍標識燈ヲ晝夜間線ニト切替ナシ列車運轉保安上ニ資セリ。
9. 新幕驛乗降物増設ニ伴ヒ電線一部改良ヲナシ乗降場ニ外燈ヲ増設セリ。

平壤鐵道事務所管内

1. 平壤構内線路改良ニ伴ヒ電燈線路ノ改良ヲナスト共ニ信號機燈、轉轍標識燈並ニ屋外燈ノ増設ヲナシテ照明改良ヲナシテ列車運轉保安上ニ資セリ。
2. 富成構内ニ屋内外燈、信號機燈、轉轍標識燈ヲ新設セリ。
3. 平壤建設事務所新設ニ伴ヒ同事務所並ニ官舎ニ電燈新設セリ。
4. 郭山驛本屋改築ニ伴ヒ驛舎其他ニ屋内外燈ヲ新增設シ照明改良ヲ圖レリ。
5. 枇岷・白馬・嶺美・車第館・肅川各驛本屋改築ニ伴ヒ新設驛舎ニ電燈新設ヲナスト共ニ在來會社電燈設備ヲ買収シ屋外燈ヲ増設シ構内電燈線路改良ヲナシテ照明能率増進並ニ電力節約ニ努メタリ。
6. 鴨綠江橋梁電燈及衛兵所附屬探照燈ヲ新照明器具ト取替ヘ尙一部配線模様替ヲナシ照明能率向上ニ一段ノ進歩ヲ示セリ。
7. 鎮南浦驛及操炭場構内ニ屋外燈ヲ増設シ夜間作業ノ圓滑ヲ圖レリ。

元山鐵道事務所管内

1. 元山鐵道事務所改築ニ伴ヒ新築事務所ニ電燈新設ヲナセリ。
2. 本宮構内線路模様替ニ伴ヒ在來會社電燈設備ヲ買収シ屋内外燈ノ新增設ヲナシ構内照明ヲ改良シ電力節約ヲ圖レリ。
3. 元山局員集會所益濟寮ニ電燈増設ヲセリ。

城津鐵道事務所管内

1. 城津建設事務所設置ニ伴ヒ電燈設備ヲナセリ。

- 2. 城津四、五、六、七、八等官舎改築=伴ヒ官舎構内外燈設備並=屋内燈新設ヲナセリ。
- 3. 城津電話交換所益濟寮醫務室何レモ増築=伴ヒ屋内燈増設ヲナセリ。

列車照明

機關車

テンダー附機關車ハ全部、タンク機關車及狹軌機關車ハ其ノ一部ガ電燈裝置車ニシテ之等ニ設備セル發電機ハ直流 32、型式ハバイルナショナル式、K-2 型 500 W 及 F 型 1500 W 並ニ川崎式 500 W ニシテ「ヘツトライト」ニハ 250 W 電球ヲ使用シ機關士室其ノ他照明ニハ 10 W 電球ヲ使用セリ。

動車

動車ハ廣軌線用、狹軌線用共全部電燈裝置ヲ有シ之等ニ設備セル發電機ノ電壓ハ直流 8、15、30、形式ハストーン式、リースネビル式、ロバートボツシユ式、フオード式並ニオートライト式ニシテ電燈ハ電球 9、15、20 及 40 等ヲ使用シ年度末現在燈數 692 其ノ容量 11,196 ナリ。

客車

客車ハ區間列車ニ使用スル極メテ少數ノモノヲ除ク外、電燈裝置車ニシテ母車裝置中ニ設備セル發電機ハ直流 30、型式ハストーン式並ニストーン川崎式ニシテ電燈ハ電球 10、15、20、30、40 等使用シ年度末現在燈數 16,177 其ノ容量 328,010 ナリ。

貨車

貨車ハ廣軌線用車掌車ノ一部及雪櫃車ニ電燈裝置ヲ有シ之等ハ全部母車裝置車ニシテ年度末現在燈數 90 其ノ容量 1,210 ナリ。

第九編 經理

第一章 經理一般

營業收支 經濟界ノ活況日滿貨客ノ増加ニ伴ヒ本年度モ客貨收入累増シ歳入ハ豫算ニ比シ 493 千圓ヲ増加シ歳出ニ於テハ 3,354 千圓ノ餘利ヲ生ジ結局收支差益ニ於テ 24,481 千圓ヲ擧グルヲ得タリ。

鐵道建設及改良費 本年度豫算現額ハ 24,142 千圓ニシテ豫算ノ主旨ニ基キ北鮮地方鐵道ノ建設促進並ニ輸送力増加及列車運轉速度高進ニ伴フ線路改良ニ主力ヲ注ギタリ。即チ建設費ニアリテハ滿浦・惠山・平元・東海・慶全ノ建設、車輛ノ新造等ヲ行ヒ惠山線白岩・鳳頭間滿浦線熙川・价古間東海線高城・杆城間ノ營業ヲ開始シ 16,409 千圓ヲ支出シ、改良工事は在リテハ線路改良、停車場設備改良、車輛ノ増備改造等ヲ施行シ 7,471 千圓ヲ支出セリ。

北鮮開拓事業費 本年度豫算現額ハ 1,005 千圓ニシテ前年度ヨリ引續キ工事進捗ニ努メ 993 千圓

支出セリ。

私設鐵道補助 本年度ハ六會社ニ對シ 4,850 千圓ヲ支出セリ。

用品資金 用品資金會計ニ在リテハ資金額 2,021 千圓ニテ其ノ運轉ニ相當困難ヲ感ジタルモ極力之ガ運用ヲ敏活ニシ一般經理上支障ナキヲ得タリ。

第二章 營業收支豫算及決算並ニ損益計算

昭和十年度歳入歳出豫算額ハ歳入 89,976,883、歳出 69,343,585 ニシテ益金 20,633,298 ナリ。之ニ對スル決算額ハ歳入 90,470,458、歳出 65,988,898 ニシテ差引益金 24,481,560 トナリ、豫算ニ比シ 3,848,262 千圓ヲ増加シ前年度益金ニ對シ 2,869,090 千圓ノ増加ヲ示セリ、而シテ上記ノ益金 24,481,560 千圓ハ年度初頭總督府設置以來ノ投資額 358,032,285 千圓ニ對シ 6.8 分ニ當レリ、營業收支計算下ノ如シ。0

歳入

科目	豫算額	測定済額	収入済額	不納 缺損額	収入		豫算ニ比シ収入済額ノ差	
					未済額	増	減	
鐵道收入	89,976,883.000	90,502,788.610	90,470,458.210	296.230	32,034.170	493,575.210	—	
旅客收入	25,103,738.000	27,736,003.460	27,734,622.370	—	1,381.090	2,690,884.370	—	
貨物收入	27,627,593.000	28,958,511.210	28,958,490.100	—	21.110	1,330,897.100	—	
自動車收入	—	6,851.200	6,851.200	—	—	6,851.200	—	
小口貨物 集配收入	100,000.000	27,036.620	27,036.620	—	—	—	72,963.380	
雜收	1,863,378.000	2,172,850.990	2,142,849.050	296.230	29,705.710	279,471.050	—	
旅館收入	1,038,878.000	1,139,857.130	1,139,455.780	—	401.350	100,577.780	—	
醫院收入	128,335.000	150,032.360	150,032.360	—	—	21,697.360	—	
雜入	696,165.000	882,961.500	853,360.910	296.230	29,304.360	157,195.910	—	
北鮮 經營 委託 資金	1,328,424.000	1,328,672.910	1,328,672.910	—	—	248.910	—	
鐵道受託 工事收入	432,000.000	133,411.280	132,613.990	—	797.290	—	299,386.010	
假收入及 立替金收入	33,521,750.000	30,079,450.940	30,079,321.970	—	128.970	—	3,442,428.030	
連帶運 輸收入	13,510,250.000	10,346,473.890	10,346,473.890	—	—	—	3,163,776.110	
荷物引換 代金受入	19,229,000.000	19,099,814.290	19,099,685.320	—	128.970	—	129,314.680	
立替 金受入	782,500.000	633,162.760	633,162.760	—	—	—	149,337.240	
合計	89,976,883.000	90,502,788.610	90,470,458.210	296.230	32,034.170	493,575.210	—	
參照								
昭和九年度	84,332,353.000	83,978,569.930	83,932,333.240	104.520	46,132.170	—	400,019.760	
昭和八年度	84,767,674.000	86,324,759.370	86,206,161.490	259.050	118,338.830	1,438,487.490	—	
昭和七年度	82,474,543.000	89,107,376.700	89,009,565.130	76.270	97,735.300	—	3,464,977.870	
昭和六年度	74,846,154.000	84,087,749.996	84,052,489.136	176.500	35,084.360	—	20,793,684.864	
昭和五年度	73,418,623.000	84,756,334.140	84,640,027.840	14,684.060	101,622.240	—	18,778,595.160	

歳 出

科 目	豫 算 額	豫備金及 豫算金外 臨時支 出額	流 用 増 減(△)額	豫 定 現 額	支 出 済 額	不 用 額
鐵道作業費	69,334,543.000	—	—	69,334,543.000	65,979,857.460	3,354,685.540
俸 給	2,337,109.000	—	—	2,337,109.000	2,229,611.160	107,497.840
勅任俸給	28,028.000	—	—	28,028.000	20,159.760	7,868.240
奏任俸給	210,711.000	—	—	210,711.000	157,230.610	53,480.390
列任俸給	2,098,370.000	—	△ 2,172.860	2,096,197.140	2,050,047.930	46,149.210
休職俸給	—	—	2,172.860	2,172.860	2,172.860	—
事業費	32,532,797.000	—	—	32,532,797.000	32,491,903.520	40,893.480
總係費	523,391.000	—	31,095.300	554,486.300	554,486.300	—
保存費	7,149,437.000	—	687,453.630	7,836,890.630	7,836,890.630	—
車輛修繕費	4,599,002.000	—	370,937.760	4,969,939.760	4,939,939.760	—
汽車費	10,318,376.000	—	△ 1,466,191.900	8,852,184.100	8,852,184.100	—
運輸費	6,716,056.000	—	521,958.560	7,238,014.560	7,238,014.560	—
小口貨物 集配費	100,000.000	—	△ 72,963.380	27,036.620	27,036.620	—
旅館費	982,737.000	—	108,910.350	1,091,647.350	1,091,647.350	—
病院及 療養費	225,150.000	—	36,902.280	262,052.280	262,052.280	—
接待費	5,950.000	—	—	5,950.000	5,949.880	—
補充費	1,080,000.000	—	152,526.820	1,232,526.820	1,232,526.820	—
共済組合 給與金	400,698.000	—	△ 112,136.770	288,561.230	288,561.230	—
鐵道受託 工事費	432,000.000	—	△ 258,492.650	173,507.350	132,613.990	40,893.360
諸拂戻立替金 及缺損補填金	34,464,637.000	—	—	34,464,637.000	31,258,942.780	3,206,294.220
連帶運輸 收入拂戻金	13,510,250.000	—	△ 234,443.710	13,266,806.290	10,346,473.890	2,920,332.400
過誤納拂戻 及割戻金	939,587.000	—	234,443.710	1,183,030.710	1,183,030.710	—
荷物引 替代金	19,229,000.000	—	—	19,229,000.000	19,093,128.250	135,871.750
立替金	782,500.000	—	—	782,500.000	635,672.520	146,827.480
缺損補填金	3,300.000	—	—	3,300.000	37.410	3,262.590
諸支出金	9,042.000	—	—	9,042.000	9,041.080	920
死亡賜金	8,700.000	—	—	8,700.000	8,700.000	—
官吏療治料	342.000	—	—	342.000	341.080	920
合 計	69,343,585.000	—	—	69,343,585.000	65,988,898.540	3,354,686.460
參 照						
昭和九年度	63,204,410.000	—	—	63,204,410.000	62,319,863.660	884,546.340
昭和八年度	49,566,805.000	—	—	49,566,805.000	49,298,680.070	268,124.930
昭和七年度	47,954,494.000	—	—	47,954,494.000	46,880,796.580	1,073,697.420
昭和六年度	60,275,100.000	—	—	60,275,100.000	44,991,581.098	15,283,518.902
昭和五年度	61,502,524.000	—	—	61,502,524.000	44,673,648.470	16,828,875.530

損 益 計 算

損 失	利 益		
種 目	金 額	種 目	金 額
鐵道作業費	65,979,857.460	鐵道收入	90,470,458.210
諸支出金	9,041.080		
小 計	65,988,898.540		
差引益金	24,481,559.670		
合 計	90,470,458.210		90,470,458.210
益 金 參 照			
昭和九年度	21,612,469.580		
昭和八年度	16,907,481.420		
昭和七年度	12,128,768.550		
昭和六年度	9,060,908.038		
昭和五年度	9,966,379.370		

第三章 鐵道建設及改良費

昭和十年度建設及改良費豫算既定年割額ハ 26,923,756^円 ナルモ建設費ニ於テ 4,585,903^円 フ線延ベ新ニ追加シタル滿浦橋梁架設工事費 950,000^円 中、本年度割 50,000^円 フ加ヘ、又改良費ニ於テ 487,853^円 フ線延ベ、新ニ既設線路改良工事トシテ追加シタル 8,600,000^円 中、本年度割 2,100,000^円 フ加ヘタルヲ以テ改定額 24,000,000^円 トナリ、之ニ前年度繰越額 142,620^円 フ加ヘ 24,142,620^円 フ以テ計畫ヲ樹テ、更ニ内部ニ於テ流用増減ヲナシ工事ヲ施行セリ。而シテ建設工事は在リテハ豫算ノ主旨ニ基キ滿浦・惠山諸線ニ主力ヲ注ギタリ。改良工事は在リテハ線路改良、停車場設備改良、車輛増備及改造等ヲ施行セリ。上記建設及改良費支出額ハ 23,880,374^円 ニシテ殘額 262,246^円 フ翌年度へ繰越シタリ、其ノ内譯ハ別表(鐵道建設及改良費、北鮮開拓事業費支出計算表)ノ如クニシテ各線ノ概要下ノ如シ。

- (1) 平元線 本線豫算ハ第四十五議會ノ協賛ヲ經タル總額 46,521,754^円 (現在豫算 41,310,573^円)ニシテ本年度ニ於テハ西部ハ長林・新邑間、東部ハ根田・城内間及直洞館坪間ノ工事ヲ施行シ 921,751^円 フ支出セリ。
- (2) 惠山線 本線豫算ハ第五十二議會ノ協賛ヲ經タル總額 17,206,199^円 (現在豫算 15,538,664^円)ニシテ主トシテ白岩・大下間ノ工事ヲナシ 2,512,270^円 フ支出シ、白岩・鳳頭間 29.7^分 ハ 9.1^分 營業ヲ開始セリ。
- (3) 滿浦線 本線豫算ハ第五十二議會ノ協賛ヲ經タル總額 42,137,322^円 ト第六十七議會ノ協賛ヲ經タル 897,945^円 トノ合計 43,035,267^円 (現在豫算 38,852,178^円)ニシテ本年度ハ 2,400,000^円 フ線上げ主トシテ熙川・梧毛老間及乾下・高蓋間ノ建設工事ヲナシ 7,060,736^円 フ支出セリ。而シテ熙川・价古間 30.2^分 ハ 10.1^分 營業ヲ開始セリ。
- (4) 東海線 本線豫算ハ第五十二議會ノ協賛ヲ經タル總額 55,473,291^円 (現在豫算 50,216,470^円)

ニシテ 2,690,000^円ヲ後年度ニ繰延ベ主トシテ 佐川・蔚山間及高城・東草間ノ建設工事ヲナン
2,115,630^円ヲ支出セリ。而シテ高城・杆城間 39.3^分ハ 11.1^分營業ヲ開始セリ。

(5) 慶全線 本線豫算ハ第五十二議會ノ協賛ヲ經タル總額 24,729,914^円(現在豫算 22,466,526^円)
ニシテ 1,270,234^円ヲ後年度ニ繰延ベ谷城・順天間工事費トシテ 1,300,546^円ヲ支出セリ。

(6) 車輛費 上記各線ノ延長ニ伴ヒ車輛ノ製作又ハ購入ヲ爲シ 1,785,049^円ヲ支出セリ。

(7) 改良費 輸送力増加及列車運轉速度高進ノ爲ノ線路改良及ビ之ニ順應シ既設線路停車場ノ

鐵道建設及改良費並ニ北鮮

科 目	豫 定 額	前年度繰越額	豫算外支出額	流用増減(△)額
鐵道建設及改良費	24,000,000.000	142,620.082	—	—
建設費	16,400,000.000	47,665.260	—	—
作給及諸給	365,143.000	1,000.000	—	△ 36,875.340
事務費	281,903.000	845.000	—	△ 47,794.890
平元線	1,572,068.000	—	—	△ 650,316.890
惠山線	2,197,239.000	34,124.050	—	280,907.000
滿浦線	6,053,031.000	—	—	1,007,705.780
東海線	2,304,226.000	9,693.210	—	△ 163,631.720
慶全線	1,726,390.000	—	—	△ 425,843.300
車輛費	1,900,000.000	—	—	△ 114,950.240
成鏡線	—	1,000.000	—	29,141.230
圖們線	—	1,000.000	—	121,658.370
改良費	7,600,000.000	94,954.822	—	—
作給及諸給	180,858.000	2,280.000	—	△ 23,000.000
事務費	137,872.000	1,720.000	—	△ 15,000.000
工事費	5,073,443.000	90,954.822	—	38,000.000
車輛費	2,207,827.000	—	—	—
北鮮開拓事業費	1,000,000.000	5,750.220	—	—
拓殖鐵道敷設費	1,000,000.000	5,750.220	—	—
奏任作給	3,920.000	500.000	—	—
列任作給	14,184.000	900.000	—	—
事務費	10,098.000	500.000	—	—
茂山白岩線	771,788.000	3,000.000	—	—
車輛費	200,000.000	850.220	—	—
參 照				
昭和九年度	19,414,837.000	322,538.402	—	—
昭和八年度	19,823,749.000	83,512.082	—	—
昭和七年度	19,455,153.000	34,476.672	—	—
昭和六年度	13,500,000.000	179,594.622	—	—
昭和五年度	25,000,000.000	45,938.832	161,193.000	—

改良、海陸連絡設備、車輛増備並ニ改良工事ヲ施行シ 7,471,069^円ヲ支出セリ。

第四章 北鮮開拓事業費

昭和十年度北鮮開拓事業費豫算ハ 1,000,000^円ニシテ之ニ前年度ヨリ繰越シタル 4,750^円ヲ加ヘ
1,005,750^円ノ豫定現額ヲ以テ山羊臺・延岩楡坪間ノ建設工事及車輛新製ヲ行ヒ 993,384^円ヲ支出シ殘
額 12,365^円ハ翌年度ニ繰越シタリ。

開拓事業費支出計算表

豫 定 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額
24,142,620.082	23,880,374.560	262,245.522	—
16,447,665.260	16,409,304.860	38,360.400	—
329,267.660	328,267.660	1,000.000	—
234,953.110	234,253.110	700.000	—
921,751.110	921,751.110	—	—
2,512,270.050	2,512,270.050	—	—
7,060,736.780	7,060,736.780	—	—
2,150,290.490	2,115,630.090	34,660.400	—
1,300,546.700	1,300,546.700	—	—
1,785,049.760	1,785,049.760	—	—
30,141.230	29,141.230	1,000.000	—
122,658.370	121,658.370	1,000.000	—
7,694,954.822	7,471,069.700	223,885.122	—
160,138.000	153,458.070	6,679.930	—
124,592.000	119,532.060	5,059.940	—
5,202,397.822	4,990,972.890	211,424.932	—
2,207,827.000	2,207,106.680	720.320	—
1,005,750.220	993,384.490	12,365.730	—
1,005,750.220	993,384.490	12,365.730	—
4,420.000	2,547.840	1,872.160	—
15,084.000	13,868.970	1,215.030	—
10,598.000	8,234.260	2,363.740	—
774,798.000	769,911.670	4,886.330	—
200,850.220	198,821.750	2,028.470	—
19,737,375.402	19,589,004.820	148,370.302	.280
19,907,261.082	19,584,519.490	322,538.402	203.190
19,489,629.672	19,391,166.590	83,512.082	14,951.000
13,679,594.622	13,632,874.950	34,476.672	12,243.000
25,208,131.832	12,213,517.970	179,594.622	12,815,019.240

第五章 鐵道建設及改良費並ニ北鮮開拓事業費支出年割

鐵道建設及改良費ハ明治四十四年度ヨリ昭和十六年度ニ亘リ、北鮮開拓事業費ハ昭和七年度ヨリ昭和

鐵道建設及改良費並北鮮

科 目	總 費 額	明治四十四年度以 降昭和九年度迄 支 出 額	昭 和 十 年 度 以 降 年 割 額	年
				十 年 度
鐵道建設及改良費	538,692,412	370,099,795	168,592,617	24,000,000
建設費	418,428,652	292,242,833	126,185,819	16,400,000
俸給及諸給	7,688,308	5,124,000	2,564,308	365,143
事務費	4,193,141	2,262,537	1,933,604	281,903
平元線	47,517,144	23,788,364	23,728,780	1,572,068
惠山線	16,248,595	9,066,980	7,181,615	2,197,239
滿浦線	39,864,675	12,018,539	27,846,136	6,053,031
東海線	50,500,478	11,948,722	38,551,756	2,304,226
慶全線	22,761,807	9,258,077	13,503,730	1,726,390
車輛費	56,452,236	45,576,346	10,875,890	1,900,000
總係費外十二日	173,199,268	173,199,268	—	—
改良費	120,263,760	77,856,962	42,406,798	7,600,000
俸給及諸給	2,273,645	1,233,396	1,040,249	180,858
事務費	1,466,973	665,622	801,351	137,872
工事費	97,615,577	68,954,267	28,661,310	5,073,443
車輛費	18,375,241	6,471,353	11,903,888	2,207,827
總係費外一日	532,324	532,324	—	—
北鮮開拓事業費	6,270,000	2,100,000	4,170,000	1,000,000
拓殖鐵道敷設費	6,270,000	2,100,000	4,170,000	1,000,000
奏任俸給	32,665	20,905	11,760	3,920
判任俸給	89,044	52,796	36,248	14,124
事務費	94,340	69,378	24,962	10,098
茂山白岩線	5,019,951	1,656,921	3,363,030	771,793
車輛費	1,034,000	300,000	734,000	200,000

第六章 鐵道投資額

昭和十年度初頭現在額 467,701,917.743 (總督府設置以來ノ分 358,032,284.631) ニシテ十年度投資額ハ鐵道建設及改良費 23,880,374.56、私設鐵道買收費 11,011,600、北鮮開拓事業費 993,384.49

和十二年度ニ亘ル繼續費ニシテ其ノ年割下ノ如シ。

開拓事業費支出年割表

割	額					
	十一年度	十二年度	十三年度	十四年度	十五年度	十六年度
	27,000,000	27,000,000	27,000,000	27,000,000	27,000,000	9,592,617
	20,000,000	20,000,000	20,600,000	21,500,000	22,300,000	5,385,819
	406,436	408,658	413,625	412,280	420,406	137,760
	307,226	308,924	312,271	310,002	314,878	98,400
	2,926,023	3,425,636	3,389,659	4,898,907	7,023,874	492,613
	2,996,686	1,657,128	330,562	—	—	—
	6,700,000	6,700,000	6,900,000	1,493,105	—	—
	3,136,000	5,486,000	5,399,000	9,459,000	9,729,000	3,038,530
	2,127,629	613,654	2,154,883	3,226,706	3,111,842	542,626
	1,400,000	1,400,000	1,700,000	1,700,000	1,700,000	1,075,890
	—	—	—	—	—	—
	7,000,000	7,000,000	6,400,000	5,500,000	4,700,000	4,206,798
	174,924	168,917	166,212	138,576	110,148	100,614
	134,523	129,393	127,743	108,043	86,231	77,546
	4,482,726	4,493,863	4,198,218	3,389,576	2,994,846	4,028,638
	2,207,827	2,207,827	1,907,827	1,863,805	1,508,775	—
	—	—	—	—	—	—
	1,500,000	1,670,000	—	—	—	—
	1,500,000	1,670,000	—	—	—	—
	3,920	3,920	—	—	—	—
	12,608	9,456	—	—	—	—
	9,098	5,766	—	—	—	—
	1,274,374	1,316,858	—	—	—	—
	200,000	334,000	—	—	—	—

補充工事費 1,232,526.82 ニテ合計 37,117,885.87 ヲ増加シ、年度末投資額總計ハ 504,819,803.613 ニ達シ上記ノ内明治四十三年度總督府設置以來ノ分 (京釜鐵道買收其他ヲ除ク) 393,917,643.681 ナリ、内譯下ノ如シ。

投 資

種 別	鐵 道 建 設 及 改 良 費	私 設 鐵 道 買 收 費	北 鮮 開 拓 事 業 費	土 木 費
	円	円	円	円
鐵道特別會計以前 元京釜鐵道會社買收價格 同 退	20,016,500.00 107,300.000			
同 速 成 工 事 費	2,200,000.000			
元京釜鐵道會社貸付金	1,580,000.000			
同 社 債 金	10,000,000.000			
同京仁線買收貸付金	1,097,062.651			
軍事費支出京義線	29,120,655.520			
同 馬 山	2,262,560.053			
小 計	66,384,078.224			
自明治卅九年至四十年 度	25,948,358.343			
明 治 四 十 四 年 度	8,418,015.956			
大 正 元 年 度	8,767,647.431			
二 年 度	8,469,387.368			
三 年 度	7,321,953.475			
四 年 度	7,618,076.190			
五 年 度	7,434,504.530			
六 年 度	5,770,301.665			230,193.375
七 年 度	9,667,913.707			82,212.363
八 年 度	14,980,222.036			96,345.254
九 年 度	15,327,828.730			
十 年 度	18,287,157.570			
十 一 年 度	21,710,999.040			
十 二 年 度	14,999,904.000			
十 三 年 度	10,001,841.610			
十 四 年 度	9,906,504.700			
昭 和 元 年 度	14,948,337.860			
二 年 度	18,896,587.770	4,470,800.000		
三 年 度	19,234,545.900	7,570,000.000		
四 年 度	16,967,204.770	5,804,700.000		
五 年 度	12,052,344.210			
六 年 度	13,632,874.950	8,196,450.000		
七 年 度	18,906,988.030		484,178.560	
八 年 度	18,705,642.340	706,400.000	795,772.340	
九 年 度	18,499,852.220		814,298.880	
十 年 度	23,880,374.560	11,011,600.000	993,384.490	
計	436,737,447.185	37,759,950.000	3,087,634.270	408,750.992

備 考 本表ノ内總督府支出額ハ明治四十四年度以降建設及改良費 344,405,010圓618錢私設鐵道買收費709,791錢用品資金 1,300,000圓ノ合計額ヨリ建設及改良費所屬物件賣拂代 2,395,411,990

額 表

水害復舊費 並ニ災害費	用品資金	建設及改良費 所屬物件賣拂代	小 計	補 充 費	合 計
円	円	円	円	円	円
			20,016,500.000		20,016,500.000
			107,300.000		107,300.000
			2,200,000.000		2,200,000.000
			1,580,000.000		1,580,000.000
			10,000,000.000		10,000,000.000
			1,097,062.651		1,097,062.651
			29,120,655.520		29,120,655.520
			2,262,560.053		2,262,560.053
			66,384,078.224		66,384,078.224
2,537,212.409	700,000.000		29,185,570.752	273,071.478	29,458,642.230
595,858.744			9,013,874.700	220,366.510	9,234,241.210
612,882.511			9,380,529.942	262,894.544	9,643,424.486
			8,469,387.368	192,260.193	8,661,647.561
225,812.766			7,547,766.241	86,351.408	7,634,117.649
261,283.430			7,879,329.620	125,103.030	8,004,432.650
			7,434,504.530	270,606.318	7,705,110.848
	21,513.212	△ 2,087.390	6,019,920.862	132,104.830	6,152,025.692
		△ 4,797.320	9,745,328.750	1,348,553.706	11,093,882.456
		△ 11,269.430	15,065,297.860	684,412.755	15,749,710.615
544,693.050		△ 14,187.630	15,858,334.150	471,037.390	16,329,371.540
		△ 24,913.440	18,262,244.130	593,286.160	18,855,530.290
607,335.600		△ 445,075.470	21,873,259.170	1,093,937.700	22,967,196.870
534,586.000		△ 254,403.590	15,280,086.410	1,195,180.080	16,475,266.490
199,863.970		△ 297,370.910	9,904,334.670	402,337.270	10,306,671.940
1,049,097.840	1,000,000.000	△ 804,379.010	11,651,223.530	366,575.480	12,017,799.010
1,980,660.150		△ 291,091.740	16,637,906.270	1,098,776.172	17,736,682.442
1,003,111.680		△ 297,029.240	24,073,470.210	1,217,054.170	25,290,524.380
1,215,421.760		△ 157,332.600	27,862,635.060	825,247.890	28,687,882.950
	300,000.000	△ 141,360.940	22,930,543.830	448,427.640	23,378,971.470
161,173.760		△ 34,371.280	12,179,146.690	299,828.080	12,478,974.770
		△ 95,428.690	21,733,896.260	256,022.560	21,989,918.820
		△ 19,984.990	19,371,181.600	441,162.760	19,812,344.360
83,104.810		△ 328.320	20,290,591.170	665,240.240	20,955,831.410
276,853.720			19,589,004.820	1,108,632.560	20,697,637.380
			35,885,359.050	1,232,526.820	37,117,885.870
11,888,922.200	2,021,513.212	△ 2,395,411.990	489,508,805.869	15,310,997.744	504,819,803.613

收費37,759,950圓、北鮮開拓事業費3,087,634圓27錢、土木費408,750圓992錢、水害復舊費並災害費9,351,圓ヲ控除シタル393,917,643圓681錢ナリ

第七章 私設鐵道補助

本年度豫定額ハ 4,850,000^円ニシテ之ニ對スル決算額亦 4,850,000^円ナリ。内譯下ノ如シ。

私設鐵道補助

科 目	豫定額	前年度繰越額	豫定現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
補助及獎勵費	4,850,000.000	—	4,850,000.000	4,850,000.000	—	—
私設鐵道補助	4,850,000.000	—	4,850,000.000	4,850,000.000	—	—
參 照						
昭和九年度	5,000,000.000	—	5,000,000.000	5,000,000.000	—	—
昭和八年度	5,000,000.000	—	5,000,000.000	5,000,000.000	—	—
昭和七年度	5,000,000.000	—	5,000,000.000	5,000,000.000	—	—
昭和六年度	5,000,000.000	—	5,000,000.000	5,000,000.000	—	—
昭和五年度	4,600,000.000	97,213.89	4,697,213.890	4,697,213.890	—	—

十年度補助額内譯

朝鮮鐵道株式會社	1,896,085.52 ^円
朝鮮京南鐵道株式會社	1,304,813.97
金剛山電氣鐵道株式會社	732,671.46
京東鐵道株式會社	115,993.84
新興鐵道株式會社	46,530.01
南朝鮮鐵道株式會社	753,905.20
計	4,850,000.00

第八章 鐵道用品資金

本會計ニ屬スル資金ハ前年通り 2,021,513.212^円ニシテ歳出豫算ハ 20,335,460^円ナルヲ以テ資金運轉ハ甚シク困難ナルモ極力資金ノ運用ヲ敏活ニシ他面前受金ヲ支拂元金ニ充當シ經理ノ圓滑ヲ計レリ。

本會計ノ昭昭十年度決算額ハ歳入ノ收入済額 20,566,689.45^円、歳出ノ支出済額 20,783,489.27^円ナリ、故ニ歳出ノ歳入ヲ超過スルコト 216,799.82^円ナリト雖右ノ外

收入勘定ニ屬スルモノ

歳入ノ收入未済額	1,776,368.59 ^円
----------	---------------------------

翌年度へ繰越タル物品ノ價格 2,603,544.90^円

前年度ヨリ繰越タル支出未済額 2,255,370.46

前年度前受金ノ精算未済額 1,350,330.07

前年度代價收入済物品未渡ノ價格 75.92

合 計 7,985,689.94

支出勘定ニ屬スルモノ

歳出ノ支出未済額 885,224.21

前年度ヨリ繰越タル物品ノ價格 2,662,884.59

前年度ヨリ繰越タル收入未済額 2,571,089.90

前受金精算未済額 1,649,554.45

代價收入済物品未渡ノ價格 136.97

合 計 7,768,890.12

ナルヲ以テ差引計算スレバ損益ヲ生セズ決算ヲ終了セリ。歳入歳出並ニ損益計算及受拂勘定下記ノ通りナリ。

鐵道用品資金會計歳入歳出決算表

歳 入

科 目	豫定額	測定済額	收入済額	不納收 缺損額 未済額	豫算ニ比シ收入 済額ノ差	
					増	減
朝鮮鐵道用品收入	20,335,460 ^円	22,343,058.04 ^円	20,566,689.45 ^円	—	1,776,368.59 ^円	231,229.45 ^円
用品及工作收入	20,261,055	21,885,376.10	20,111,991.60	—	1,773,384.50	— 149,063.40
用品收入	15,216,803	14,473,978.27	13,654,594.11	—	819,384.16	— 1,562,208.89
工作收入	5,044,252	7,411,397.83	6,457,397.49	—	954,000.34	1,413,145.49
雜收入	74,405	457,681.94	454,697.85	—	2,984.09	380,292.85
恩給法納金	2,104	2,404.90	2,404.90	—	—	300.90
小切手支拂未済金收入	10	7.84	7.84	—	—	— 2.16
雜 入	72,291	455,269.02	452,285.11	—	2,984.09	379,994.11

歳 出

科 目	豫 定 額	前 年 度 繰 越 額	流 用 増 減 額	豫 定 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
朝鮮鐵道用品費	20,335,460.00	2,255,370.46	—	22,590,830.46	20,783,489.27	885,224.21	922,116.98
俸給及諸給	249,555.00	—	—	249,555.00	246,612.71	—	2,942.29
奏任俸給	50,148.00	—	10,458.98	39,689.02	37,025.07	—	2,663.95
判任俸給	198,182.00	—	—	208,640.98	208,640.98	—	—
死亡賜金	1,225.00	—	—	1,225.00	946.66	—	278.34
用品及工作費	20,085,905.00	2,255,370.43	—	22,341,275.43	20,536,876.56	885,224.21	919,174.69
用品費	17,609,003.00	2,138,715.43	2,798.64	19,744,919.79	18,072,245.52	759,562.79	913,111.48
工作費	2,465,206.00	116,655.03	—	2,584,659.67	2,450,156.66	125,651.16	6,053.21
諸拂戻金	11,686.00	—	—	11,686.00	14,474.38	10.26	—
償還金	10.00	—	—	10.00	—	—	10.00

損 益 計 算 表

損 失		利 益	
種 目	金 額	種 目	金 額
朝鮮鐵道用品費	20,783,489.27	朝鮮鐵道用品收入	20,566,689.45
支出未済翌年度繰越額	885,224.21	収入未済翌年度繰越額	1,776,368.59
前年度ヨリ繰越収入未済額	2,571,089.90	前年度ヨリ繰越支出未済額	2,255,370.46
前年度ヨリ繰越物品價格	2,662,884.59	翌年度へ繰越物品ノ價格	2,603,544.90
前渡金ノ精算未済額	1,649,554.45	前年度前渡金ノ精算未済額	1,350,330.07
代價收入済物品未渡額	136.97	前年度代價收入済物品未渡價格	75.92
合 計	28,552,379.39	合 計	28,552,379.39

受 拂 勘 定 表

收 入		拂 出	
種 目	金 額	種 目	金 額
歳入ノ収入済額	20,566,689.45	歳出ノ支出済額	20,763,489.27
歳入ノ収入未済額	1,776,368.59	歳出ノ支出未済額	885,224.21
資金=屬スル現金ノ持越高	893,315.17	資 金 額	2,021,513.21
總貯藏物品ノ價格	21,528,869.19	後年度へ繰越前受金	1,649,691.42
		代價收入済物品ノ價格	17,227,172.40
		代價收入未済既出物品ノ價格	1,691,566.76
		損失=歸シタル物品ノ價格	6,585.13
合 計	44,265,242.40	合 計	44,265,242.40

第九章 其ノ他ノ歳入歳出

前項ノ外當局取扱ノ歳入歳出下ノ如シ。

歳 入

科 目	豫 算	調 定 済 額	收 入 済 額	收 入 未 済 額
雑 收 入	—	27,414.67	27,414.67	0

歳 出

科 目	豫 算	支 出 済 額	不 用 額
臨時朝鮮語獎勵費	100.00	99.67	.33
臨時特別手當	2,670.00	2,297.96	372.04

第十章 用品購入

昭和十年度ニ於テ購入、製作、加工、修理註文及契約ヲ締結シタル物品ノ總金額ハ 24,580,440.53
ニシテ前年度ニ比シ 7,081,911.31^円ヲ増加セリ。

其内譯ヲ示セバ 1,000^円以上ニシテ契約ニ依リシモノ 23,177,025.95^円、1,000^円未滿隨時註文シタル
モノ 1,403,414.58^円ニシテ更ニ主ナル物品ノ數量及金額ヲ擧グレバ左ノ如シ。

産 地 別 内 譯

種 別	朝 鮮 産		内 地 産		滿 洲 産		外 國 産		計	
	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額	數 量	金 額
石炭塊切込及粉炭	270,500	1,824,300.00	36,380	426,287.50	113,554	2,107,220.00	—	—	420,434	4,357,807.50
煉炭	76,871	955,723.30	—	—	—	—	—	—	76,871	955,723.30
コークス	—	—	2,324	86,717.60	—	—	—	—	2,324	86,717.60
右ノ計	347,371	2,790,023.30	38,704	513,005.10	113,554	2,107,220.00	—	—	499,629	5,410,248.40
並枕木	1,249,917	2,153,180.94	—	—	—	—	—	—	1,249,917	2,153,180.94
ポイント木	46,415	159,869.60	—	—	—	—	—	—	46,415	159,869.60
橋枕木	24,760	104,400.94	—	—	—	—	—	—	24,760	104,400.94
右ノ計	1,321,092	2,417,451.48	—	—	—	—	—	—	1,321,092	2,417,451.48
セメント	1,292,319	1,379,329.33	313,000	268,280.00	—	—	—	—	1,605,319	1,647,609.33
地 金	1,800	99,186.00	9,784.81	1,336,448.78	—	—	31.4	46,769.35	11,616.21	1,482,404.13

種 別	朝 鮮 産		内 地 産		滿 洲 産		外 國 産		計	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
機 關 車	—	—	—	1,886,230.00	—	—	—	—	—	1,886,230.00
車 輛	—	1,347,390.00	—	469,400.00	—	—	—	—	—	1,816,790.00
橋 桁	20	5,343.68	—	—	—	—	—	—	20	5,343.68
木 材	517	163,948.39	18	60,836.30	—	—	立 9	273,825.92	544	498,610.61
車輪及車軸	—	—	165	954,927.73	—	—	—	—	165	954,927.73
軌條及屬品	11	12,188.36	52	1,906,345.67	—	—	—	—	63	1,918,534.03
油 脂	210,000	9,663.00	2,043,806	384,517.53	25,000	2,067.50	立 7,020	3,159.00	2,285,826	399,407.03
電氣用品	9	24,452.50	402	1,278,251.48	—	—	—	—	411	1,302,703.98
制 服 類	22	128,478.12	15	116,432.80	—	—	—	—	37	244,910.92
彩 料 類	—	—	286	164,214.59	—	—	—	—	286	164,214.59
機 械 類	—	—	45	148,290.90	—	—	—	—	45	148,290.90
帳 表 類	1,557	59,936.73	3	3,949.20	—	—	—	—	1,560	63,885.93
雜 品	6,670	544,642.34	28,099	3,621,804.25	33	17,294.70	立 8	35,136.50	37,810	4,218,877.79
合 計	—	8,982,033.23	—	13,112,934.33	—	2,126,582.20	—	358,890.77	—	24,580,440.53

鐵道用品購入高比較表

品 名	單 位	昭 和 九 年 度		昭 和 十 年 度		增 減 比 較	
		數量	金額	數量	金額	增	減
石 炭 塊 切 炭	噸	346,737	2,714,607.80	420,434	4,357,807.50	1,643,199.70	—
煉 炭	〃	68,300	851,740.00	76,871	955,723.30	113,983.30	—
コ ー ク ス	〃	1,778	63,924.60	2,324	86,717.60	22,793.00	—
計	〃	416,815	3,630,272.40	499,629	5,410,248.40	1,779,976.00	—
並 枕 木	挺	990,503	1,749,676.16	1,249,917	2,153,180.94	403,504.78	—
ポ イ ン ト 枕 木	〃	10,187	35,754.43	46,414	159,689.60	124,115.17	—
橋 枕 木	〃	2,100	9,926.80	24,760	104,400.94	94,474.14	—
計	〃	1,002,790	1,795,357.39	1,321,092	2,417,451.48	622,094.09	—
セ メ ン ト	袋	1,080,000	1,333,200.00	1,605,319	1,647,609.33	314,409.33	—
地 金	噸	8,533.050	1,094,210.09	11,616.21	1,482,404.13	388,194.04	—
機 關 車	輛	—	352,000.00	—	1,886,230.00	1,534,230.00	—
車 輛	〃	—	805,420.00	—	1,816,790.00	1,011,370.00	—
橋 桁	連	307	170,869.68	20	5,343.68	—	165,526.00
木 材	點	707	892,174.23	544	498,610.61	—	393,563.62
車輪及車軸	〃	122	605,800.48	165	954,927.73	349,127.25	—
軌條及屬品	〃	51	1,603,958.61	63	1,918,534.03	314,575.42	—

油 脂 立	2,168,440	334,301.02	2,285,826	399,407.03	65,106.01	—
電 氣 用 品 點	441	839,657.58	411	1,302,703.98	453,048.40	—
制 服 類 〃	16	79,709.94	37	244,910.92	165,200.98	—
彩 料 類 〃	248	130,319.75	286	164,214.59	33,894.84	—
機 械 組	63	274,454.00	45	148,290.90	—	126,163.10
帳 表 類 點	883	30,508.48	1,560	63,885.93	33,377.45	—
雜 品 〃	34,999	3,526,315.57	37,810	4,218,877.79	692,562.22	—
合 計		17,498,529.22		24,580,440.53	7,081,911.31	—

第十編 私設鐵道、軌道及專用鐵道

第一章 私設鐵道

昭和十一年三月末現在私設鐵道免許料總延長ハ 1,415.6^{新分}ニシテ其ノ内譯次ノ如シ(北鮮鐵道、川内里鐵道及群山府營鐵道ヲ除ク)

種 別	杆 程	前年度比較増減
開 業 線	1,091.9 ^{新分}	△ 157.4 ^{新分}
工事施行認可線	工事線	70.9
	未着手線	24.2
工事施行未認可線	228.6	△ 72.6
計	1,415.6	△ 150.1

經 營 者 現在私設鐵道ノ經營者ハ朝鮮鐵道株式會社、朝鮮京南鐵道株式會社、金剛山電氣鐵道株式會社、新興鐵道株式會社、朝鮮京東鐵道株式會社、朝鮮瓦斯電氣株式會社、南滿洲鐵道株式會社、環春鐵道株式會社、多獅島鐵道株式會社、川内里鐵道株式會社、群山府營鐵道及敷設免許ヲ受ケ目下會社設立準備中ノ三陟鐵道株式會社ノ十二社ニ達セリ。

而シテ朝鮮瓦斯電氣株式會社・南滿洲鐵道株式會社・環春鐵道株式會社・多獅島鐵道株式會社及國ニ於テ借上營業中ノ川内里鐵道株式會社・群山府營鐵道並ニ三陟鐵道株式會社ノ七社ヲ除ク五社ハ朝鮮私設鐵道補助法ニ依ル補助會社ニシテ補助會社ノ公稱資本總額ハ80,300,000[〃]ニシテ内37,380,000[〃]ノ拂込ヲ了シ外ニ社債 33,700,000[〃]借入金 6,916,877[〃]其他 163,664[〃]ヲ有シ資金總額ハ 78,160,541[〃]ナリ。

尙非補助會社四社、借上營業中ノ二社、及未設立ノ一社、計七社ノ公稱資本及建設費合額ハ 21,206,000[〃]ナリ。

資 金 表

會 社 名	公稱資本	投 下 資 金				
		拂込株金	社 債	借入金	其 他	合 計
朝鮮鐵道株式會社	54,500,000	17,650,000	17,500,000	500,000	154,250	35,804,250
朝鮮京南鐵道株式會社	10,000,000	10,000,000	11,200,000	—	8,791	21,208,791
金剛山電氣鐵道株式會社	12,000,000	7,800,000	5,000,000	750,000	356	13,550,356
新興鐵道株式會社	800,000	640,000	—	4,131,877	—	4,771,877
朝鮮京東鐵道株式會社	3,000,000	1,290,000	—	1,535,000	267	2,825,267
以上補助會社計	80,300,000	37,380,000	33,700,000	6,916,877	163,664	78,160,541
朝鮮瓦斯電氣株式會社	建 1,645,000	—	—	—	—	—
南滿洲鐵道株式會社	建 120,000	—	—	—	—	—
琿春鐵路股份有限公司	11,200,000	—	—	—	—	—
多獅島鐵道株式會社	3,000,000	—	—	—	—	—
川内里鐵道株式會社	200,000	—	—	—	—	—
群 山 府 營 鐵 道	建 41,000	—	—	—	—	—
三陟鐵道株式會社	5,000,000	—	—	—	—	—
以上非補助會社計	21,206,000	—	—	—	—	—

免 許 料

會 社 名	軌 間	新 程		
		開 業 新	未 開 業 新	合 計
朝鮮鐵道株式會社	{ 1,435	{ 212.1	{ 160.4	{ 212.1
朝鮮京南鐵道株式會社	{ 0,762	{ 335.5	{ —	{ 496.9
朝鮮京東鐵道株式會社	{ 1,435	{ 214.0	{ —	{ 214.0
金剛山電氣鐵道株式會社	{ 1,435	{ 116.6	{ —	{ 116.6
新興鐵道株式會社	{ 0,762	{ 113.6	{ 2.0	{ 115.6
朝鮮京東鐵道株式會社	{ 0,762	{ 73.4	{ 70.0	{ 143.4
×朝鮮瓦斯電氣株式會社	{ 1,067	{ 9.5	{ —	{ 9.5
×南滿洲鐵道株式會社	{ 1,435	{ 15.2	{ —	{ 15.2
×琿春鐵路股份有限公司	{ 0,762	{ 1.0	{ —	{ 1.0
×多獅島鐵道株式會社	{ 1,435	{ —	{ 55.6	{ 55.6
×三陟鐵道株式會社	{ 1,435	{ —	{ 35.7	{ 35.7
○川内里鐵道株式會社	{ 1,435	{ 4.4	{ —	{ 4.4
○群 山 府 營 鐵 道	{ 1,435	{ 1.0	{ —	{ 1.0
合 計	—	1,091.9	323.7	1,415.6

備考 (一) ×印ハ非補助會社 (二) ○印ハ借上營業中ノモノニシテ合計ニ含マズ (三) 外ハ北鮮鐵道管理局線アリ

第二章 年度中免許及失効

本年度中ニ於ケル免許料ヲ示セバ次ノ如シ。

會 社 名	新 程	年 月 日	區 間
朝鮮京東鐵道株式會社	16.0	10. 7. 5	驪州・占東面(興湖里)間
〃	54.0	10. 9. 23	水原・仁川間
朝鮮鐵道株式會社	25.2	10.10.10	黃海道茄佐面・甕津間
多獅島鐵道株式會社	18.0	10.12.10	南市・楊市間
三陟鐵道株式會社	35.7	11.3.2	三陟面(汀羅)・所達面間
計	148.9	—	—

本年度中失効及廢止セルモノ次ノ如シ

會 社 名	新 程		年 月 日	記 事
	開 業 區 間	未 開 業 區 間		
新興鐵道株式會社	12.4	—	10. 7. 15	廢止
〃	3.0	—	10. 9. 5	〃
南朝鮮鐵道株式會社	—	122.6	10.12.31	失効
〃	160.0	—	11. 3. 1	買收
計	175.4	122.6	—	—

第三章 線路延長

本年度中新ニ延長セルハ滿鐵會社雄基・羅津間 15.2 琿春鐵路圖們江中心・訓戎間 1.0 新興鐵道天機里・內湖間 1.7 計 17.9 ニシテ前年度延長 76.6 ニ比シ 58.7 ヲ減少セリ。

第四章 運輸成績

旅 客 本年度ニ於ケル旅客運輸成績ハ(朝鮮瓦斯電氣會社ヲ除ク)平均營業料 1,229.8、輸送人員 6,721,986、延人料 129,287,746、賃金 2,764,332 ニシテ之ヲ前年度ニ比較スルニ人員 1,859.318 (28)、延人料 17,326,590 (13)、賃金 527,710 (19) ヲ何レモ増加シ一人平均乘車料ハ 23、一人一料平均賃金ハ 205 ニシテ前者ハ増減ナキモ後者ハ 5 ヲ増加セリ。

貨 物 輸送噸數 2,028,290、延噸料 86,261,604、賃金 3,605,535 ニシテ前年度ニ比較スルニ噸數 567,662 (28)、延噸料 14,583,677 (17)、賃金 663,709 (38) ヲ何レモ増加セリ。次ニ一噸平均輸送料ハ 42.5、一噸平均賃金ハ 1.78、一噸一料平均賃金ハ 418 ニシテ前年度ニ比較スルニ輸

送秆 $\frac{6.6}{\text{分}}$ 一吨平均賃金 $\frac{23}{\text{分}}$ ヲ減少セルモ一吨一秆平均賃金ハ $\frac{8}{\text{分}}$ ヲ増加セリ。

第五章 營業收支及補助成績

營業收支 本年度ニ於ケル營業收入ハ 7,423,575 (補助内 6,650,976)、支出 5,932,033 (補助内 5,220,077)、益金 1,491,542 (補助内 1,430,899) ニシテ前年度ニ比シ收入 1,242,994 (補助内 703,540)、支出 958,802 (補助内 425,725)、益金 284,191 (補助内 277,815) ヲ何レモ増加セリ。

尙一日一秆平均收入ハ 16.49、支出ハ 13.18 ニシテ益金ハ 3.31 ナリ。

補助成績 昭和十年度ニ於ケル補助會社六社(南朝鮮鐵道會社ヲ含ム)ニ對スル補助金交付額ハ 4,850,000 ナリ。昭和二年度以降補助金豫算決算ヲ表示スレバ次ノ如シ。

補助金豫算決算額表

年 度	豫 算 額	繰 越 額	計	決 算 額
昭 和 二 年	4,300,000	769,188	5,069,188	4,123,765
〃 三 年	4,300,000	945,423	5,245,423	4,389,684
〃 四 年	4,300,000	855,739	5,155,739	5,058,527
〃 五 年	4,600,000	97,212	4,697,212	4,697,212
〃 六 年	5,000,000	—	5,000,000	5,000,000
〃 七 年	5,000,000	—	5,000,000	5,000,000
〃 八 年	5,000,000	—	5,000,000	5,000,000
〃 九 年	5,000,000	—	5,000,000	5,000,000
〃 十 年	4,850,000	—	4,850,000	4,850,000

第六章 北鮮鐵道及琿春鐵路運輸成績

1 北 鮮 鐵 道

旅 客 本年度ニ於ケル旅客運輸成績ハ年度末營業秆 $\frac{344.4}{\text{分}}$ 、平均營業秆 $\frac{335.5}{\text{分}}$ 、輸送人員 1,718,170、延人秆 74,385,546、賃金 1,040,194 ニシテ一人平均乗車秆ハ $\frac{43.3}{\text{分}}$ 、一人平均賃金 $\frac{61}{\text{分}}$ ニシテ一人一秆平均賃金 $\frac{1.4}{\text{分}}$ ニ當レリ、之ヲ前年度ニ比較スルニ人員 106,833、賃金 17,275 ヲ何レモ増加セリ。

貨 物 貨物運輸成績ニ在リテハ噸數 1,474,439、延噸秆 175,812,384、賃金 3,351,436 一吨平均輸送秆 $\frac{119.2}{\text{分}}$ 、一吨平均賃金 $\frac{2.27}{\text{分}}$ 、一吨一秆平均賃金 $\frac{191}{\text{分}}$ ナリ、之ヲ前年度ニ比較スルニ噸數 351,851、賃金 850,449 ヲ何レモ増加セリ。

營業收支 收入ハ客車收入 1,167,462、貨車收入 3,351,436、運輸雜收 48,382、運輸收入計 4,567,280、諸口收入 437,652、收入合計 5,004,932、支出 4,485,873 (總督府納付金ヲ除ク) 益金 514、

059 ニシテ一日一秆平均收入 $\frac{40.76}{\text{分}}$ 、支出 $\frac{36.53}{\text{分}}$ 、益金 $\frac{23}{\text{分}}$ ナリ。

2 琿 春 鐵 路

旅 客 運送人員 40,860、貨物噸數 7,692、收入 33,496、支出 26,860、益金 6,636 ニシテ一日一秆平均收入 $\frac{10.53}{\text{分}}$ ナリ。

第七章 軌道及專用鐵道

1 軌 道

昭和十年度末(昭和十一年三月)ニ於ケル軌道免許秆ハ次ノ如シ。

開 業 線 $\frac{82.3}{\text{分}}$ 前年度比較増 $\frac{1.4}{\text{分}}$

之ヲ動力別ニ示セバ電氣軌道 3、輕油軌道 2、手押軌道 1 ナリ。

營業成績 本年度(各社會計年度)ニ於ケル旅客人員ハ 84,782,081、貨物噸數 235,751、噸收入 4,162,937、支出 3,304,881、差引益金 858,056 ニシテ收入ニ對スル支出割合ハ $\frac{79}{\text{分}}$ ニシテ軌道建設費ニ對スル益金割合ハ $\frac{1.1}{\text{分}}$ ニ達セリ。

2 專 用 鐵 道

本年度末ニ於ケル專用鐵道敷設免許秆數ハ $\frac{307}{\text{分}}$ ニシテ運輸營業ヲ爲シツツアルモノ $\frac{230.5}{\text{分}}$ ナリ。何レモ自社工業用原料並ニ製品ノ輸送ニ使用サレツ、アリ。

本年度末ニ於ケル專用鐵道敷設免許秆數ハ 252 秆 $\frac{5}{\text{分}}$ ニシテ其ノ内運輸ヲ行ヒツツアルモノ 233 秆 $\frac{9}{\text{分}}$ 、年度中廢止セルモノ一社 3 秆ナレリ、何レモ自社工業用原料並ニ製品ノ輸送ニ使用サレツ、アリ。

第十一編 陸 運(自動車運送)

陸運ノ監督事務ニ付テハ昭和七年七月三十日勅令第二〇二號ヲ以テ鐵道局官制中改正ノ件公布セラレ「私設鐵道軌道其ノ他ノ陸運ノ監督ニ關スル事務ヲ掌ル」ニ改メラレ從來ノ鐵道、軌道ノ外自動車運送索道運送其ノ他ノ陸上運送事業ノ監督事務ヲ併セ處理スルコトナリ 同時ニ朝鮮總督訓令第五十三號ヲ以テ從來各道ニ於テ處理シ來レル自動車運送事業ノ許可其他ノ處分ノ中重要ナルモノニ付テハ朝鮮總督ニ稟伺ノ上之ヲ處理スルコトトシ、自動車運送事業自體ノ統制ヲ圖ルト共ニ等シク陸上運輸機關タル鐵道・軌道ト自動車運送トノ協調連絡竝ニ此等ノ統制ヲ圖ルコトトセリ。

而シテ之等各事業ノ統制ヲ本格的ニ行フニハ先ツ準據法令ノ整備ヲ急務ト認メ昭和八年九月自動車交通事業法ヲ内容トスル朝鮮自動車交通事業令ヲ、同九年十二月同令施行規則以下各種ノ附屬法規ヲ公布シ十年四月一日ヨリ何レモ施行セリ。

昭和十一年三月末日現在各道ニ於ケル乗合自動車及貨物自動車ノ營業者竝ニ路線延長左ノ如シ。

自動車交通事業狀況

事業種別	事業者	路線里程	従事員数
旅客自動車	217	26,810.0	1,503
物品自動車	38	5,000.0	371
不定期貨物自動車	203	20,398.8	1,021
不定期遊覽乗合自動車	5	48.7	18
貸切旅客自動車	264	—	1,653
貸切貨物自動車	501	—	1,683
計	1,228	52,257.5	6,249

道別	旅客自動車		物品自動車		不定期貨物自動車		不定期遊覽乗合自動車	
	事業者	路線里程	事業者	路線里程	事業者	路線里程	事業者	路線里程
京畿道	34	344.1	8	73.0	15	120.0	1	2.2
忠清北道	5	118.9	—	—	7	72.1	—	—
忠清南道	12	149.9	4	23.9	8	77.4	—	—
全羅北道	15	160.5	1	19.1	19	197.0	—	—
全羅南道	33	265.0	1	2.6	50	393.3	—	—
慶尙北道	6	225.7	1	61.5	8	151.7	—	—
慶尙南道	31	279.3	9	50.3	15	135.1	—	—
黄海道	14	209.5	2	14.9	18	146.5	—	—
平安南道	16	192.0	—	—	19	246.4	—	—
平安北道	11	293.5	8	180.9	11	125.8	—	—
江原道	14	254.2	—	—	15	257.5	—	—
成鏡南道	15	217.5	2	70.6	8	62.5	4	2.7
成鏡北道	11	60.9	2	3.2	10	54.6	—	—
合計	217	2,681.0	38	500.0	203	2,039.9	5	4.9

平元線西浦高原間建設工事工程圖

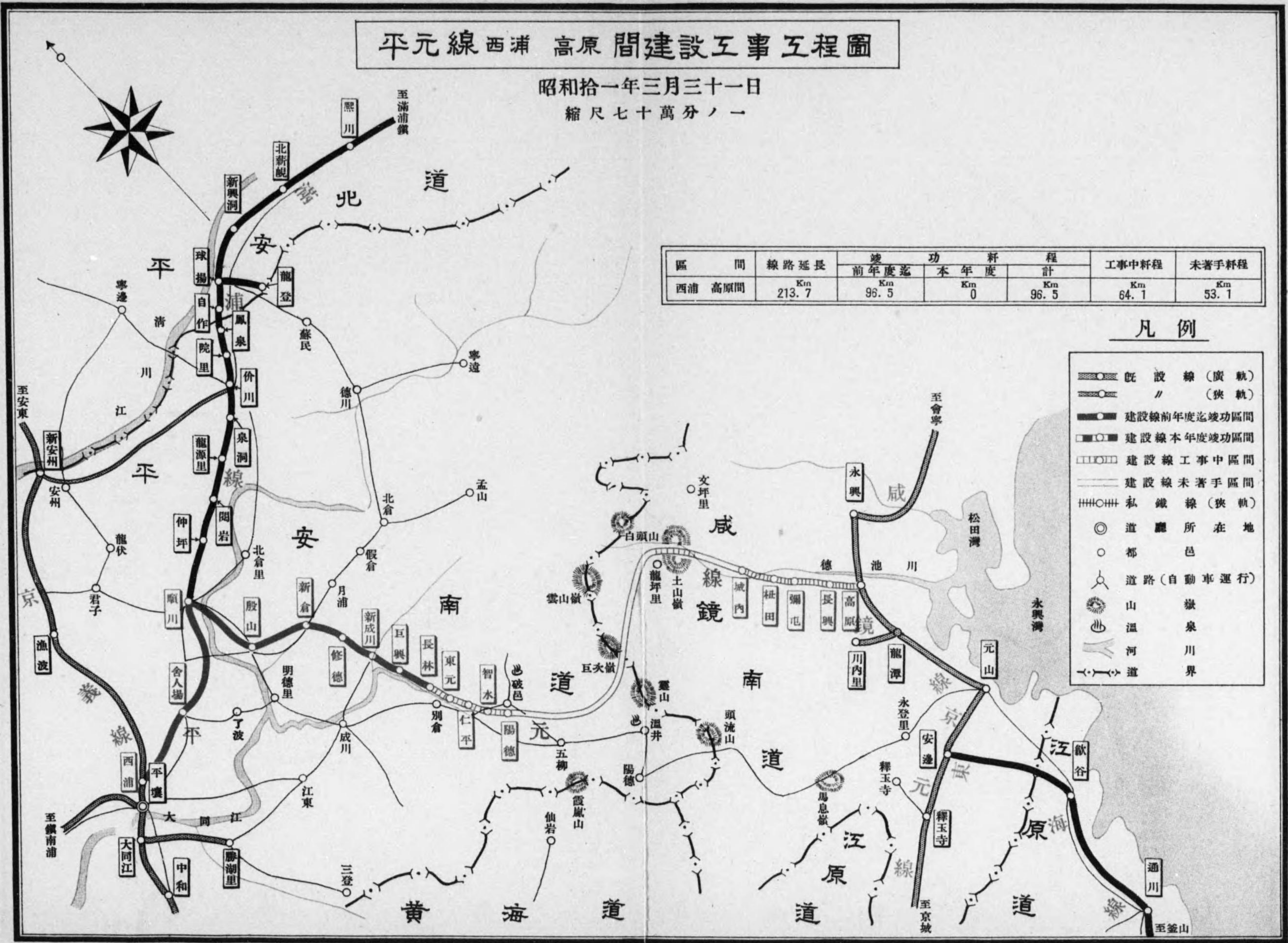
昭和拾一年三月三十一日

縮尺七十萬分ノ一

區 間	線路延長 Km	竣 功 程 度			工事中程 Km	未著手程 Km
		前年度迄 Km	本年度 Km	計 Km		
西浦 高原間	213.7	96.5	0	96.5	64.1	53.1

凡 例

- 既設線(廣軌)
- 既設線(狹軌)
- 建設線前年度迄竣功區間
- 建設線本年度迄竣功區間
- 建設線工事中區間
- 建設線未著手區間
- 私鐵線(狹軌)
- 道廳所在地
- 郡 邑
- 道路(自動車運行)
- 山 嶽
- 池 溫泉
- 河 川界



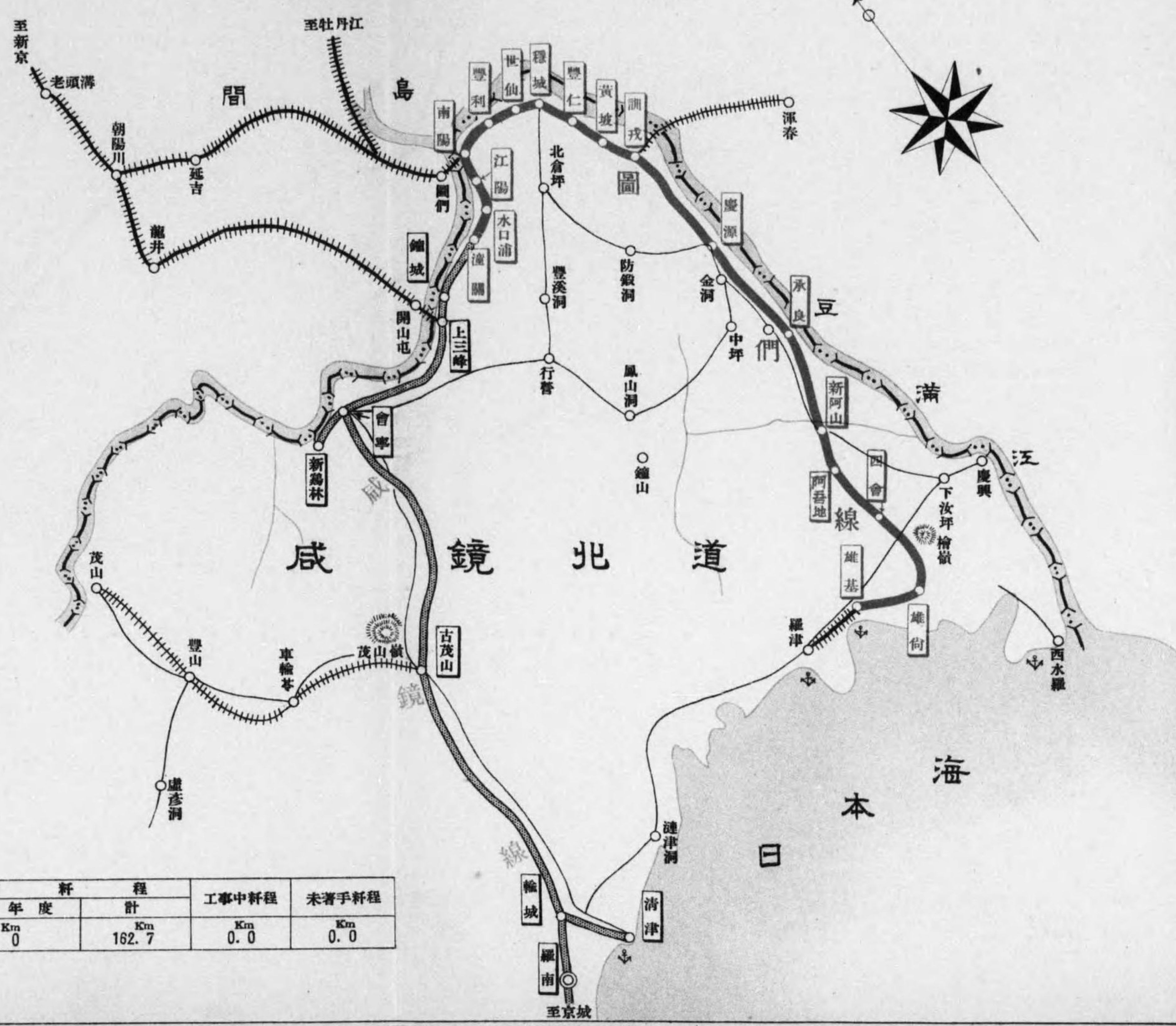
圖們線雄基·潼關間建設工事工程圖

昭和拾一年三月三十一日

縮尺七十萬分ノ一

凡例

- 既設線(廣軌)
- 既設線(狹軌)
- 建設線前年度迄竣功區間
- 建設線本年度竣功區間
- 私鐵線(廣軌)
- 私鐵線(狹軌)
- ◎ 道廳所在地
- 都邑
- 道路(自動車運行)
- ☀ 山嶽
- 河川
- 國界



區 間	線路延長 m	竣 功 程 度			工事中程 Km	未著手程 Km
		前年度迄 Km	本年度 Km	計 Km		
雄基 潼關間	162.7	162.7	0	162.7	0.0	0.0

東海線 安邊浦項間建設工事工程圖

昭和拾一年三月三十一日

縮尺百五十萬分ノ一



凡例

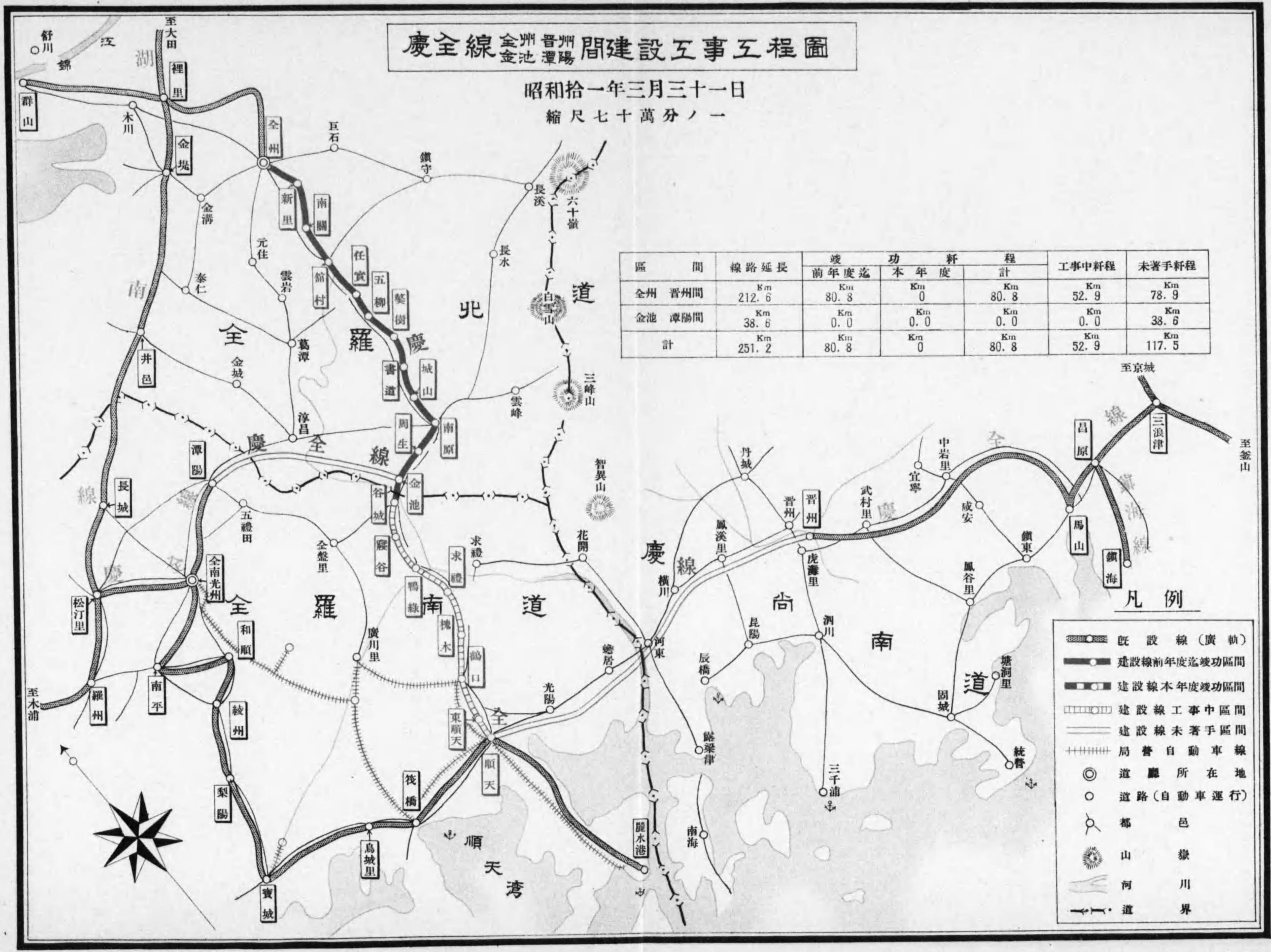
- 既設線(廣軌)
- 既設線(狹軌)
- 建設線前年度迄竣工區間
- 建設線本年度迄竣工區間
- 建設線工事中區間
- 建設線未著手區間
- +—— 私鐵線(廣軌)
- +—— 私鐵線(狹軌)
- ◎ 道廳所在地
- 郡邑
- 道路(自動車運行)
- ⊙ 山嶽
- ⊙ 川
- ⊙ 温泉
- |— 道界

區 間	線路延長	竣 功 新 程			工事中新程	未著手新程
		前年度迄	本 年 度	計		
安邊浦項間	475.8 Km	111.4 Km	39.3 Km	150.7 Km	23.1 Km	302.0 Km
釜山嶺 蔚山間	73.0 Km	41.2 Km	31.8 Km	73.0 Km	0 Km	0 Km
計	548.8 Km	152.6 Km	71.1 Km	223.7 Km	23.1 Km	302.0 Km

慶全線金州晉州間建設工事工程圖

昭和拾一年三月三十一日

縮尺七十萬分ノ一



區 間	線路延長 Km	竣 功 新 程			工事中新程 Km	未著手新程 Km
		前年度迄 Km	本年度 Km	計 Km		
全州 晉州間	212.6	80.8	0	80.8	52.9	78.9
金池 潭陽間	38.6	0.0	0.0	0.0	0.0	38.6
計	251.2	80.8	0	80.8	52.9	117.5

- 凡 例
- 既設線(廣軌)
 - 建設線前年度迄竣功區間
 - 建設線本年度迄竣功區間
 - 建設線工事中區間
 - 建設線未著手區間
 - +++++ 局營自動車線
 - ◎ 道廳所在地
 - 道路(自動車運行)
 - 都 邑
 - ⊙ 山 嶽
 - 河 川
 - 道 界

凡例

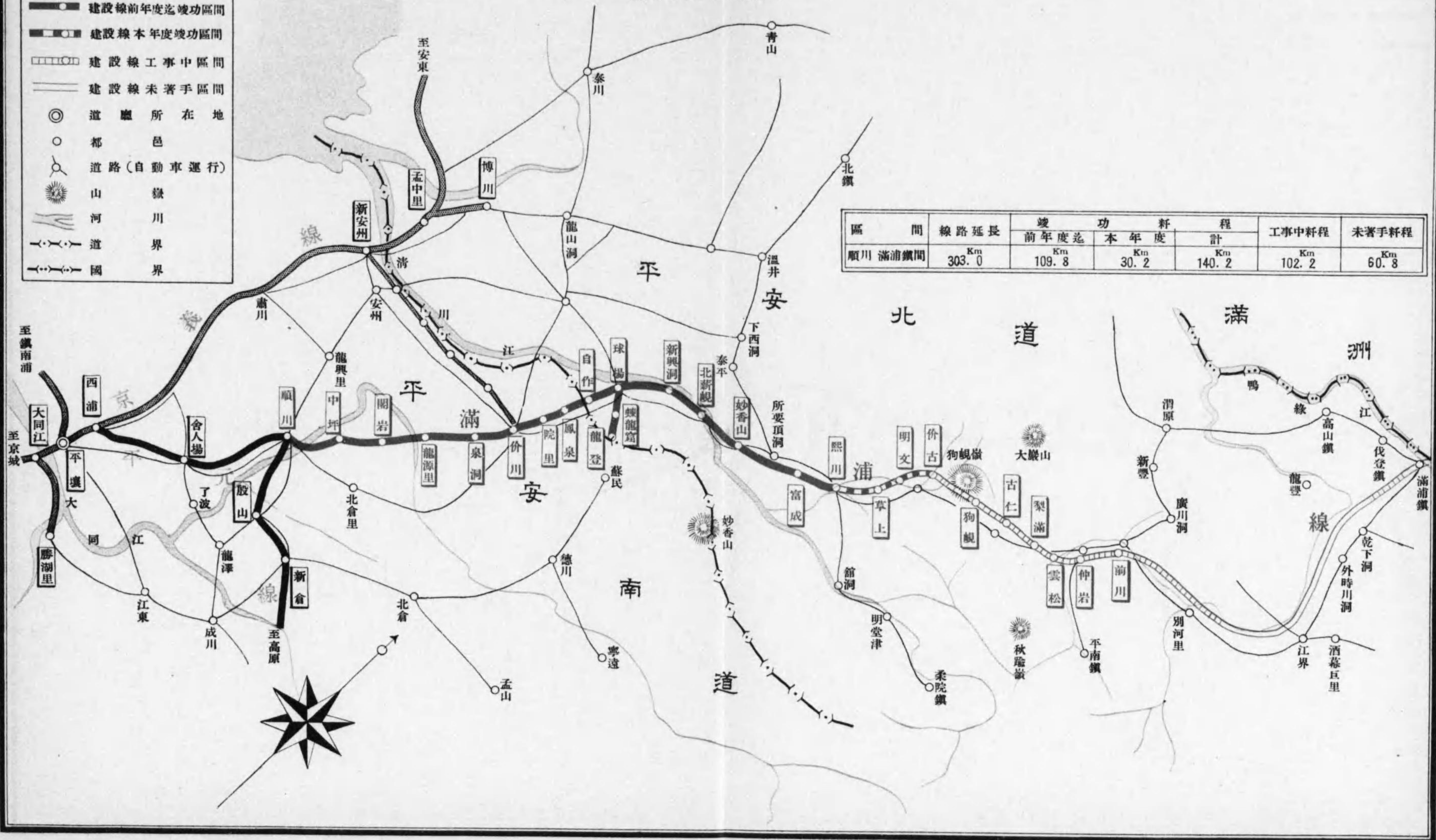
- 既設線(廣軌)
- (狹軌)
- 建設線前年度迄竣工區間
- 建設線本年度迄竣工區間
- 建設線工事中區間
- 建設線未著手區間
- ◎ 道廳所在地
- 都 邑
- 道路(自動車運行)
- ☀ 山 嶽
- 河 川
- 道 界
- 國 界

滿浦線順川・滿浦鎮間建設工事工程圖

昭和拾一年三月三十一日

縮尺七十萬分ノ一

區 間	線路延長 Km	竣 功 新 程			工事中新程 Km	未著手新程 Km
		前年度迄 Km	本 年 度 Km	計 Km		
順川 滿浦鎮間	303.0	109.8	30.2	140.2	102.2	60.8

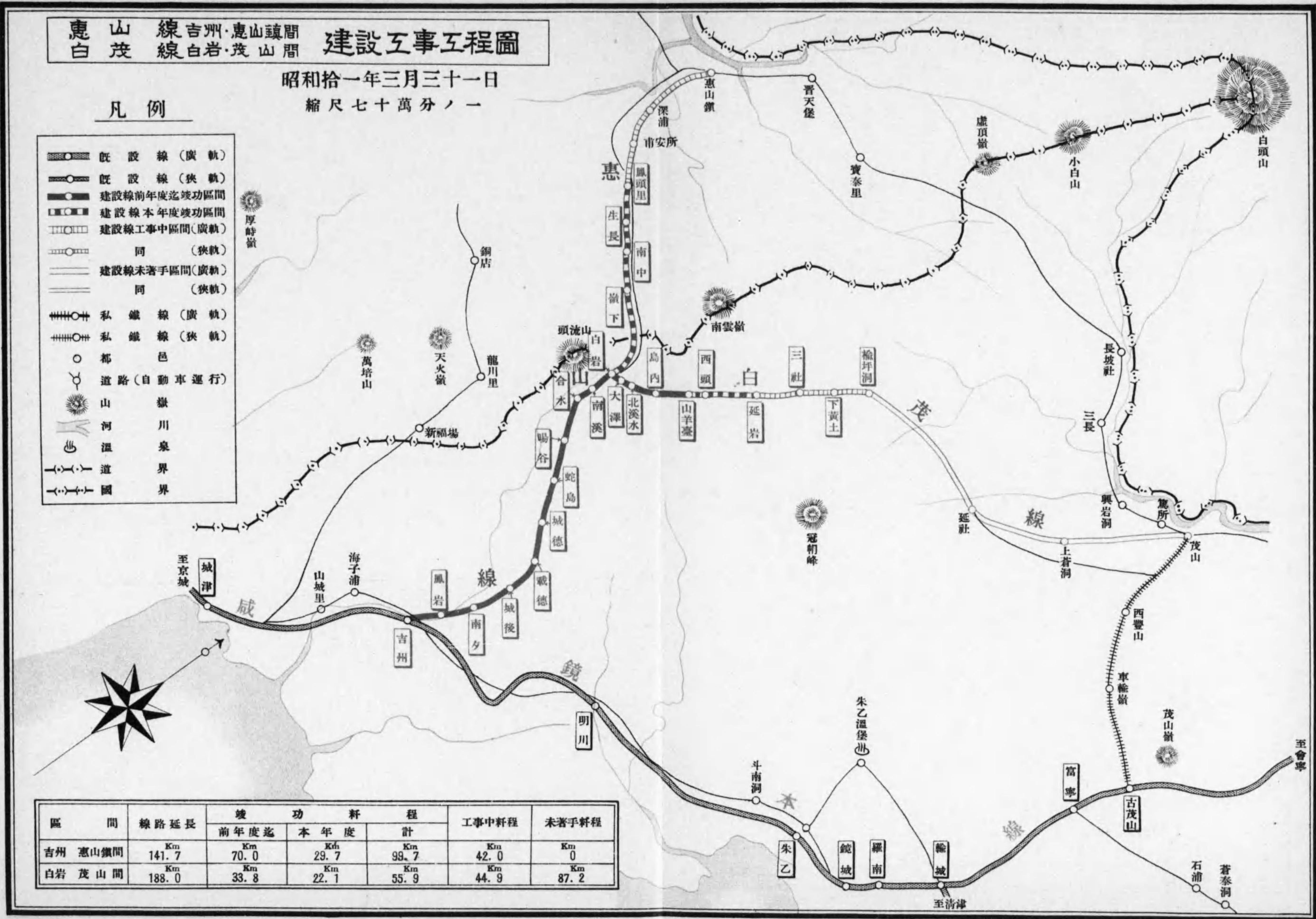


惠山線吉州・惠山鎮間 建設工事工程圖
白茂線白岩・茂山間

昭和拾一年三月三十一日
縮尺七十萬分ノ一

凡例

- 既設線(廣軌)
- 既設線(狹軌)
- 建設線前年度迄竣功區間
- 建設線本年度竣功區間
- 建設線工事中區間(廣軌)
- 同 (狹軌)
- 建設線未著手區間(廣軌)
- 同 (狹軌)
- 私鐵線(廣軌)
- 私鐵線(狹軌)
- 都邑
- 道路(自動車運行)
- ☀ 山嶽
- 河川
- ☉ 温泉
- 境界
- 國界



區間	線路延長 Km	竣功新程			工事中新程 Km	未著手新程 Km
		前年度迄 Km	本年度 Km	計 Km		
吉州 惠山鎮間	141.7	70.0	29.7	99.7	42.0	0
白岩 茂山間	188.0	33.8	22.1	55.9	44.9	87.2

昭和十一年十二月十日印刷
昭和十一年十二月十四日發行

朝鮮總督府鐵道局

京城府本町四丁目一三一番地

印刷所 合資 谷岡商店印刷部

終